

平成29年度
病院年報



出かける医療・近づく医療

日野病院組合 日野病院

平成 29 年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長 孝田雅彦

平成 29 年度の年報を発刊する時期になりました。この一年を振り返りますと、医師が減少し、看護師も少ないなかなかやりくりして来ました。常勤医の減少は鳥取大学地域医療学教室の先生が、日替わりの担当ではありますが入院患者さんも診ていただくことでカバーできました。当初は担当医が毎日異なるので患者さんに受け入れてもらえるか心配していましたが、各先生が十分な連携と丁寧な説明で何のクレームもありませんでした。むしろ、いろいろな先生にチェックしてもらって安心している患者さんもおられました。このように人数的には苦しい中、各スタッフが懸命に働いたおかげでこの十年で最高の黒字を出しました。職員一同の努力の成果と感謝しております。平成 30 年度には医師も増加し、小児科も復活することから、さらに充実した日野病院を築くことができるものと考えています。日野郡の人口はどんどん減少し、病院を取り巻く環境は厳しくなりますが、住民の皆さんの健康を守るためにさらに努力したいと思います。

日野病院の基本理念

平成8年3月策定

- 1 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 2 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

目 次

発刊によせて		-1-
1、概要		-5-
主な出来事		-6-
組織図	日野病院組合組織図	-9-
	日野病院組織図	-10-
施設の状況	施設規模等・主な医療機器	-12-
	施設基準	-13-
日野病院組合議会開催状況		-15-
職員の状況	部署別職員数	-18-
	年度別職員数推移	-19-
	職員表彰	
経営状況（平成29年度日野病院組合事業会計決算）		
	事業別内訳	-22-
	決算概況	-23-
施設・設備等整備状況		-40-
委員会活動状況	日野病院委員会（ワーキング）構成表	-44-
	各委員会開催状況	-45-
	院内研修会開催状況	-84-
2、統計		-85-
患者統計	患者統計（外来・入院）	-86-
入院患者疾病統計	疾病別（大分類）・診療科別統計	-90-
	疾病別・診療科・男女別統計	-92-

	疾病別・年令階層別・男女別統計	-108-
	疾病別・在院期間別・男女別統計	-116-
	上位疾病別統計	-126-
部門別統計	手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査 薬局状況・人工透析状況・放射線室状況 検診実施状況	-128-
	栄養管理室状況・検査室状況・理学療法状況 作業療法状況・言語聴覚療法状況 訪問看護状況・訪問リハビリ状況 居宅支援(介護・予防)状況 メディカルソーシャルワーカー活動状況	-129- -130-
3、業績		-131-
	論文誌上発表	-132-
	学会等発表	-138-
4、新聞記事等		
	ご近所のお医者さん（毎日新聞鳥取県版）	-143-
	日野病院長コラム（広報ひの）	-152-
	その他の新聞記事	-165-
5、広報誌 せせらぎ		-167-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第 59 号（平成 29 年 5 月発行）	-168-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第 60 号（平成 29 年 9 月発行）	-178-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第 61 号（平成 30 年 1 月発行）	-190-
編集後記		-202-

1、概 要

主な出来事

平成 29 年

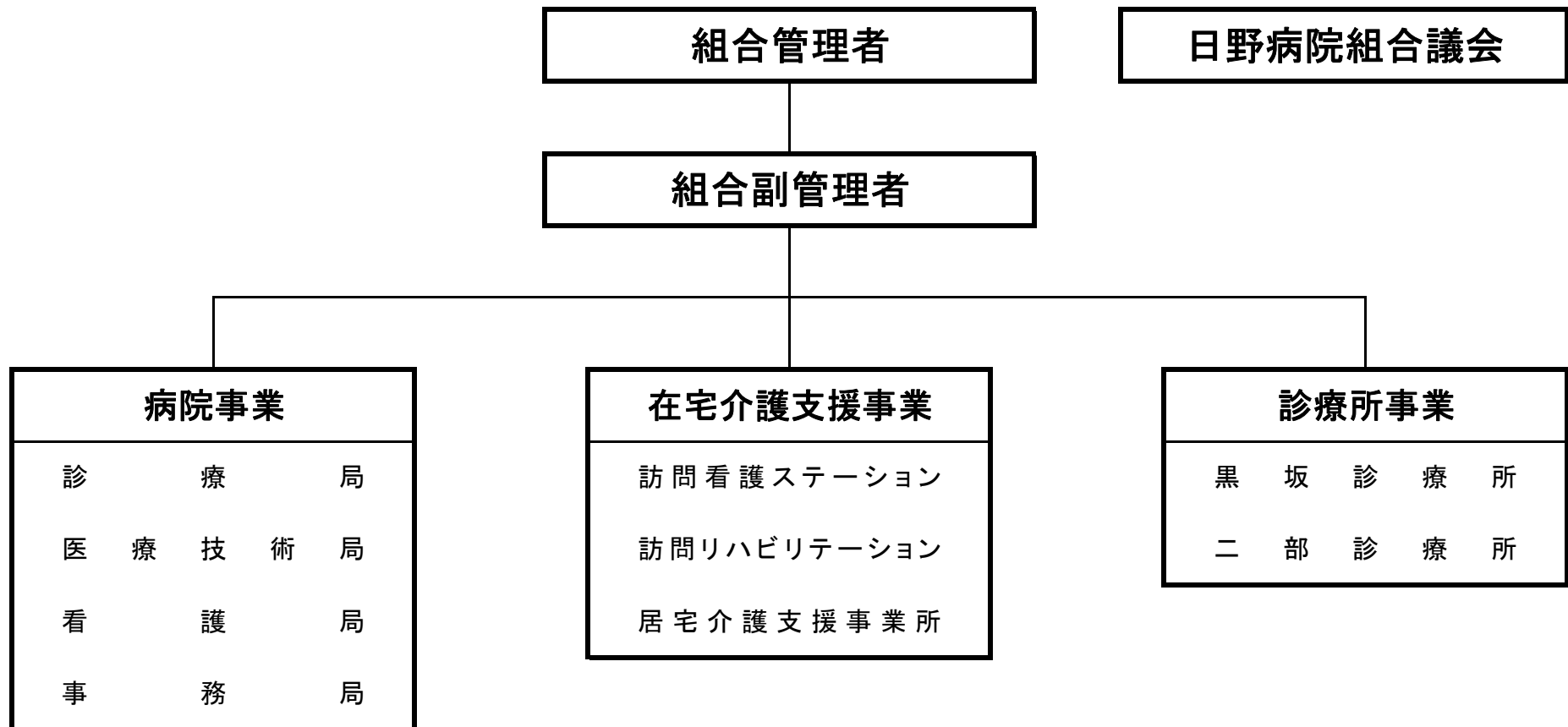
- 4 月 3 日 新規採用職員オリエンテーション
- 4 月 14 日 熊野健太郎診療局長、山本直子副医療技術局長が日野病院職員表彰（院長表彰）を受賞
大塚健一主任理学療法士、長尾加奈子主任看護師、安達節子看護師、矢田貝亮一係長が日野病院職員表彰（局長表彰）を受賞
- 5 月 12 日 看護の日イベント
- 6 月 日野病院ロゴマーク完成
- 6 月 28 日 日野病院ロゴマーク採用者等授賞式
- 7 月 15 日 ねう祭りに参加
- 8 月 4 日 納涼祭の開催
- 8 月 31 日 平成 28 年度日野病院組合事業会計決算認定
収益的収支で 96,533 千円の黒字、資金収支で 68,581 千円の黒字
- 9 月 日野病院新パンフレット完成
- 12 月 22 日 クリスマスイベント
- 12 月 28 日 仕事納め

平成 30 年

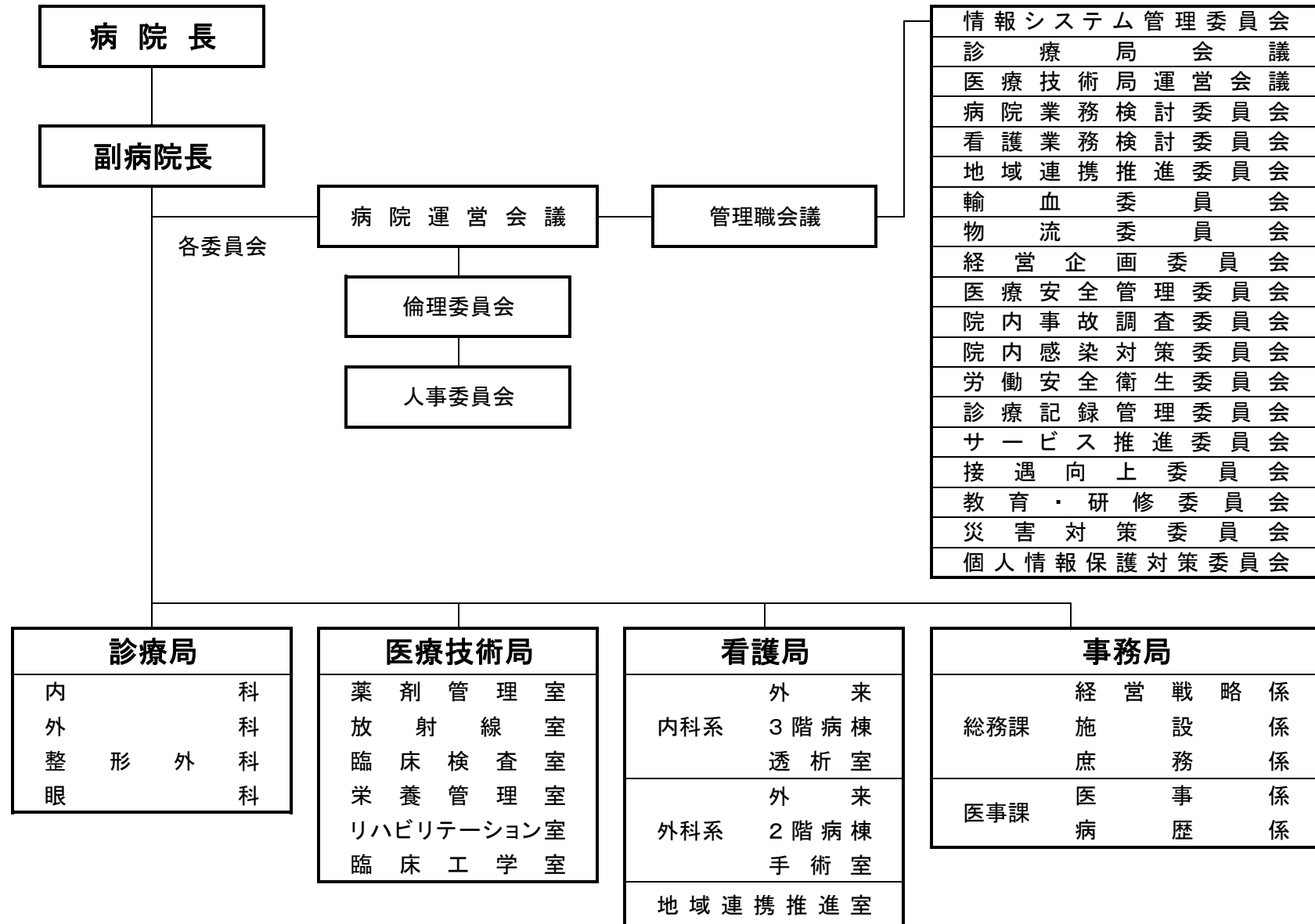
- 1 月 4 日 仕事始め
- 2 月 23 日 景山享弘管理者離任式
- 2 月 26 日 埴田淳一管理者着任式
- 3 月 14、15 日 病院機能評価受審

組織図

日野病院組合組織図(平成30年3月現在)



日野病院組織図(平成30年3月現在)



施設の状況

施設規模等

- (1) 病 床 数 99床 (一般 74床・亜急性期 25床)
(2) 病 室 数 51部屋 (1人部屋35、4人部屋16)
(3) 敷 地 面 積 11,045.27m²
(4) 延べ床面積 8,247.16m²
(5) 建 設 費 31億1,209万9千円

＜主な内訳＞	建築費	23億6,250万円
	用地費及び補償費	1億8,254万7千円
	医療機器及び備品購入費	4億2,195万6千円
＜財源内訳＞	補助金	5億2,791万1千円
	病院事業債	25億6,610万円
	一般財源	1,808万8千円

主な医療機器

気管支ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ	フルデジタルカラー超音波装置
MR I 装置 (1.5テスラ)	マルチスライスCTシステム
レーザーメス	手術用顕微鏡
長時間心電図分析装置	生化学自動分析装置
血液ガス測定装置	脳波計
人工腎臓装置	人工呼吸器
マンモグラフィー装置	上部消化管ファイバースコープ
骨塩定量測定装置	X線骨密度測定装置
生体情報モニター	手術室ビデオシステム
手動式除細動器	超音波骨折治療器
上部消化管汎用ビデオスコープ	血圧脈波検査装置
多目的自動血球分析装置	睡眠時無呼吸検査機器
超音波白内障手術装置	特殊入浴装置
高周波手術装置	角膜内皮細胞撮影装置

施設基準

一般病棟入院基本料 10 : 1 (99 床)
入院時食事療養費 1
薬剤管理指導料
一般病棟療養環境加算
ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術 (電池交換を含む)
検体検査管理加算 (Ⅰ) (Ⅱ)
呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)
運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)
脳血管リハビリテーション料 (Ⅱ)
一般病棟看護必要度加算
急性期看護補助体制加算
小児科外来診療料
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
診療録管理体制加算
無菌製剤処理料
救急医療管理加算
重症者等療養環境特別加算
ニコチン依存管理料
在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料特定施設入居時等医学管理料
在宅末期医療総合診療料
外来化学療法加算 2
感染防止対策加算 2
夜間休日救急搬送医学管理料
時間内歩行試験
がん治療連携指導料
データ提出加算
認知症ケア加算 (加算 2)
総合評価加算
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

C T撮影及びMR撮影（16列以上のマルチスライスC T）

C T撮影及びMR撮影（1.5 テスラ以上 3.0 テスラ未満）

地域包括ケア入院医療管理料 1

地域包括ケア入院医療管理料病床の看護職員配置加算に係る届出

地域包括ケア入院医療管理料病床の救急・在宅支援病床初期加算に係る届出

様式 10 の 6・90 日を超えて入院する患者の算定：有

指定等

生活保護法指定医療機関

労災保険指定医療機関

救急告示病院

結核指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

病院群輪番制病院

身体障害者福祉法指定医療機関

へき地医療拠点病院

初期被ばく医療機関

日野病院組合議会開催状況

平成29年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	内 容
臨時会	H29.7.11	第 9号 第10号 第11号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第1号) 日野病院組合監査委員の選任について 病院事業運営調査特別委員会委員の選任について ・ 日野病院ロゴマークの決定について ・ 日野病院新改革プランについて
定例会	H29.8.31	第12号 第13号	平成28年度 日野病院組合事業会計決算の認定について 平成29年度 日野病院組合病院事業会計補正予算(第1号) 閉会中の継続調査の申し出 ・ 直近の経営状況について(7月末)
定例会	H29.11.17	第14号 第15号 第16号	日野病院組合薬剤師育成奨学金貸付条例の制定について 平成29年度 日野病院組合病院事業会計補正予算(第2号) 平成29年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第2号) 閉会中の継続調査の申し出 ・ 直近の経営状況について(9月末) ・ 日野病院パンフレットについて(配布)
定例会	H30.2.14	第 1号 第 2号 第 3号 第 4号 第 5号 第 6号 第 7号 第 8号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 鳥取県行政不服審査会共同設置規約の変更に関する協議について 平成29年度 日野病院組合病院事業会計補正予算(第3号) 平成29年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第3号) 平成29年度 日野病院組合診療所事業会計補正予算(第1号) 平成30年度 日野病院組合病院事業会計予算 平成30年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計予算 平成30年度 日野病院組合診療所事業会計予算 閉会中の継続調査の申し出 ・ 平成29年度日野病院組合病院事業等の決算見込みについて ・ 平成30年度日野病院組合病院事業等の概況について (資料)病院事業等決算及び年度別経営試算表 ・ 日野病院組合職員の異動及び採用について ・ 日野病院組合職員の退職手当に関する条例の一部改正について(報告)
臨時会	H30.3.2	第 9号	日野病院組合職員の退職手当に関する条例の一部改正について

職員の状況

部署別職員数（平成30年3月31日現在）

（１） 病院事業

- ・診療局 常勤医師7名（うち嘱託医師1名）
（内科4名、外科1名、整形外科1名、眼科1名）

・看護局 78名 (人)

区 分	看護師			准看護師			看護助手			合 計			MSW	クレーン
	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時		
看護局長	1									1				
外 来	2		1		1	3				2	1	4		4
2階病棟	17			2	1	1	3	2	2	22	3	3		1
3階病棟	19	1	2	3				5		22	6	2		1
手術室				2						2				
透析室	2									2				
地域連携室	1									1			1	
合 計	42	1	3	7	2	4	3	7	2	52	10	9	1	6

- ・医療技術局 26名
臨床検査室 2名（臨床検査技師 2名）
薬剤管理室 3名（薬剤師 2名、嘱託事務 1名）
放射線室 3名（診療放射線技師 3名）
リハビリテーション室 13名
（理学療法士 9名、作業療法士 2名、言語聴覚士 2名、マッサージ師 1名）
栄養管理室 3名（管理栄養士 3名）
臨床工学室 1名（臨床工学技士 1名）

- ・事務局 13名
事務局長 1名
総務課 6名（うち嘱託職員 3名）
医事課 6名（うち嘱託職員 2名）

（２）在宅介護支援事業所

- ・所長 1名（病院と兼務）
- ・看護師 7名（うち2名は病院と兼務）
- ・理学療法士 3名
- ・言語聴覚士 1名

- ・作業療法士 1名（病院と兼務）
- ・介護支援専門員 5名（うち1名は看護師と兼務、嘱託職員1名）
- ・事務職員 2名（うち1名は病院と兼務、嘱託職員1名）

（３）診療所事業

- ・医師 3名（病院と兼務）
- ・看護師 1名（病院と兼務）
- ・事務職員 1名（病院と兼務）

年度別職員数推移（平成30年3月31日現在）

病院事業

（人）

区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
診療局		8	8	8	8	7	6
看護局		76	76	77	77	77	78
医療技術局	薬剤	4	4	3	3	3	3
	栄養	3	3	2	2	3	3
	検査	3	3	3	3	3	3
	放射線	3	3	3	3	3	3
	リハビリ	14	11	12	12	15	13
	臨床工学		1	1	1	1	1
事務局		16	14	14	14	13	13
合 計		127	123	123	123	125	123

在宅介護支援事業所

（人）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
医師（病院と兼務）	1	1	1	1	1	1
看護職（病院と兼務含）	4	4	5	6	5	7
リハビリ（病院と兼務含）	5	3	3	3	3	5
事務職（病院と兼務含）	4	4	4	4	7	7
合 計	14	12	13	14	16	20

職員の表彰等

受賞年月日	職員名等	職名等	表 彰 名
平成30年4月14日	熊野 健太郎	診療局長	平成29年度職員表彰
平成30年4月14日	山本 直子	副医療技術局長	平成29年度職員表彰
平成30年4月14日	大塚 健一	主任理学療法士	平成29年度職員表彰
平成30年4月14日	長尾 加奈子	主任看護師	平成29年度職員表彰

平成 30 年 4 月 14 日	安達 節子	看護師	平成 29 年度職員表彰
平成 30 年 4 月 14 日	矢田貝 亮一	係長	平成 29 年度職員表彰

経営状況

平成29年度日野病院組合決算(事業別内訳)

〈収益の収支〉

(単位:千円)

区 分		病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所事業			(イ)+(ロ)+(ハ)	28年度決算額	増減
				計(ハ)	黒坂	二部			
医業収益	入院収益	921,689		0			921,689	889,380	32,309
	外来収益	355,741		2,617	2,423	194	358,358	335,048	23,310
	室料差額収益	33,009		0			33,009	29,399	3,610
	保健予防活動収益	25,773		412	408	4	26,185	25,704	481
	その他医業収益	16,276		2	2		16,278	22,684	△ 6,406
	事業間負担金(在宅/診療所)	21,410		0			21,410	21,881	△ 471
	計	1,373,898		3,031	2,833	198	1,376,929	1,324,096	52,833
介護サービス収益	介護サービス収益		70,001	0			70,001	72,323	△ 2,322
	その他介護サービス収益		284	0			284	58	226
	計	0	70,285	0	0	0	70,285	72,381	△ 2,096
医業外収益	預金利息	232		0			232	9	223
	国県等補助金	35,510	126	0			35,636	34,570	1,066
	負担金交付金	305,747	18,250	16,733	9,633	7,100	340,730	332,006	8,724
	負担金交付金(本部費)	421		0			421	421	0
	長期前受金戻入(現金を伴わない)(A)	31,914	102	0			32,016	31,592	424
	その他医業外収益	6,260	235	0			6,495	6,008	487
	計	380,084	18,713	16,733	9,633	7,100	415,530	404,606	10,924
収益合計		1,753,982	88,998	19,764	12,466	7,298	1,862,744	1,801,083	61,661
医業費用	給与費	845,106	56,269	0			901,375	889,728	11,647
	退職給付引当金(通常)	48,810		0			48,810	51,107	△ 2,297
	退職給付引当金(現金を伴わない)(B)	19,094		0			19,094	19,094	0
	賞与引当金繰入額	49,873	4,872	0			54,745	55,620	△ 875
	材料費	274,695	42	132	128	4	274,869	245,827	29,042
	経費	92,904	2,778	746	526	220	96,428	98,113	△ 1,685
	委託費	141,701	255	193	190	3	142,149	139,895	2,254
	減価償却費(C)	122,301	637	305	191	114	123,243	139,070	△ 15,827
	資産減耗費			0			0	0	0
	資産減耗費(現金を伴わない)(D)	2,037		0			2,037	455	1,582
	研究研修費	5,734	393	0			6,127	4,999	1,128
	本部費	421		0			421	421	0
	事業間負担金		10,350	11,060	7,460	3,600	21,410	21,881	△ 471
	派遣職員人件費負担金		2,835				2,835		2,835
	計	1,602,676	78,431	12,436	8,495	3,941	1,693,543	1,666,210	27,333
医業外費用	企業償還金(利子)・支払利息	24,732		11	11		24,743	26,740	△ 1,997
	その他医業外費用	12,665		0			12,665	11,600	1,065
	その他医業外費用(不納欠損分)(E)			0			0	0	0
	事業間負担金(調整分)			0			0	0	0
	計	37,397	0	11	11	0	37,408	38,340	△ 932
特別損失	特別損失			0			0	0	0
費用合計		1,640,073	78,431	12,447	8,506	3,941	1,730,951	1,704,550	26,401
収益の収支(決算額)		113,909	10,567	7,317	3,960	3,357	131,793	96,533	35,260
年度末累積剰余金・累積欠損金		204,807	103,474	109,757			418,038	286,245	131,793

〈資本的収支〉

区 分		病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	28年度決算額	増減
				計(ハ)	黒坂	二部			
企業債	企業債	38,500		0			38,500	12,800	25,700
負担金	負担金			0			0	0	0
補助金	補助金	21,576	477	0			22,053	5,452	16,601
固定資産売却代金	固定資産売却代金			0			0	0	0
借入金	借入金			0			0	0	0
貸付金償還	貸付金償還	1,500		0			1,500	1,800	△ 300
資本的収入計		61,576	477	0	0	0	62,053	20,052	42,001
建設改良費	固定資産購入費	62,222	1,002	0			63,224	23,382	39,842
企業償還金	企業償還金(元金)	148,484		250	250		148,734	148,649	85
貸付金	奨学金貸付金	3,400		0			3,400	3,000	400
借入金償還	借入金償還			0			0	0	0
資本的支出計		214,106	1,002	250	250	0	215,358	175,031	40,327
資本的収支		△ 152,530	△ 525	△ 250	△ 250	0	△ 153,305	△ 154,979	1,674

(単年度資金収支)

現金を伴わない収益(A)	31,914	102	0	0	0	32,016	31,592	424
現金を伴わない費用(B)+(C)+(D)	143,432	637	305	191	114	144,374	158,619	△ 14,245
単年度資金収支	72,897	10,577	7,372	3,901	3,471	90,846	68,581	22,265

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高(引当金除)(A)	未払金等残高(B)		資金不足負担金発生までの額((A)-(B))	
	711,782	92,808		618,974	120,596

退職給付引当金残高	前年度引当金残高	退職給付引当金	退職給付金	引当金残高		
	278,422	67,904	7人 42,961	総残高	増減	(内現金分)(内現金分増減)
				303,365	24,943	226,989 5,849

平成29年度病院事業等の決算について

1、総括的事項

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT(平成22年度更新)・MRI(平成25年度更新)などの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床(内地域包括ケア病床25床)の入院業務と21診療科の外来診療に加え訪問診察を行った。また、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。

2、「出かける医療・近づく医療」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっている。

通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車(ワゴン車)を走らせ、自宅から日野病院や診療所の間で運行させた。

また、訪問診察(週3日)に加え、在宅支援事業(訪問看護と訪問リハビリ)と診療所事業の充実を図り、可能な限り在宅での生活(療養)を支援している。(訪問診察と在宅支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。)

(ア) 訪問診察

訪問診察の延べ患者数は、平成29年度で580人(平成28年度は644人)となり、在宅での生活(療養)を推進している。

平成16年度に購入した携帯型のレントゲン撮影装置、超音波断層装置及び心電計の導入により、訪問診療の充実を図っている。

(イ) 在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリ(理学療法士3名、作業療法士1名、言語聴覚士1名)を行った。

平成29年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護 1,920名(269名減)、訪問リハビリ 4,074名(394名増)、居宅支援件数 1,684件(161件減)となっている。

(ウ) 診療所事業

無医地区の黒坂(日野町)と二部(伯耆町)に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。平成29年度延べ患者数は499名となった。(平成28年度延べ患者数は553名)

病院事業等は、在宅での療養の推進を図りながら現在の病院機能を維持していくことが必要と考えている。平成28年度に策定した新日野病院改革プランと中長期計画(H29～H33)により、機能や経営形態について検討し、周辺人口の減少による患者数の減少に対応していく必要がある。

平成29年度病院事業等の決算概況資料

日野病院組合が行っている、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業の決算概要について説明します。

1、医業収支・各種統計について

平成29年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については…

医業収支…診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支

収益について、前年度と比べ、外来収益は患者数が減少したが一人あたりの単価が増加したため増収となった。また、入院収益は、入院患者数の増により増加した。

在宅事業の介護サービス収益は、訪問リハビリの利用者は増加したが訪問看護の利用者が減少したため減収となった。

診療所事業は患者数は減少したが、診療単価の増により増収となった。

全体では51,208千円の増収となった。

費用について、入院患者数の増加により材料費・委託費が増加した。給与費も非常勤医師賃金の増により増加となった。

全体で27,804千円の増となった。

以上から、平成28年度と比較し23,404千円の収支の増となった。

(医業収入)

病院事業について、外来収益は患者数が35,919人となり、平成28年度と比較し1,086人減少したが、一人あたりの診療単価が9,904円で909円増加したため、収益は22,897千円の増収となった。

入院収益は、患者数が29,532人で平成28年度と比較し310人増加した。一人あたりの診療単価も31,210円となり、平成28年度と比較し775円増加したため、32,309千円の増収となった。

在宅介護支援事業については、訪問リハビリの利用者は394人増加したが、訪問看護利用者が269人の減、居宅支援件数も161件減少したため、全体で2,322千円の減収となった。

診療所事業については、患者数が黒坂診療所が50人の減少、二部診療所が4人の減少となったが、一人あたりの診療単価が1,261円増加したため、413千円の増収となった。

その他の医業収益については、室料差額が入院患者の増により3,610千円の増収、保健予防活動収益も481千円の増収となったが、その他医業収益については、あやめからの人件費負担金の減により6,406千円の減収となった。

(医業費用)

職員給与費については、職員数の減により給料・手当は減少したが、診療科や手術件数の増等により非常勤医師賃金が増加したため8,475千円の増となった。

また、入院患者の増加により、材料費が29,042千円、委託費が2,254千円の増となった。

2、在宅介護支援事業について

訪問看護収益については、延べ利用者数が269人減少し2,239千円の減収、訪問リハビリ事業は利用者数が394人増加したため、3,787千円の増収となった。また、居宅支援収益は161件減少したため、3,870千円の減収となった。全体では2,322千円の減収となった。

3、診療所事業について

黒坂診療所は火曜日と木曜日の週2日の診療、二部診療所については水曜日のみの週1日の診療を行った。患者数は黒坂診療所が50人の減少、二部診療所は4人の減少となったが、診療単価の増により413千円の増収となった。

4、単年度資金収支について

平成29年度の単年度資金収支（現金）は、90,846千円増加した。この額が運転資金（留保資金）として増額されることになる。

現金で引当てをしている退職給付費引当金残高は5,849千円の増加となったため、病院全体としては96,695千円の資金の増となった。

（退職給付費引当金については後記）

5、負担金（追加分）発生の状況について

平成20年度に構成町の負担金（追加分）について発生の条件を、単年度資金収支の減による補てん（赤字補てん）から、運転資金（留保資金）不足の補てんへ変更した。このことにより、留保資金が病院の運営をしていく上での運転資金を下回った（資金不足を生じた）場合に限り、その額を負担金（追加分）として受けることになった。

平成29年度末時点で、資金不足発生までの額は618,974千円となり、当分の間負担金（追加分）は発生することはない状況である。

6、退職手当引当金の実施について

平成19年度から実施している退職給与引当てについて、給料総額の140/1000とし、現金による引当てを48,810千円実施した。

また、平成26年度から地方公営企業法の改正により、経過措置として毎年19,094千円の引当てを実施している。（今年度4年目。現金を伴わない引当てで15年間実施）

7名の退職者（医師1名・看護師5名・准看護師1名）に対し総額42,961千円の退職給与金の支払いを行い、残高は303,365千円となった。（内現金残高226,989千円）

7、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、1床あたりに対する措置額が2千円増加したが、対象期間（H27.7.1～H28.6.30）における実稼働病床数の減により597千円減少した。また、起債償還に対する措置額が1,380千円の減となった。全体では194,090千円の措置額となり、1,982千円の減となった。

特別交付税については、平成19年度から不採算地区病院の対象となっているが、平成28年度からは稼働病床数に対する措置（平成27年度までは許可病床数）となった。加えて実繰出金の80%との比較（どちらか少ない額）による措置となった。

また、平成20年度からはへき地医療に対する措置も対象となっているが、平成24年度決算において累積剰余金が発生したため、基礎年金拠出金に対する措置はなくなった。

全体では、不採算地区に対する措置額と訪問看護事業に対する措置額が増加したため、措置額は10,519千円増加し158,942千円となった。

交付税措置額は全体で353,032千円となり、8,537千円の増となった。（内340,730千円を負担金として収入）

8、累積剰余金の処分について

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が、平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。

累積剰余金は、平成29年度決算終了時点で418,038千円となった。

剰余金の処分方法については、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、平成29年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

平成29年度決算見込み 医業収支(病院・在宅・診療所事業)年度比較表(決算見込み)

(収益)

(単位:千円)

内訳	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
外来収益										
病 院	315,215	308,719	328,039	327,934	322,007	324,083	332,844	355,741	22,897	年間外来患者数 35, 919人(1人あたり 9, 904円)
在 宅	49,602	51,221	56,579	57,758	61,762	63,077	72,323	70,001	△ 2,322	訪問看護19, 227千円・訪問リハビリ30, 316千円・居宅介護20, 458千円
診 療 所	5,276	4,685	4,504	3,025	2,672	2,390	2,204	2,617	413	黒坂(2, 423千円)・二部(194千円)
入院収益	784,437	795,516	755,900	761,575	751,512	768,553	889,380	921,689	32,309	年間入院患者数 29, 532人(1人あたり 31, 210円)
室料差額	25,313	25,643	24,878	24,068	21,849	21,468	29,399	33,009	3,610	稼働率(特別室47.4%・個室A85.2%・個室B88.7%)
保健予防	24,545	23,926	23,754	22,432	23,471	25,157	25,704	26,185	481	ドック・各種検診
そ の 他	18,283	18,269	17,805	14,777	15,490	23,258	22,742	16,562	△ 6,180	文書料等
計(A)	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,227,986	1,374,596	1,425,804	51,208	

(費用)

内訳	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
給 与 費	838,471	845,625	868,956	870,328	885,780	920,572	945,348	956,120	10,772	給与(348,641)・手当(249,406)・賃金(235,776)・法定福利費(122,297)
退職給与金等	102,250	55,900	106,607	54,627	47,754	83,896	70,201	67,904	△ 2,297	通常分48, 810千円(給与費×140/1000)・経過措置分(4年目)19, 094千円
材 料 費	228,200	232,206	218,570	239,860	221,120	240,095	245,827	274,869	29,042	医薬品費・薬品費・診療材料費等
経 費	77,119	83,386	91,180	92,598	89,507	90,927	98,113	96,428	△ 1,685	消耗品・光熱水費・修繕費 等
委 託 費	108,711	115,214	123,093	116,711	128,682	134,514	139,895	142,149	2,254	給食・寝具・検査委託 等
減価償却費等	102,247	109,899	112,702	123,498	136,281	135,644	139,525	125,280	△ 14,245	減価償却費(123, 243千円)・資産減耗費(2, 037千円)
そ の 他	5,981	6,590	5,934	5,900	5,564	4,820	5,420	9,383	3,963	研究研修費(6, 127千円)・本部費(421千円)・派遣職員人件費負担金(2, 835千円)
計(B)	1,462,979	1,448,820	1,527,042	1,503,522	1,514,688	1,610,468	1,644,329	1,672,133	27,804	

(収支)

内訳	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
計(A)―(B)	△ 240,308	△ 220,841	△ 315,583	△ 291,953	△ 315,925	△ 382,482	△ 269,733	△ 246,329	23,404	医業収益計(A)―医業費用計(B)
(前年度との比較)	△ 23,812	19,467	△ 94,742	23,630	△ 23,972	△ 66,557	112,749	23,404		

* 医業収支以外の主なもの

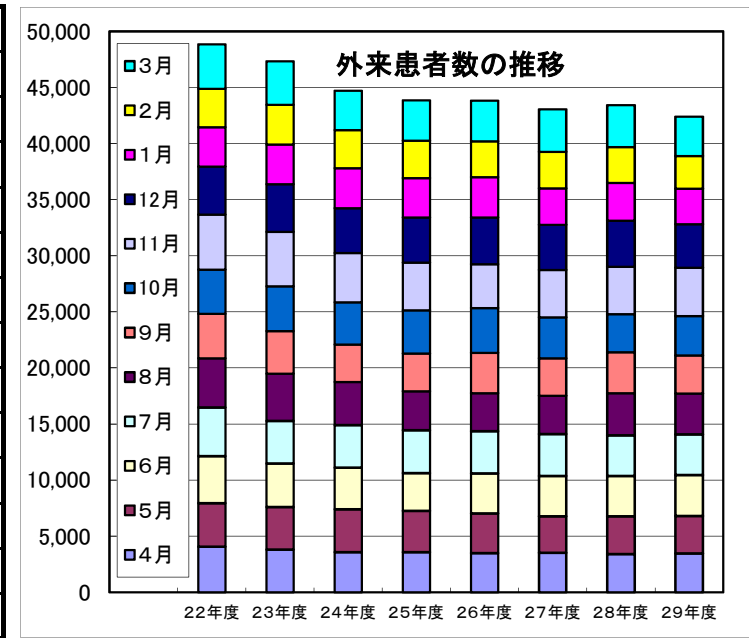
(単位:千円)

(収入)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
負 担 金	332,612	344,362	344,922	326,036	328,130	328,546	332,006	340,730	8,724	交付税措置額(不採算地区病院・へき地医療 含む)
補 助 金	38,967	38,234	38,083	37,770	36,948	36,164	34,570	35,636	1,066	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金・地域医療人材確保補助金 等
(支出)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
起債償還等	147,996	163,786	176,691	200,240	170,865	182,109	175,389	173,477	△ 1,912	元金 148, 734千円・利子24, 743千円

(外来患者数の推移)

(単位:人)

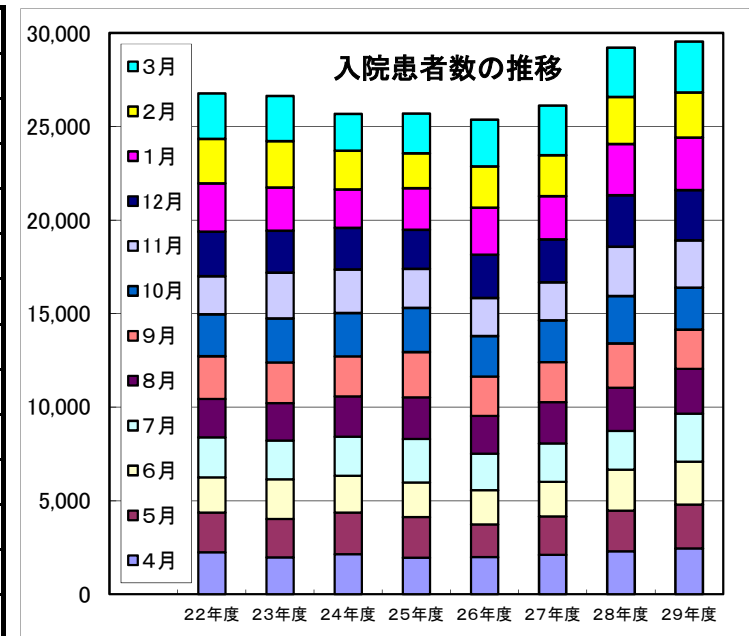
患者数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
4月	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	3,515	3,401	3,458	57
5月	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	3,268	3,374	3,355	△ 19
6月	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	3,579	3,589	3,640	51
7月	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	3,735	3,611	3,634	23
8月	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	3,425	3,787	3,627	△ 160
9月	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	3,339	3,639	3,406	△ 233
10月	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	3,641	3,385	3,513	128
11月	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	4,230	4,238	4,303	65
12月	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	4,019	4,099	3,889	△ 210
1月	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	3,262	3,383	3,162	△ 221
2月	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	3,258	3,188	2,915	△ 273
3月	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3,784	3,733	3,510	△ 223
計	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	△ 1,015



(入院患者数の推移)

(単位:人)

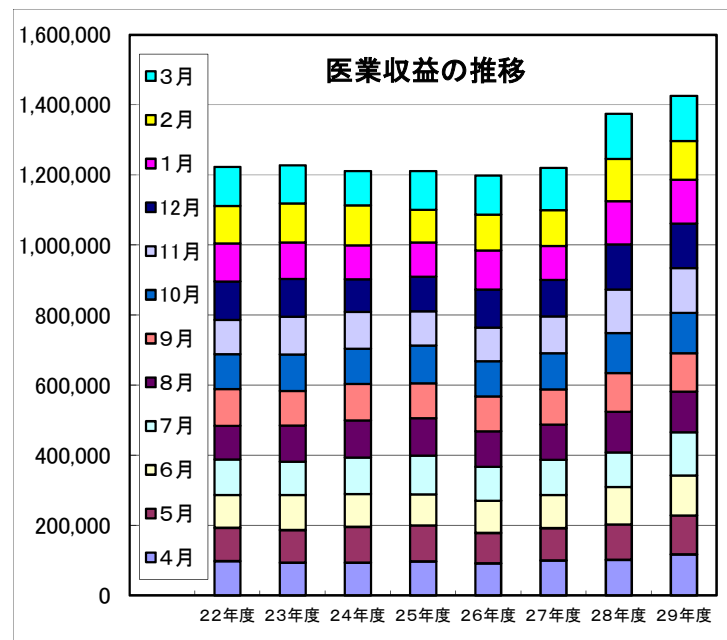
患者数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
4月	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	2,106	2,283	2,438	155
5月	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	2,045	2,173	2,344	171
6月	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	1,848	2,190	2,295	105
7月	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	2,052	2,079	2,572	493
8月	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	2,211	2,302	2,384	82
9月	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	2,128	2,374	2,110	△ 264
10月	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	2,246	2,534	2,236	△ 298
11月	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	2,037	2,638	2,536	△ 102
12月	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	2,290	2,751	2,684	△ 67
1月	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	2,310	2,736	2,805	69
2月	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	2,198	2,521	2,420	△ 101
3月	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	2,651	2,641	2,708	67
計	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	310



(収益の推移)

(単位: 千円)

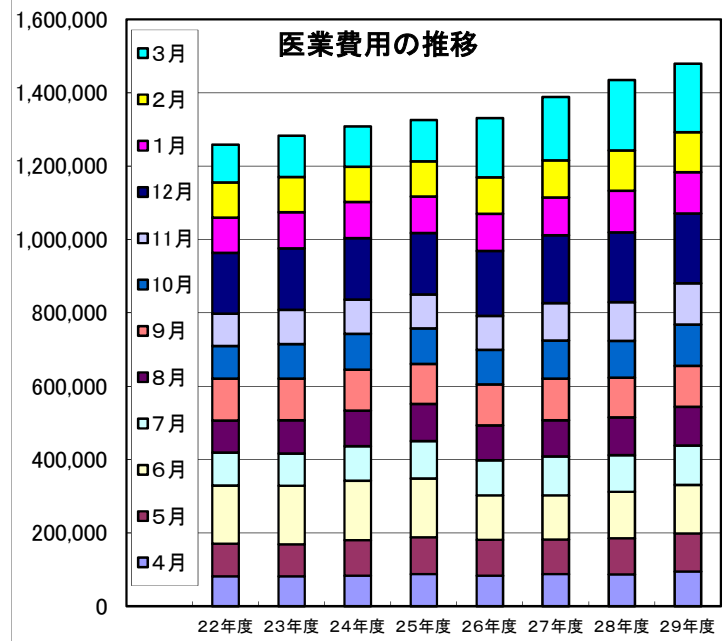
収益	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
4月	97,222	93,129	93,388	96,962	91,271	99,776	100,843	116,639	15,796
5月	94,933	93,323	101,644	103,053	86,802	91,863	101,567	111,271	9,704
6月	94,857	99,813	94,693	88,846	92,220	94,782	107,412	114,588	7,176
7月	100,710	95,533	103,445	109,755	96,417	100,636	98,586	123,042	24,456
8月	96,379	103,533	106,746	107,556	101,608	100,678	115,825	115,885	60
9月	104,669	98,115	103,541	99,282	99,268	100,243	110,947	109,947	△ 1,000
10月	99,669	104,143	101,154	107,655	101,007	102,983	113,851	114,932	1,081
11月	97,871	108,031	104,203	97,611	95,528	105,504	124,226	127,888	3,662
12月	109,497	107,397	93,570	98,976	108,759	104,295	129,163	127,351	△ 1,812
1月	109,363	104,209	96,464	98,197	111,663	96,994	123,340	124,661	1,321
2月	106,083	112,044	114,722	93,144	102,095	102,418	120,084	110,451	△ 9,633
3月	111,418	108,709	97,889	110,532	112,125	120,162	128,752	129,148	396
計	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,220,334	1,374,596	1,425,803	51,207



(費用の推移)

(単位: 千円)

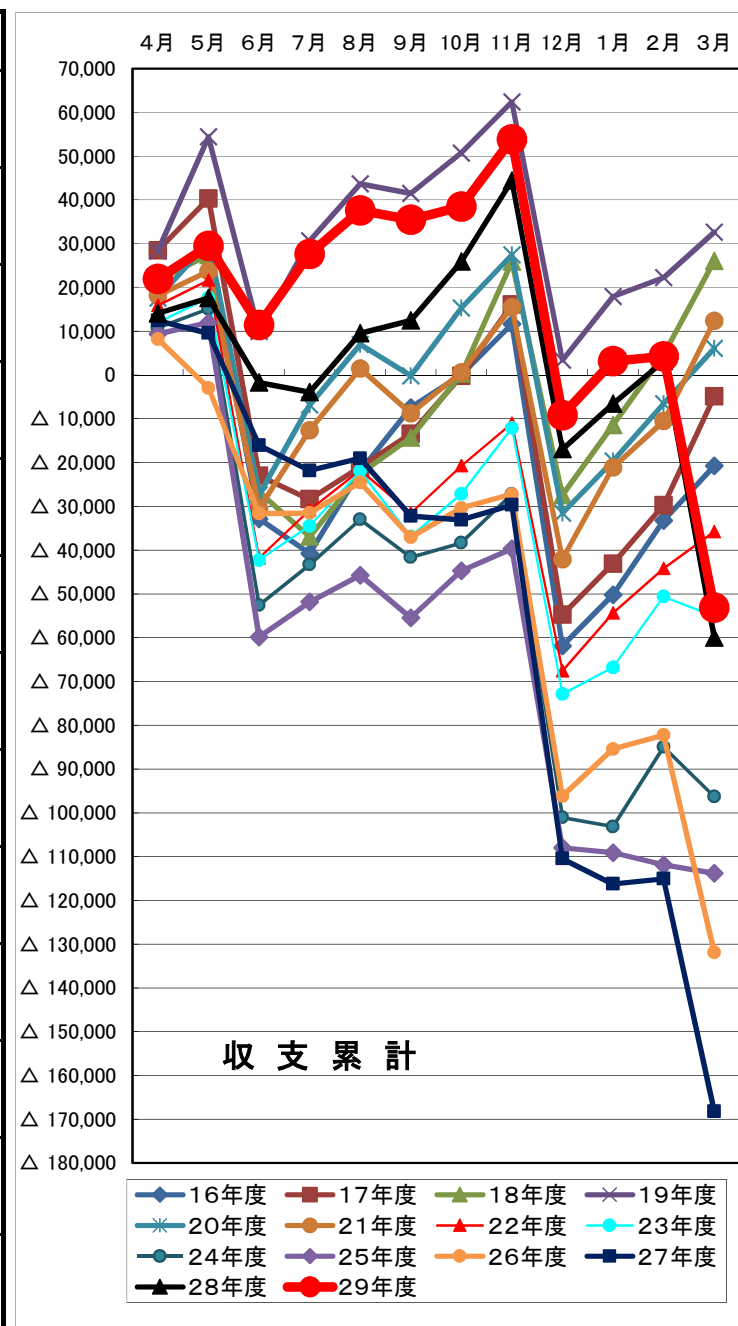
費用	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
4月	81,334	81,080	82,630	87,539	83,018	87,325	86,772	94,659	7,887
5月	89,124	87,717	97,260	100,489	97,984	94,727	98,041	103,708	5,667
6月	158,360	159,770	162,381	160,669	120,883	120,422	126,735	132,671	5,936
7月	89,738	87,686	94,179	101,757	96,335	106,386	100,785	106,785	6,000
8月	87,267	90,964	96,462	101,467	94,625	97,931	102,318	105,946	3,628
9月	114,517	113,095	112,177	108,969	111,747	113,391	108,052	112,075	4,023
10月	88,825	94,450	97,820	96,935	94,366	103,860	100,436	111,939	11,503
11月	88,133	92,950	93,123	92,535	92,386	102,096	105,714	112,520	6,806
12月	166,105	168,168	167,413	167,309	177,691	185,095	190,511	190,408	△ 103
1月	96,127	98,122	98,571	99,331	100,914	102,762	112,935	112,280	△ 655
2月	95,935	95,861	96,524	95,939	98,935	101,254	110,330	109,367	△ 963
3月	103,017	113,158	109,193	112,458	161,769	173,314	191,974	186,571	△ 5,403
計	1,258,482	1,283,021	1,307,733	1,325,397	1,330,653	1,388,563	1,434,603	1,478,929	44,326



(収支の推移)

(単位:千円)

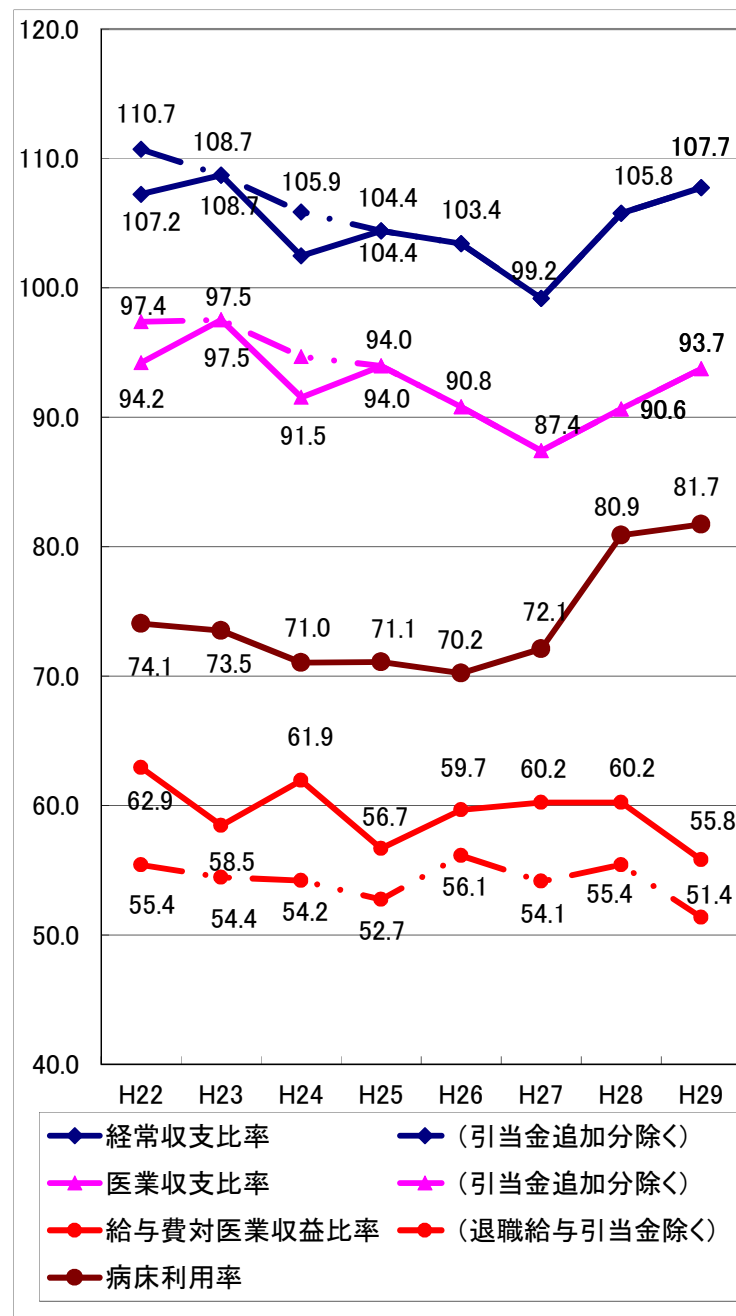
収支	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
4月	15,888	12,049	10,758	9,423	8,253	12,451	14,071	21,980	7,909
5月	5,809	5,606	4,384	2,564	△ 11,182	△ 2,864	3,526	7,563	4,037
6月	△ 63,503	△ 59,957	△ 67,688	△ 71,823	△ 28,663	△ 25,640	△ 19,323	△ 18,083	1,240
7月	10,972	7,847	9,266	7,998	82	△ 5,750	△ 2,199	16,257	18,456
8月	9,112	12,569	10,284	6,089	6,983	2,747	13,507	9,939	△ 3,568
9月	△ 9,848	△ 14,980	△ 8,636	△ 9,687	△ 12,479	△ 13,148	2,895	△ 2,128	△ 5,023
10月	10,844	9,693	3,334	10,720	6,641	△ 877	13,415	2,993	△ 10,422
11月	9,738	15,081	11,080	5,076	3,142	3,408	18,512	15,368	△ 3,144
12月	△ 56,608	△ 60,771	△ 73,843	△ 68,333	△ 68,932	△ 80,800	△ 61,348	△ 63,057	△ 1,709
1月	13,236	6,087	△ 2,107	△ 1,134	10,749	△ 5,768	10,405	12,381	1,976
2月	10,148	16,183	18,198	△ 2,795	3,160	1,164	9,754	1,084	△ 8,670
3月	8,401	△ 4,449	△ 11,304	△ 1,926	△ 49,644	△ 53,152	△ 63,222	△ 57,423	5,799
計	△ 35,811	△ 55,042	△ 96,274	△ 113,828	△ 131,890	△ 168,229	△ 60,007	△ 53,126	6,881



決算統計数値の推移

項目	決算統計	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
医業収益 (A)	20表(2)	1,359,287	1,392,512	1,378,182	1,392,110	1,344,711	1,376,398	1,457,009	1,531,160
医業外収益 (B)	20表(15)	247,427	220,851	220,877	212,060	252,109	249,368	315,967	304,097
医業費用 (C)	20表(26)	1,442,771	1,427,809	1,505,721	1,481,548	1,481,150	1,574,822	1,607,501	1,633,384
医業外費用 (D)	20表(40)	55,582	56,267	54,778	55,060	62,861	64,105	68,942	70,080
職員給与費 (E)	20表(27)	855,347	813,925	853,402	788,720	802,275	828,922	877,403	854,210
材料費 (F)	20表(28)	213,502	221,220	208,079	228,454	204,652	222,190	227,631	254,845
うち薬品費 (G)	21表(22)	120,517	112,711	113,224	120,188	108,111	118,835	151,381	131,251
年延入院患者数 (H)	27表(6)	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532
うち一般患者数 (I)	27表(1)	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532
うち療養患者数 (J)	27表(2)	0	0	0	0	0	0	0	0
年延病床数 (K)	27表(12)	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135
うち一般病床 (L)	27表(7)	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135
うち療養病床 (M)	27表(8)	0	0	0	0	0	0	0	0

項目		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
経常収支比率	$\frac{(A)+(B)}{(C)+(D)}$	107.2	108.7	102.5	104.4	103.4	99.2	105.8	107.7
医業収支比率	$\frac{(A)}{(C)}$	94.2	97.5	91.5	94.0	90.8	87.4	90.6	93.7
職員給与費対医業収益比率	$\frac{(E)}{(A)}$	62.9	58.5	61.9	56.7	59.7	60.2	60.2	55.8
材料費対医業収益比率	$\frac{(F)}{(A)}$	15.7	15.9	15.1	16.4	15.2	16.1	15.6	16.6
うち薬品費対医業収益比率	$\frac{(G)}{(A)}$	8.9	8.1	8.2	8.6	8.0	8.6	10.4	8.6
病床利用率	$\frac{(H)}{(K)}$	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7
うち一般病床	$\frac{(I)}{(L)}$	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7
うち療養病床	$\frac{(J)}{(M)}$	-	-	-	-	-	-	-	-



平成29年度 外来患者(在宅・診療所含)分析

(単位:人)

収益

(単位:千円)

患者数	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	稼動	平均
4月	4,629	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	3,515	3,401	3,458	57	20	172.9
5月	4,718	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	3,268	3,374	3,355	△ 19	20	167.8
6月	4,730	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	3,579	3,589	3,640	51	22	165.5
7月	5,179	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	3,735	3,611	3,634	23	20	181.7
8月	4,400	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	3,425	3,787	3,627	△ 160	20	181.4
9月	4,418	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	3,339	3,639	3,406	△ 233	20	170.3
10月	4,735	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	3,641	3,385	3,513	128	21	167.3
11月	4,616	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	4,230	4,238	4,303	65	20	215.2
12月	4,944	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	4,019	4,099	3,889	△ 210	20	194.5
1月	4,082	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	3,262	3,383	3,162	△ 221	19	166.4
2月	4,058	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	3,258	3,188	2,915	△ 273	19	153.4
3月	4,289	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3,784	3,733	3,510	△ 223	21	167.1
計	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	△ 1,015	242	175.3

病院	訪問	診療所
29,010	5,658	225
27,989	5,902	185
30,613	5,848	174
30,431	6,029	201
32,306	5,930	220
30,095	6,111	281
30,468	6,166	206
29,811	5,833	269
29,434	5,742	129
28,397	5,285	316
26,460	5,366	230
30,727	6,131	181
355,741	70,001	2,617

(内訳)

(単位:人)

(単位:千円)

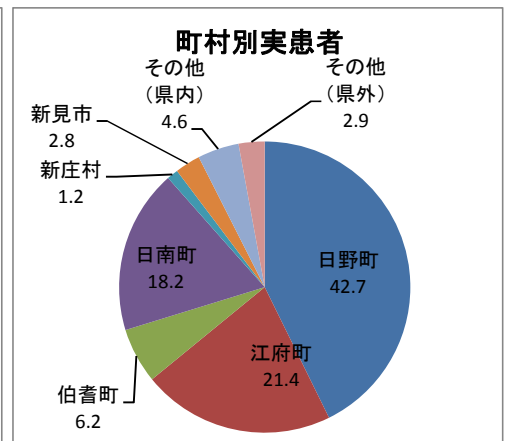
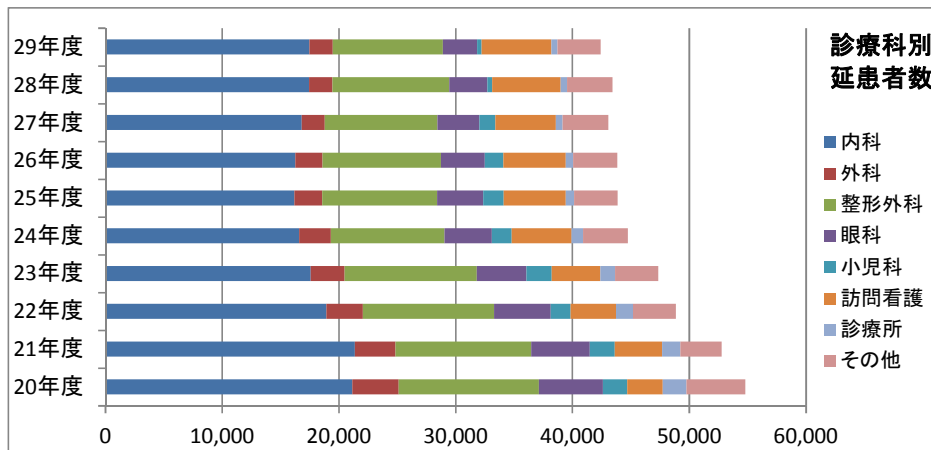
診療科	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	稼動	平均
内 科	18,405	18,328	16,242	14,928	14,738	14,732	14,905	15,372	16,015	15,564	△ 451	242	64.3
(内 透 析)	1,150	1,217	1,536	1,734	1,938	1,552	1,714	1,804	1,995	1,953	△ 42	260	7.5
循環器内科	616	810	922	770	0	0	0	0	0	421	421	45	9.4
消化器内科	818	955	851	868	804	683	576	645	743	795	52	49	16.2
脳神経内科	1,300	1,261	900	1,010	1,043	750	778	767	657	688	31	50	13.8
外 科	3,497	3,078	2,751	2,580	2,410	2,095	2,063	1,755	1,737	1,710	△ 27	242	7.1
整形外科	12,019	11,640	11,251	11,302	9,736	9,841	10,137	9,630	10,025	9,424	△ 601	235	40.1
心臓血管外科	456	386	367	326	300	288	270	244	271	274	3	40	6.9
眼 科	5,488	5,006	4,832	4,255	4,053	3,956	3,742	3,599	3,251	2,947	△ 304	237	12.4
耳鼻咽喉科	922	727	698	760	731	723	694	730	610	631	21	44	14.3
泌尿器科	1,350	1,304	1,438	1,495	1,598	1,420	1,350	1,302	1,442	1,275	△ 167	50	25.5
皮 膚 科	476	522	565	451	411	519	747	836	855	826	△ 29	50	16.5
女性診療科	174	167	78	68	147	191	168	192	220	221	1	50	4.4
小 児 科	2,069	2,142	1,702	2,161	1,702	1,746	1,604	1,363	402	373	△ 29	50	7.5
心療内科	653	716	799	766	806	753	743	764	777	770	△ 7	50	15.4
アレルギー科	93	88	107	153	134	132	74	93	0	0	0	0	
居 宅 管 理	1,394	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
訪問看護・リハ	3,043	4,051	3,912	4,182	5,108	5,309	5,345	5,182	5,869	5,994	125	242	24.8
黒坂診療所	1,814	1,442	1,311	1,157	905	649	550	534	512	462	△ 50	99	4.7
二部診療所	211	132	128	94	97	80	69	47	41	37	△ 4	48	0.8
計	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	△ 1,015	-	-

収益	診療単価	備考
197,313	12,678	月～金
56,290		月～金
3,684	8,751	月
8,015	10,082	水
3,269	4,751	木
17,145	10,026	月～金
81,333	8,630	月～金
1,749	6,383	第1～3火
15,864	5,383	月～金
2,048	3,246	木
18,314	14,364	木
2,059	2,493	火
591	2,674	火
683	1,831	火
3,674	4,771	金
0		
0		
70,001	11,679	随時
2,423	5,245	火・木
194	5,243	水
428,359	10,100	

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町(小計)	日南町	新庄村	新見市	その他(県内)	その他(県外)	合計
実患者数*	2,023	1,013	292	3,328	863	59	134	218	136	4,738
割合(%)	42.7	21.4	6.2	70.2	18.2	1.2	2.8	4.6	2.9	100.0
(H28実患者数)	2,057	1,020	258	3,335	834	67	143	162	114	4,655
割合(%)	44.2	21.9	5.5	71.6	17.9	1.4	3.1	3.5	2.4	100.0



平成29年度 入院患者分析（請求ベース）

（単位：人）

患者数	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	稼働	平均	稼働率 (%)	入院収益
4月	2,149	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	2,106	2,283	2,438	155	30	81.3	82.1	77,269
5月	2,406	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	2,045	2,173	2,344	171	31	75.6	76.4	72,171
6月	2,340	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	1,848	2,190	2,295	105	30	76.5	77.3	73,675
7月	2,359	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	2,052	2,079	2,572	493	31	83.0	83.8	79,776
8月	2,387	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	2,211	2,302	2,384	82	31	76.9	77.7	69,846
9月	2,053	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	2,128	2,374	2,110	△ 264	30	70.3	71.0	68,625
10月	2,230	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	2,246	2,534	2,236	△ 298	31	72.1	72.9	72,305
11月	2,014	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	2,037	2,638	2,536	△ 102	30	84.5	85.4	82,913
12月	2,393	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	2,290	2,751	2,684	△ 67	31	86.6	87.5	82,999
1月	2,235	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	2,310	2,736	2,805	69	31	90.5	91.4	85,806
2月	2,136	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	2,198	2,521	2,420	△ 101	28	86.4	87.3	72,414
3月	2,225	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	2,651	2,641	2,708	67	31	87.4	88.2	83,890
計	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	310	365	80.9	81.7	921,689

（内訳）

（単位：人）

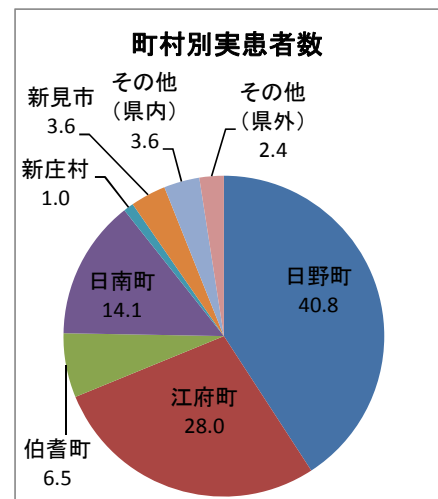
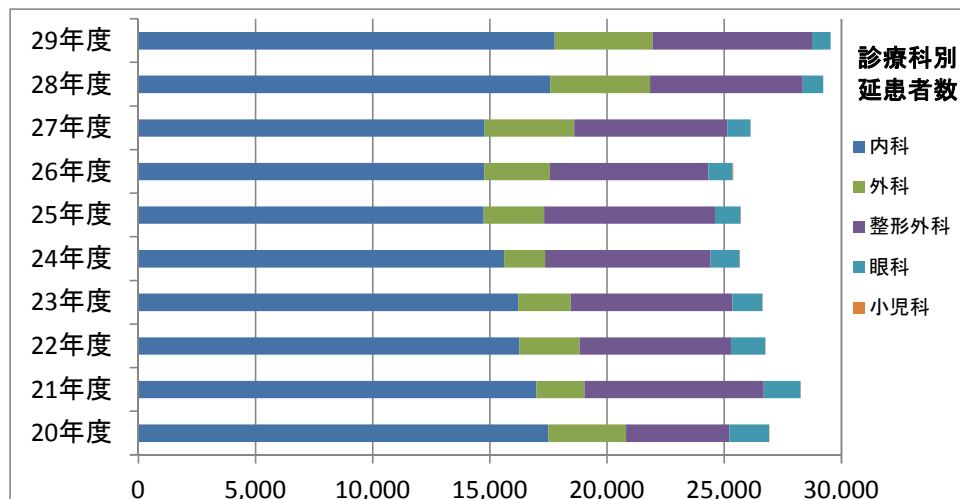
（単位：千円）

診療科	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	稼働	平均	収益 (千円)	単価 (円)
内 科	17,481	16,977	16,256	16,204	15,601	14,726	14,746	14,771	17,569	17,762	193	365	48.7	498,758	28,080
外 科	3,316	2,048	2,563	2,236	1,748	2,578	2,800	3,819	4,251	4,171	△ 80	365	11.4	126,945	30,435
整 形 外 科	4,411	7,655	6,464	6,895	7,060	7,293	6,772	6,523	6,523	6,805	282	365	18.6	264,020	38,798
眼 科	1,706	1,566	1,467	1,291	1,236	1,089	1,036	1,009	879	794	△ 85	365	2.2	31,966	40,259
小 児 科	13	15	12	5	23	3	19	0	0	0	0	365	0.0	0	
計	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	310	365	80.9	921,689	31,210
平均患者数	73.8	77.4	73.3	72.8	70.3	70.4	69.5	71.4	80.1	80.9	平成18年8月以前（一般病床101床・療養病床16床）				
稼働率	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7	平成18年8月以後（一般病床99床）				

（内訳）

（単位：人・%）

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町 (小計)	日南町	新庄村	新見市	その他 (県内)	その他 (県外)	構成町以外 (小計)	合計
実患者数*	284	195	45	524	98	7	25	25	17	172	696
割合(%)	40.8	28.0	6.5	75.3	14.1	1.0	3.6	3.6	2.4	24.7	100.0
(H28実患者数)	303	171		59	86	9	27	16	13	151	684
割合(%)	44.3	25.0		77.9	12.6	1.3	3.9	2.3	1.9	22.1	100.0



材 料 費 ・ 経 費 ・ 委 託 費 比 較 表

(材料費)

(単位:円)

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
材料費支払額	95,918,540	76,435,837	86,308,220	73,179,304	78,846,418	79,355,322	98,800,535	19,445,213	入院患者数、手術件数の増による診療材料使用量の増
医薬品	133,721,710	140,162,749	150,355,182	145,178,958	158,611,129	163,531,450	172,364,134	8,832,684	入院患者数の増による購入量の増
その他	2,566,067	1,970,739	3,197,513	2,761,716	2,637,966	2,939,012	3,704,813	765,801	医療消耗備品 2,945,859円・給食材料費758,954円
支払金額	232,206,317	218,569,325	239,860,915	221,119,978	240,095,513	245,825,784	274,869,482	29,043,698	

(経費)

(単位:円)

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
厚生福利費	744,578	790,200	790,400	810,200	978,600	2,175,660	2,303,977	128,317	
交際費	927,299	861,357	992,351	972,721	925,894	954,143	981,142	26,999	
旅費交通費	325,388	280,979	499,629	218,394	182,806	226,946	119,625	△ 107,321	
職員被服費	5,025,339	4,990,706	4,250,847	3,939,846	4,811,075	4,719,422	5,783,188	1,063,766	カーディガン等貸与による増
消耗品費	7,387,402	8,113,263	6,701,959	6,208,080	6,859,300	7,658,656	9,586,102	1,927,446	入院患者用消耗品の増、診察券カード、ロゴマーク付クリアファイル
消耗備品費	911,770	1,712,987	3,853,741	1,020,549	985,015	645,254	954,858	309,604	
光熱水費	40,775,295	42,348,156	43,604,226	43,516,710	38,198,635	36,558,577	40,534,378	3,975,801	電気・灯油単価の増による
燃料費	1,287,172	1,456,189	1,830,876	1,845,388	1,526,209	1,376,431	1,384,242	7,811	
食糧費	14,229	7,607	8,400	6,376	7,669	10,098	6,576	△ 3,522	
印刷製本費	1,347,466	993,876	1,044,013	879,066	910,656	1,017,630	1,008,288	△ 9,342	
修繕費	8,864,999	10,552,487	7,673,246	8,189,876	10,403,384	15,619,403	9,217,657	△ 6,401,746	H28病院建物外壁補修(5,292千円)
保険料	2,647,171	2,657,751	2,732,345	2,644,795	2,706,995	2,733,125	2,743,768	10,643	
賃借料	8,723,975	12,045,553	13,079,493	13,337,839	16,937,867	18,665,158	15,994,352	△ 2,670,806	H28眼科レーザー治療器をレンタル、人工呼吸器レンタルの減
通信運搬費	2,250,760	2,433,211	2,902,407	2,979,794	2,959,204	3,026,087	3,014,625	△ 11,462	
諸会費	933,890	829,010	850,250	833,340	914,830	1,056,770	1,105,440	48,670	
貸倒引当金繰入額				762,000	0	0	0	0	
雑費	1,218,373	1,106,727	1,783,891	1,342,136	1,617,730	1,669,454	1,689,623	20,169	
支払金額	83,385,106	91,180,059	92,598,074	89,507,110	90,925,869	98,112,814	96,427,841	△ 1,684,973	

(委託費)

(単位:円)

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
検査委託費(支払実績)	6,714,305	8,607,126	8,491,663	9,181,942	9,940,725	12,059,221	12,350,248	291,027	入院患者数増加による検査件数の増(単価については毎年交渉)
寝具単価	3,696,285	3,605,784	3,604,713	3,675,025	3,749,599	3,991,550	4,068,478	76,928	
病衣単価	1,066,571	990,118	1,057,921	1,226,070	1,148,040	1,378,674	1,098,144	△ 280,530	使用数の減
給食(委託費)	32,760,000	32,760,000	32,760,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	0	①⑦月額 3,266,550円・①⑧～月額 2,730,000円・②⑤～月額2,600,000円(税抜)
給食(材料費)	13,899,443	13,568,305	13,583,626	14,623,103	13,930,785	15,863,466	16,323,682	460,216	入院患者数の増による食事件数の増
全自動分析装置	399,000	399,000	399,000	0	1,188,000	1,188,000	1,188,000	0	①⑦～年額 400,000円・②⑦～月額99,000円(税込)
MR保守料	6,833,400	6,833,400	2,847,250	3,418,200	8,203,680	8,203,680	8,203,680	0	①⑦月額 638,750円・①⑧～月額 612,500円・②⑤～月額683,640円(税込)
CT・DRテレビ保守料	6,066,900	9,752,400	9,728,775	9,849,600	10,422,000	7,934,760	7,663,680	△ 271,080	CT・X線管球保守料(6,285,600円)・検像システム保守料(135,000円)・医用画像保管装置保守料(724,680円)・X線外科イメージ保守料(259,200円)・X線一般撮影保守料(259,200円)
富士FCRシステム保守	707,280	810,180	810,180	1,261,170	1,867,676	1,681,560	1,681,560	0	月額 140,130円
消防用設備点検	414,750	414,750	414,750	426,600	426,600	426,600	426,600	0	①⑦ 年額472,500円・①⑧①⑨年額438,900円・②⑩～年額税抜395,000円(複数年契約による減)
空気調和設備保守	2,520,000	2,520,000	2,520,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	0	年4回実施 1回当たり ①⑦～682,500円・②⑩～600,000円(税抜)複数年契約により減
透析浸透水処理定期点検他	473,760	2,731,470	170,573	2,720,736	701,288	2,775,856	674,136	△ 2,101,720	2年に1回(メンテナンス時の交換部品により金額変動)
日立人工透析排水維持管理	420,000	420,000	420,000	432,000	432,000	432,000	432,000	0	16年度から保守(年4回実施) ①⑦～100,000円(税抜)
高圧蒸気滅菌装置性能検査	238,000	249,900	0	0	0	0	0	0	
三菱昇降機保守	1,965,600	1,965,600	1,965,600	2,021,760	2,021,760	2,021,760	2,021,760	0	①⑦～月額 156,000円(税抜)
自動ドア保守	808,500	808,500	808,500	810,000	810,000	810,000	810,000	0	①⑦年額 878,850円・①⑧～年額 808,500円・②⑤～年額 750,000円(税抜)
カーテン保守	472,500	426,300	397,946	8,640	401,112	401,112	401,112	0	②⑤～月額税込33,426円(H26カーテン更新)
電気保安協会業務	677,670	677,670	677,670	697,031	697,031	697,031	697,031	0	基本料 645,400円(税抜)
清掃、洗濯委託料	12,549,600	12,549,600	12,549,600	12,694,320	12,694,320	12,694,320	12,694,320	0	①⑦～月額 1,047,480円・①⑨～月額 1,045,800円(長期契約による減) ②⑤～月額979,500円(税抜)

特別清掃	1,959,300	1,709,400	1,614,900	1,695,600	1,733,400	1,406,160	1,406,160	0	
医療廃棄物処理	3,211,950	3,382,050	2,969,400	3,015,360	3,533,220	4,113,720	4,328,640	214,920	排出量の増
医療ガス設備保守	963,900	958,440	939,960	939,600	967,680	981,396	967,680	△ 13,716	ボンベ検査実施件数の減
玄関マット	200,844	200,844	200,844	206,472	205,932	205,932	205,932	0	月額 17,161円(税込)
コピーセキサンカウンター料金	795,211	764,429	690,034	701,175	481,823	474,111	507,738	33,627	使用量で金額変動
生ゴミ処理機保守	42,000	100,800	100,800	103,680	103,680	103,680	103,680	0	⑰～年額 226,800円・22年度器械入替(月額8,400円×4ヶ月)・⑳～月額8,000円
除雪	456,890	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	0	
特殊建築物定期調査	0	2,184,000	0	216,000	0	230,040	0	△ 230,040	法定点検(2年に1度実施)
アクアビューリスクラブユニット定期点検	0	0	0	0	0	0	0	0	
ケイズ情報システム他保守	3,307,689	2,990,295	2,683,380	4,197,570	4,390,035	4,231,711	5,269,488	1,037,777	電子カルテ保守料の増(5年以上)
人工呼吸器定期点検	1,472,100	1,472,100	1,472,100	730,080	0	0	0	0	
病院警備委託料	0	0	1,713,600	6,053,688	6,053,688	6,053,688	6,053,688	0	
遠隔画像診断支援業務	5,070,447	5,233,722	5,378,622	5,892,750	6,225,930	7,848,630	9,939,780	2,091,150	患者数増加による検査件数の増
その他	3,297,766	3,456,997	5,188,926	5,045,905	5,345,916	4,848,824	5,794,578	945,754	病院機能評価受審1,296千円、パンフレット作成572千円 (H28公立病院改革プラン作成400千円、H28麻酔器点検326千円)
支払金額	115,214,411	123,093,180	116,710,333	128,682,077	134,513,920	139,895,482	142,149,795	2,254,313	

人 件 費 比 較 表

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
給 料	医師	38,252	38,593	38,800	33,812	27,712	△ 6,100	内科医師の減
	看護師	140,728	150,303	166,220	163,957	170,670	6,713	看護師の増
	准看護師	32,610	25,162	25,476	25,452	25,196	△ 256	
	医療技術員	69,312	69,200	70,404	85,411	77,411	△ 8,000	診療放射線技師、臨床検査技師等の減
	事務員	37,735	42,516	43,697	46,784	37,919	△ 8,865	介護支援専門員等の減
	労務員	12,439	12,711	12,844	9,637	9,733	96	
	小計	331,076	338,485	357,441	365,053	348,641	△ 16,412	
賃 金	嘱託医師	9,180	8,901	8,901	8,901	8,901	0	
	非常勤医師	116,298	108,054	111,221	119,454	147,578	28,124	診療回数、手術件数の増による増
	看護師	8,130	6,404	9,023	6,131	8,022	1,891	
	准看護師	17,968	23,113	22,572	19,279	14,792	△ 4,487	
	医療技術員	3,070	5,269	4,194	4,830	14,036	9,206	診療放射線技師、臨床検査技師等の増
	事務員	25,368	18,514	18,568	19,566	24,674	5,108	外来クランク、介護支援専門員等の増
	労務員	21,406	20,868	19,397	17,300	17,773	473	
	小計	201,420	191,123	193,876	195,461	235,776	40,315	
手 当	扶養手当	6,952	6,819	5,949	6,683	6,912	229	
	地域手当	6,394	6,512	6,916	6,316	5,209	△ 1,107	常勤医師の減による減
	管理職手当	4,834	4,844	7,090	7,426	7,106	△ 320	
	住居手当	3,259	4,269	4,980	4,411	3,627	△ 784	
	通勤手当	8,777	9,432	10,993	11,199	10,761	△ 438	
	初任給調整手当	21,761	21,218	21,248	22,019	17,426	△ 4,593	常勤医師の減による減
	医療業務手当	6,360	6,360	6,900	7,140	6,780	△ 360	常勤医師の減による減
	放射線取扱手当	252	252	252	252	161	△ 91	
	時間外勤務手当	16,992	15,820	11,783	23,212	23,755	543	
	日当直手当	5,056	4,636	4,608	4,578	4,042	△ 536	
	管理職特別手当	2,229	2,290	2,560	2,272	1,952	△ 320	
	夜間看護手当	9,316	9,751	9,899	9,778	10,370	592	
	夜間勤務手当	3,282	3,478	3,471	3,417	3,608	191	
	在宅待機手当	209	292	293	292	292	0	
	児童(子供)手当	3,070	3,170	2,950	3,330	3,250	△ 80	
	期末手当	76,996	53,821	57,141	58,554	54,156	△ 4,398	
	勤勉手当	38,973	30,902	34,561	37,242	35,254	△ 1,988	
	賞与引当金繰入額	0	51,010	52,375	55,620	54,745	△ 875	
	小計	214,712	234,876	243,969	263,741	249,406	△ 14,335	
法 定 福 利 費	共済負担金	94,788	93,642	100,469	102,791	101,214	△ 1,577	
	基礎年金拠出金	0	0	0	0		0	
	共済追加費用	17,150	16,023	13,193	7,191	8,679	1,488	
	社会保険料	8,747	9,188	9,139	8,758	10,272	1,514	
	公務災害負担金	727	635	779	864	801	△ 63	
	労災保険料	1,708	1,808	1,706	1,489	1,331	△ 158	
	小計	123,120	121,296	125,286	121,093	122,297	1,204	
計		870,328	885,780	920,572	945,348	956,120	10,772	

人 件 費 比 較 表（職員数）

年間延人数

（単位：人）

項目		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
正職員	医師	84	84	84	75	60	△ 15	内科医師の減
	看護師	504	506	575	570	582	12	
	准看護師	108	84	84	84	84	0	
	医療技術員	290	294	288	348	311	△ 37	診療放射線技師、臨床検査技師等の減
	事務員	138	156	156	168	144	△ 24	
	労務員	48	48	48	36	36	0	
小計		1,172	1,172	1,235	1,281	1,217	△ 64	
嘱託職員	医師	12	12	12	12	12	0	
	非常勤医師	532	465	536	580	666	86	診療回数、手術件数の増による
	看護師	44	36	48	30	42	12	
	准看護師	96	119	115	84	64	△ 20	
	医療技術員	12	18	12	21	59	38	診療放射線技師、臨床検査技師等の増
	事務員	146	120	120	125	170	45	外来クラーク、介護支援専門員等の増
	労務員	122	131	112	93	111	18	
小計		964	901	955	945	1,124	179	
計		2,136	2,073	2,190	2,226	2,341	115	

1月あたり人数

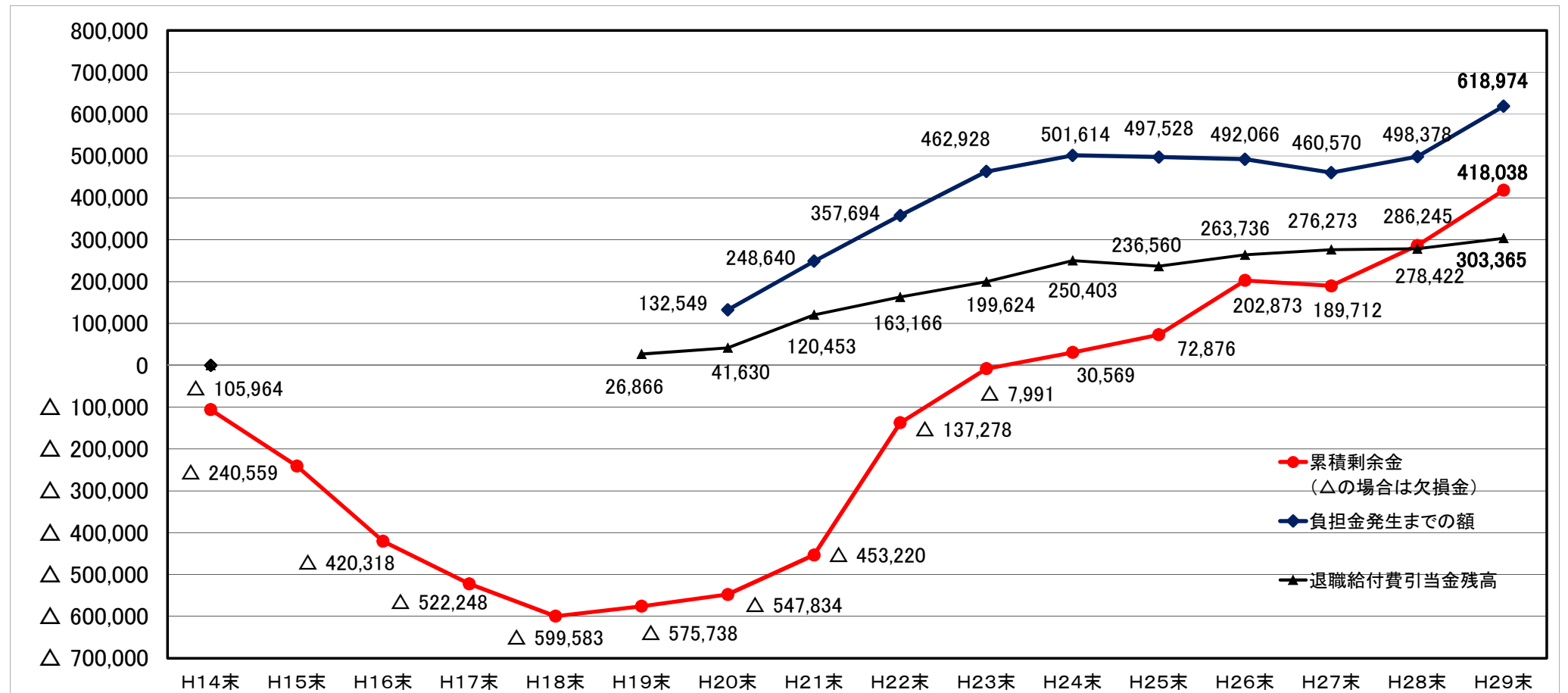
（単位：人）

項目		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引	備 考
正職員	医師	7.0	7.0	7.0	6.3	5.0	△ 1.3	
	看護師	42.0	42.2	47.9	47.5	48.5	1.0	
	准看護師	9.0	7.0	7.0	7.0	7.0	0.0	
	医療技術員	24.2	24.5	24.0	29.0	25.9	△ 3.1	
	事務員	11.5	13.0	13.0	14.0	12.0	△ 2.0	
	労務員	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	0.0	
小計		97.7	97.7	102.9	106.8	101.4	△ 5.3	
嘱託職員	医師	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	
	非常勤医師	44.3	38.8	44.7	48.3	55.5	7.2	
	看護師	3.7	3.0	4.0	2.5	3.5	1.0	
	准看護師	8.0	9.9	9.6	7.0	5.3	△ 1.7	
	医療技術員	1.0	1.5	1.0	1.8	4.9	3.2	
	事務員	12.2	10.0	10.0	10.4	14.2	3.8	
	労務員	10.2	10.9	9.3	7.8	9.3	1.5	
小計		80.3	75.1	79.6	78.8	93.7	14.9	
計		178.0	172.8	182.5	185.5	195.1	9.6	

累積剰余金及び負担金発生までの額の推移

(単位:千円)

年 度	H14末	H15末	H16末	H17末	H18末	H19末	H20末	H21末	H22末	H23末	H24末	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
病院事業等決算額	△ 105,964	△ 134,595	△ 179,759	△ 101,930	△ 77,335	23,845	27,904	94,614	108,361	129,287	38,560	42,306	7,392	△ 13,161	96,533	131,793
端数調整及び 資本剰余金取り崩し額	0	0	0	0	0	0	0	0	207,581	0	0	0	122,605	0	0	0
累 積 剰 余 金 (△の場合は欠損金)	△ 105,964	△ 240,559	△ 420,318	△ 522,248	△ 599,583	△ 575,738	△ 547,834	△ 453,220	△ 137,278	△ 7,991	30,569	72,876	202,873	189,712	286,245	418,038
負担金発生までの額	単年度資金収支による追加負担金						132,549	248,640	357,694	462,928	501,614	497,528	492,066	460,570	498,378	618,974
退職給付費引当金残高	単年度の支出による					26,866	41,630	120,453	163,166	199,624	250,403	236,560	263,736	276,273	278,422	303,365



施設・設備等整備状況

施設・設備等整備状況

施設

工事内容	契約金額	契約年月日	契約先
日野病院ロゴマーク設置工事	459,000 円 (内消費税 34,000円)	平成29年10月2日	(有)みつば工芸
日野病院名誉病院長室設置工事	1,674,000 円 (内消費税 124,000円)	平成30年2月26日	(株)津田建築

設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
インフォメーションシステム受付表示変更	881,280 円 (内消費税 65,280円)	平成29年4月3日	オフィスオートメーションシステム(株)
ポケットエコー	183,492 円 (内消費税 13,592円)	平成29年5月22日	日本シグマックス(株)
ストレッチャー	291,600 円 (内消費税 21,600円)	平成29年5月22日	村中医療器(株)
ストレッチャー型体重計	831,600 円 (内消費税 61,600円)	平成29年5月22日	村中医療器(株)
上部消化管汎用ビデオスコープ	3,950,532 円 (内消費税 292,632円)	平成29年5月22日	ティーエスアルフレッサ(株)
高周波焼灼電源装置	1,177,200 円 (内消費税 87,200円)	平成29年5月22日	ティーエスアルフレッサ(株)
超音波凝固切開装置	1,036,800 円 (内消費税 76,800円)	平成29年6月9日	宮野医療器(株)
低床電動ベッド2台	807,840 円 (内消費税 59,840円)	平成29年7月13日	村中医療器(株)
特殊入浴装置	6,944,400 円 (内消費税 514,400円)	平成29年8月22日	村中医療器(株)
業務用電子レンジ	199,800 円 (内消費税 14,800円)	平成29年8月22日	(有)エフエスエーシステムズ
IHコンロ	313,200 円 (内消費税 23,200円)	平成29年9月25日	(有)エフエスエーシステムズ
鼻咽喉ファイバースコープ洗浄機	111,780 円 (内消費税 8,280円)	平成29年9月28日	宮野医療器(株)
エルゴメーター	213,840 円 (内消費税 15,840円)	平成29年10月10日	村中医療器(株)
電動デジタルエアータニケット	869,400 円 (内消費税 64,400円)	平成29年11月9日	村中医療器(株)
コンプレッサー	181,440 円 (内消費税 13,440円)	平成29年11月9日	山陰酸素工業(株)
ノートパソコン	151,200 円 (内消費税 11,200円)	平成29年11月20日	オフィスオートメーションシステム(株)
シリンジポンプ2台	388,800 円 (内消費税 28,800円)	平成29年12月15日	村中医療器(株)
包丁まな板殺菌庫	421,200 円 (内消費税 31,200円)	平成29年12月15日	(有)エフエスエーシステムズ
コアグレーター	347,760 円 (内消費税 25,760円)	平成29年12月15日	小西医療器(株)
デジタルX線TVシステム	27,367,200 円 (内消費税 2,027,200円)	平成29年12月25日	東芝メディカルシステムズ(株)

ノートパソコン	129,384 円 (内消費税 9,584円)	平成30年1月4日	オフィスオートメーションシステム(株)
手術台	10,260,000 円 (内消費税 760,000円)	平成30年1月22日	村中医療器(株)
角膜内皮撮影装置	2,581,200 円 (内消費税 191,200円)	平成30年2月13日	小西医療器(株)
公用車	1,002,000 円 (内消費税 70,544円)	平成30年2月19日	(同)江府自動車
エアコン	231,988 円 (内消費税 17,184円)	平成30年3月22日	(株)エディオン

委員会活動状況

日野病院委員会(ワーキング) 構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
0	管理者会議	
		幹事会
1	病院運営会議	
		人事委員会 倫理委員会
2	管理職会議	
		病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	
		電子カルテ検討委員会 医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	医療技術局運営会議	
		リハビリ運営委員会 放射線室運営委員会 検査室運営委員会 薬剤管理室運営委員会 臨床工学室運営委員会
6	病院業務検討委員会	
		病院機能検討委員会 医師負担軽減対策委員会 医療機器購入検討委員会
7	看護業務検討委員会	
		外来業務委員会 病棟運営委員会 手術室運営委員会 透析室運営委員会
8	地域連携推進委員会	
9	輸血委員会	
10	物流委員会	
		薬事審議委員会 SPD委員会 委託業者連絡委員会
11	経営企画委員会	
		保険診療委員会 クリニカルパス委員会 褥瘡・NST委員会 がん研究及び対策委員会 生活習慣病対策委員会 ドック検診委員会 栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	
		医薬品安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 医療ガス安全管理委員会 診療記録開示検討委員会
13	院内事故調査委員会	
14	院内感染対策委員会	
		ICT委員会
15	労働安全衛生委員会	
16	診療記録管理委員会	
17	サービス推進委員会	
18	接遇向上委員会	
19	教育・研修委員会	
		図書委員会 BLS委員会
20	災害対策委員会	
21	個人情報保護対策委員会	

1. 病院運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第135回	H29.4.21	6名	平成29年度各委員会及びワーキングの委員編成について 平成28年度部門別目標の評価及び平成29年度部門別目標の提出について 平成28年度年報作成に係る委員会活動報告・学会発表・業績等入力について 地域連携連絡会の開催について 看護の日イベントの実施について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 5月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・正面玄関開錠時間の変更について(7月～) ・救急救命士の救急救命活動に関する連絡会の開催について ・平成28年度決算(中締め)について ・鵜の池マラソンの開催について ・日野病院職員ソフトテニス大会の開催について
第136回	H29.5.25	5名	平成28年度病院事業等の決算状況について 平成28年度決算分析における各種統計数値の確認について 医療事故等報告書の提出について 日野病院ロゴマークの選定について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 6月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・厚生局による適時調査の実施について ・時間外勤務縮減等に向けた取り組みについて ・鵜の池マラソンの開催について ・インフルエンザ等感染対策時におけるマスクの無料配布について
第137回	H29.6.22	5名	日野病院組合議会臨時会(7/11)及び定例会(8/31)の開催について 新規採用職員の評価について 日野病院ロゴマークの決定及びパンフレットの作成について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 7月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・平成29年度夏季休暇について ・寄付採納にかかる使用用途について ・正面玄関開錠時間の変更及び夜間見回り時間の変更について ・事務局職員の時間外勤務の取り扱いについて
第138回	H28.7.22	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/31) 職員募集について(薬剤師・看護師・一般事務) 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 8月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・夕涼み会の開催について(8/4) ・ロゴマークの利用について ・MRの待合場所の徹底について ・病院機能報告(7月1日時点)について

第139回	H29.8.23	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/31) 基本理念・基本方針の見直しについて 職員説明会の開催について(9/14) 外来診察の変更について(10月～) 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 9月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・院長講演(9/27)について ・さくらホール日野の利用について ・ワーキングの編入について(看護補助者)
第140回	H29.9.22	6名	日野病院組合議会定例会の結果について(8/31) 外来診察の変更について(10月～) 日野病院組合薬剤師育成奨学金貸付条例及び施行規則等の制定について 日野病院組合人事評価の実施について 医療機器購入・研究研修費(平成29年度予算)について インフルエンザ予防接種について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 10月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・源泉所得税及び復興税に関する税務調査について(9/19・20) ・西部地区高齢者学級研修会院長講演について(9/27) ・医療監視の実施について(10/11)
第141回	H29.10.27	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(11/17予定) 平成28年度年報について 医療事故等報告書の提出について インフルエンザ予防接種実施及び職員罹患時の対応について 職員の時間外勤務について 国税局による税務調査(源泉所得税)の結果について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 11月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・日野病院立入検査(医療監視)の結果について(10/11実施) ・平成29年度病床機能報告の提出について ・救急患者の休診日の状況について ・日野病院パンフレットの完成について(配布) ・金持開運ウォーキングの開催について(11/11) ・二部診療所開所10周年記念事業の開催について(11/15)
第142回	H29.11.22	6名	平成30年度当初予算要求について 人事評価による勤勉手当の加算(減額)について 日野病院職員表彰の推薦について 日野病院組合議会定例会(11/17開催)の結果について 職員募集について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 12月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・インフルエンザワクチン不足の対応について ・日野病院職員互助会忘年会の開催について(12/16) ・日野病院クリスマスイベントの開催について(12/22) ・景山管理者の退任について ・管理者室の改修について ・電子カルテの使用について

第143回	H29.12.22	6名	奨学生の募集について(薬剤師・看護師) 日野病院職員表彰の推薦について 地方交付税(負担金)の確定について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)の開催について 医療事故等報告書の提出について(報告) 患者さまの声について その他 ・平成30年1月以降の診療体制について ・給与改定(人事院勧告)の実施について ・江尾診療所口腔外科の対応について ・「源泉徴収票の見方」職員研修会の開催について(1/19)
第144回	H30.1.26	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(2/14予定) 平成29年度決算見込み及び平成30年度当初予算の状況について 平成30年度医療機器の購入予定について(当初及び補正対応) 平成30年度医師異動について(自治医科大学医師等) 医師及び外来診察の変更について(4月～) 病院機能評価の受審について(3/14・15) 日野病院職員表彰について 2月1日付辞令交付について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 患者さまの声について その他 ・鳥取県病院協会西部支部事務長会主催による診療報酬改定研修会の開催について(3/27) ・ドクターヘリ搬送患者に係る受け入れ体制について ・売店日曜日休止に伴う対応について ・当直委託業者への依頼業務について
第145回	H30.2.23	6名	日野病院組合議会定例会の結果について(2/14) 日野病院職員表彰について 外来担当医師及び外来診察体制の変更について(4月～) 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 3月1日付辞令交付及び4月1日付人事異動について 患者さまの声について その他 ・景山管理者離任式及び送別会について ・埴田新管理者の着任式について(2/26) ・中海放送日野町自主番組の日野病院の取り組みについて
第146回	H30.3.23	6名	3月31日(退職)及び4月1日付け辞令交付について 新入職員オリエンテーションの実施について(4/2) 外来診察及び医師の変更について(4月～) 平成30年度委員会委員及びワーキングの編成について 平成29年度部門目標の評価及び平成30年度部門目標の提出について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 日野町コミュニティチャンネルについて 患者さまの声について その他 ・日野病院職員互助会歓迎会(兼職員表彰)の開催について(4/12) ・売店の日曜日休止に伴う対応について ・平成30年度「おでかけ図書館」の日程について ・病院機能評価受審(3/14・15)の結果について ・事務局長引継について(3/28) ・外来当直看護師に提供している食事単価について

(1) 倫理委員会
開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
	H29.6.2		(2017-承認 外来患者さまアンケート
	H29.6.20		(2017-承認 当院におけるリハビリテーションによる介護予防事業の取り組み
第1回	H29.8.23	6名	倫理審査申請書の提出基準について (2017-承認 高齢者における多剤併用(ポリファーマシー)と残薬に関する研究
	H29.7.26		(2017-承認 夕涼み会・クリスマス会満足度アンケート
	H29.8.23		(2017-承認 手術室患者満足度調査
第2回	H29.9.22	6名	(2017-承認 訪問診療患者の予後因子 (2017-承認 外来手術を受ける患者の術前準備の課題に対する取り組み
	H29.10.16		(2017-承認 病院職員に対するインフルエンザ予防対策の有効性
第3回	H29.12.22	6名	(2017-承認 訪問看護サービスに関する利用者満足度調査 (2017-承認 在宅医療における携帯超音波の利用法の検討
第4回	H30.2.23	6名	(2017-承認 肝血管腫の血液凝固検査へ与える影響についての研究 (2017-承認 高齢者胃食道逆流性に対するプロトンポンプインヒビターの治療効果の検討 (2017-承認 退院後の生活状況から見た退院前訪問指導の現状と問題点について (2017-承認 訪問リハビリサービスに関する利用者満足度調査

2. 管理職会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.4.26	14名	(1) 3月末経営概況及び各種統計について (2) 3月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 5月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成28年度年報作成に係る委員会活動報告及び業績の入力について (7) 平成29年度各委員会及びワーキングの編成について (8) 平成28年度部門別目標の評価及び平成29年度部門別目標の提出について (9) 平成28年度決算見込みについて (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) 正面玄関開錠時間の変更について (15) 救急救命士の救急救命活動に関する連絡会の開催について (16) 看護の日イベントについて (17) せせらぎカップソフトテニス大会の開催について
第2回	H29.5.31	12名	(1) 4月末経営概況及び各種統計について (2) 4月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 6月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成28年度病院事業等の決算見込みについて (7) 平成28年度各種統計数値の確認について (8) 日野病院ロゴマークについて (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの作成・変更について (12) 患者さまの声について (13) 厚生局による適時調査について (14) 時間外勤務縮減等に向けた取り組みについて
第3回	H29.6.28	12名	(1) 5月末経営概況及び各種統計について (2) 5月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 7月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会臨時会(7/11)及び定例会(8/31)の開催について (7) 新規採用職員の評価について (8) 日野病院ロゴマークの決定及びパンフレットの作成について (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの作成・変更について (12) 患者さまの声について (13) 平成29年度正職員の夏季休暇について (14) 正面玄関の開錠時間及び夜間見回り時間の変更について
第4回	H29.7.26	10名	(1) 6月末経営概況及び各種統計について (2) 6月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 8月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 職員募集及び採用試験の実施について (7) 日野病院組合議会定例会の開催について (8) 業務改善提案書について (9) 施設基準の変更について

			(10) マニュアルの作成・変更について (11) 患者さまの声について (12) 日野病院夕涼み会の開催について (13) MRIの件数について
第5回	H29.8.30	12名	(1) 7月末経営概況及び各種統計について (2) 7月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 9月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院基本理念・基本方針等の見直しについて (7) 職員説明会の開催について (8) 外来診察の変更について (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの作成・変更について (12) 患者さまの声について (13) 院長講演「西部地区高齢者学級交流研修会」について (14) さくらホール日野の利用について (15) 医療監視の実施について (16) T-HOC 研修会(9月8日)の開催について
第6回	H29.9.27	11名	(1) 8月末経営概況及び各種統計について (2) 8月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 10月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会(8/31)の結果について (7) 外来診察の変更について (8) 日野病院組合人事評価の実施について (9) インフルエンザの実施について (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) 医療監視の実施について
第7回	H29.10.31	13名	(1) 9月末経営概況及び各種統計について (2) 9月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 11月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会(11/17)の開催について (7) 病床機能報告の提出について (8) 医療事故報告書の提出について (9) インフルエンザ予防接種実施及び職員罹患時の対応について (10) 職員の時間外勤務について (11) 業務改善提案書について (12) 施設基準の変更について (13) マニュアルの作成・変更について (14) 患者さまの声について (15) 日野病院立入検査(医療監視)の結果について (16) 金持開運ウオーキングについて (17) 二部診療所10周年イベントの実施について (18) ロゴマーク看板設置工事の完成 (19) 外来診療の変更について
第8回	H29.11.29	12名	(1) 10月末経営概況及び各種統計について (2) 10月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 12月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成30年度予算要求について (7) 日野病院組合議会定例会(11/17)の結果について

			(8) 業務改善提案書について (9) 施設基準の変更について (10) マニュアルの作成・変更について (11) 患者さまの声について (12) 日野病院職員互助会忘年会の開催について (13) 日野病院クリスマスイベントの開催について (14) 職員の時間外勤務について
第9回	H29.12.27	12名	(1) 11月末経営概況及び各種統計について (2) 11月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 1月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 仕事納め式・仕事始め式について (7) 看護師・薬剤師育成奨学金の募集について (8) 病院機能評価受審日の決定について (9) 外来診察の変更について (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) あやめの施設長の交代について (15) 日野病院クリスマスイベントについて
第10回	H30.1.31	14名	(1) 12月末経営概況及び各種統計について (2) 12月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 2月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会の開催(2/14予定)について (7) 平成29年度決算見込み及び平成30年度当初予算の状況について (8) 病院機能評価受審日について (9) 平成30年度医療機器の購入について (10) 医師及び外来診察の変更について (11) 業務改善提案書について (12) 施設基準の変更について (13) マニュアルの作成・変更について (14) 患者さまの声について (15) 診療報酬改定研修会の開催について (16) 売店業務時間について (17) 警備委託業者へ頼める作業等について (18) 鳥取県ドクターヘリ運行前訓練の実施について
第11回	H30.2.28	13名	(1) 1月末経営概況及び各種統計について (2) 1月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会の結果について (7) 平成30年度事業計画等について (8) 医師及び外来診察の変更について(4月～) (9) 平成29年度職員表彰について (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) ドクターヘリ訓練の実施について(3/22) (15) 病棟面会制限の解除について
第12回	H30.3.28	15名	(1) 2月末経営概況及び各種統計について (2) 2月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 4月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について

			(6) 新規採用職員オリエンテーションの実施について (7) 医師及び外来診察の変更について(4月～) (8) 平成29年度職員表彰について (9) 平成29年度部門別目標及び平成30年度部門別目標の提出について (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) 日野病院互助会歓迎会の開催について (15) 売店の日曜日対応について (16) 透析患者の昼食及びに看護師の日当直時の食事について (17) 診療報酬改定に伴う提案等について (18) 鳥取大学附属病院、清水病院長退官式典参加の報告について
--	--	--	--

(1) 病院機能評価受審委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.18	15名	(1) 前回議事録の確認について (2) 自己評価調査票の説明について
第2回	H29.6.15	13名	(1) 前回議事録の確認について (2) 自己評価調査票の説明について
第3回	H29.7.20	12名	(1) 前回議事録の確認について (2) 自己評価調査票の説明について
第4回	H29.8.17	14名	(1) 前回議事録の確認について (2) 自己評価調査票の説明について
第5回	H29.9.21	14名	(1) 前回議事録の確認について (2) 自己評価調査票の説明について
第6回	H29.10.19	14名	(1) 前回議事録の確認について (2) 自己評価調査票の説明について
第7回	H29.11.16	15名	(1) 機能評価機構提出用エクセルシートへの入力について (2) 自己評価調査票の説明について
第8回	H29.12.21	14名	(1) 審査日決定について (2) 事前提出資料について (3) 当日の進行表について (4) 自己評価調査票の説明について
第9回	H30.1.18	12名	(1) 提出資料最終確認について (2) 受審日当日のスケジュール役割分担について
第10回	H30.2.15	13名	(1) 受審日当日のスケジュール及び役割分担について (2) 当日準備する書類等について
第11回	H30.3.13	15名	(1) 事前確認について (2) 会場準備
第12回	H30.4.18	13名	(1) 課題等について (2) 打ち上げ会について

活動報告

・病院機能評価受審(平成30年3月14日・15日)

3. 情報システム管理委員会

(1) 電子カルテ検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者	内容
第1回	H29.5.11	12名	・クライアント端末配置変更について ・電子カルテ更新について ・Q&A管理台帳
第2回	H29.8.11	13名	・サーバメンテナンスについて ・高島病院「電子カルテ見学」について ・電子カルテ更新について ・デモについて ・その他 ・Q&A管理台帳
第3回	H29.12.14	13名	・サーバメンテナンスについて ・高島病院「電子カルテ見学」について ・電子カルテ更新について ・デモアンケート集計報告および次回デモメーカー選定ならびに各社見積り報告について
第4回	H30.2.8	15名	・サーバメンテナンスについて ・第2回各社デモについて ・向こう10年の試算について ・電子カルテ必要端末精査について
第5回	H30.3.8	11名	・調達範囲の確認等 ・電子カルテ要望端末数確認 ・情報系ネットワーク更新について ・その他
第6回	H30.3.29	16名	・前回より ・仕様書について ・今後の日程について ・評価者および評価について
第7回	H30.4.12	13名	・仕様書確定前聞き取りについて ・2次審査その他の提案事項について ・今後の日程について ・電子カルテ2次審査委員選出について ・スポットチェックモニタデモについて ・介護システム仕様書聞き取りについて ・サーバ再起動について ・その他

4. 診療局会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H.29.5.16	8名	①平均在院日数について ②診療報酬の査定について ③ジェネリックへの変更について ④6月からの研修医について
第2回	H29.6.13	8名	①救急隊からの提案について ②院内での内科紹介について
第3回	H29.7.11	8名	①輸血委員会からのお知らせについて ②江尾診療所・歯科からの要望について ③平均在院日数について
第4回	H29.8.8	8名	①平均在院日数について ②交付消防署との症例検討会について ③スタットコール時の対応について
第5回	H29.9.12	8名	①平均在院日数について ②発熱外来(待合棟)について ③レントゲンのプレゼンについて
第6回	H29.10.10	9名	①平均在院日数について ②インフルエンザ予防接種について ③ロゴマーク決定について ④新採用の薬について ⑤土曜日の小児の予防接種について
第7回	H29.12.12	8名	①平均在院日数について ②新採用の薬について ③中本医師の退職について
第8回	H30.1.9	9名	①次期電子カルテのデモについて ②平均在院日数について ③あやめ施設長について ④厚労省からの通知について ⑤4月からの医師人事について
第9回	H30.2.13	7名	①平均在院日数について ②在宅の看取りについて
第10回	H30.3.13	10名	①電子カルテ端末の数について ②平均在院日数について ③4月からの外来診察一覧表 ④火曜日の抄読会について ⑤栄養管理室より ⑥4月からの医局の配置 ⑦4月からの研修医について
第11回	H30.4.10	11名	①平均在院日数について ②地域連携連絡会について ③診療報酬改定について ④B型肝炎活性化の可能性のある薬剤の処方について ⑤4月の薬事審議会について ⑥口頭指示受け後の流れについて

5. 医療技術局運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.4.27	6名	H29.3期の経営状況等の説明 委員会構成表の説明 H28.委員会目標結果およびH29.委員会目標の提出説明
第2回	H29.6.1	5名	H29.4期の経営状況等の説明 病院ロゴマーク結果説明等
第3回	H29.6.29	6名	H29.5期の経営状況等の説明 人事異動の説明など
第4回	H29.7.27	6名	H29.6期の経営状況等の説明 ロゴマーク入りシャツなどの説明
第5回	H29.8.31	6名	H29.7期の経営状況等の説明 人事異動および基本方針変更の説明など
第6回	H29.9.28	6名	H29.8期の経営状況等の説明 インフルエンザ予防接種 医療監視について
第7回	H29.11.1	5名	H29.9期の経営状況等の説明 二部診療所10周年記念イベントなど
第8回	H29.11.30	6名	H29.10期の経営状況等の説明 人事異動およびH30当初予算要求について
第9回	H29.12.28	6名	H29.11期の経営状況等の説明 仕事始め式および機能評価についてなど
第10回	H30.2.1	6名	H29.12期の経営状況等の説明 日野病院組合職員の給与および退職手当に関する条例の一部改正など
第11回	H30.3.1	6名	H30.1期の経営状況等の説明 中長期計画および平成30年度当初予算の考え方
第12回	H30.3.29	5名	H30.2期の経営状況等の説明 平成29年度部門別目標評価及び平成30年度部門別目標の提出

活動報告

この会議を通じて、各部署に病院の経営状況や方針などを理解・確認いただけたと考える。

(1) リハビリ運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.17	8名	委員会要綱について 病棟・リハの連携について
第2回	H29.8.16	7名	委員会要綱改定について 産休職員の確認
第3回	H29.11.22	7名	リハビリ室の運営について 来年度予算について
第4回	H30.2.21	7名	診療報酬改定について

活動報告

リハビリ室運営の円滑化、病棟との連携強化を図ることが出来た。

(2) 放射線室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.3.16	3名	放射線室の体制課題、検討

(3)検査室運営委員会
開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.6.23	8名	・平成28年度検査件数および収支報告 ・部門目標(平成28年度:反省、平成29年度:目標設定) ・メーカーサーベイ(ニットホームメディカル H29.2 実施)結果報告 ・平成29年5月実施 厚生局適時調査報告
第2回	H29.8.25	7名	・メーカーサーベイ(wako H29.5 実施)結果報告 ・生理検査に誘導する際の確認事項 ・休日および救急時の心電図検査実施後の注意事項
第3回	H29.11.17	8名	・平成29年10月実施 医療監視報告 ・外注結果報告書の返却について ・採血情報および患者情報提供の協力依頼
第4回	H30.3.2	8名	・日本医師会臨床検査精度管理調査(H29.9 実施)結果報告 ・平成30年4月 診療報酬改訂(案)について ・平成30年3月受審 機能評価 ・血液培養ボトルの取り扱いに関する注意事項 ・休日および救急時のインフルエンザ検査実施について

6. 病院業務検討委員会

(1) 医療機器購入検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.1.24	13名	平成30年度購入予定機器等の選定について

7. 看護業務検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H29.4.11	12名	・平成29年度看護局運営方針:スローガン 価値ある「あなたの力」を引き出す支援ができる存在になろう ・各委員会活動について 平成29年度 目標管理について(資料参照) - 各委員会からの報告 ・教育・研修委員会:3/11・3/18就職ガイダンス参加報告 ・看護記録委員 ・リンクナース会 ・セイフティナース会 ・「看護の日」イベント5/12 10時～15時「外来棟」「広めよう支えよう見守りの輪」 ・病院業務委員会報告 ・今年度学会参加者決定 ・6/21西部自治体病院懇談会:日野病院担当
第2回	H29.5.23	12名	・看護の日実施報告 ・オータムセミナー協力依頼 ・5/19 T-HOC開校式(2名) II 在宅医療・看護体験コースに研修 ・5/31 鳥取看護大学 第1回 教育会議参加 基盤看護学2W:9/4～9/15(6名)2・3F3名ずつで実習 老年看護学実習1W:9/19～9/22(4名)10/2～10/6(5名) 10/10～10/13(4名)2F * 西部地区調整会議 6/9 PM 5名参加(於:米子コンベンション) ・6/5 鳥取県実践が活きる看護診断研究会理事会 ・6/20～6/22 日野中学2年生 職場体験学習 3名予定 ・7/10～7/28 米子北高看護専攻科1年生 8名・・・老年看護 4名ずつ2・3F ・10/16～11/2 " 8名・・・成人看護 " ・看護必要度研修会 6/18 4名参加 ・看護研究指導者サポートプログラム参加:2名 ・施設基準対応認知症研修会:7/7～7/8 4名参加 ・災害支援ナース研修7/19～20 10/5 1名 ・看護診断学会2題発表 ・セカンドレベル研修参加 1名 ・各委員会からの平成29年度活動計画発表 ・協議事項(白衣検討委員会より) * アンダーシャツは着用OK(華美にならない配色で) 黒・紺・紫・えんじなど無地が望ましい
第3回	H29.6.13	10名	・5/26 厚生局の適時調査指摘事項(看護補助者の組織図、看護補助者の業務内容の変更、認知症マニュアルの薬剤・身体拘束などの研修し配布、下肢末梢動脈疾患指導管理加算の記録、看護計画を実施した記録を残す) ・5/31鳥取看護大学基盤看護学2W:9/4～9/15(6名)2・3F3名ずつで実習 教員1名来院 7/7 9時～3Fオリエンテーション先生へ8/22 13時～13名の学生オリ1時間病院プレゼン 2h 老年看護学実習1W:9/19～9/22(4名)10/2～10/6(5名) 10/10～10/13(4名)2F * 実習前の週月曜日に受け持ち患者をリストアップして伝える(TELで情報を連絡) * 臨地実習委員会を別に立ち上げて実習による連絡や打ち合せ情報共有する。 6月28日16時～ ・看護診断研究会理事会:開催(10/28) 次回準備員会2名参加 7/12 13:30厚生病院 ・施設基準対応認知症研修会:7/7～7/8 4名参加 ・災害支援ナース研修7/19～20 10/5 2名受講 ・看護診断学会7/15・16 in京都2名参加 ・セカンドレベル研修1名 ・10/19～20自治体病院学会(千葉幕張) 2名参加 ・会計報告 ・外出許可書について(付添許可札) ・6/21(水)第49回西部自治体病院懇談会:日野病院(計25名参加) ・各委員会(教育研修・リンクナース・セイフティナース・補助者会)

			・業務委員会からの報告(訪問看護・地域連携推進室・看護宅配便) ・CSセットについて
第4回	H29.7.11	11名	・看護協会災害支援依頼(九州北部地方大雨) ・THOC(訪問看護実習)7/11・12 7/19・20 8/22 9/20 10/5・6 11/14・15 ・オータムセミナー(医大生・看護大学生の地域研修)10/17～19 ・中学生体験実習 9/20～22 ・メジカルフレンド「看護展望」に投稿(看護研究)できた ・鳥取県実践が活きる看護診断研究会開催(10/28) ・あやめからの意見 ・付き添い許可札(時間外装着)6/22 病院運営会議で決定作成 ・警備員の巡回20:30に夜間入口閉鎖後 7月～開始 ・CSセット株エラン(水野商事) 入院セット →医事課は患者家族に説明・納得されれば導入可能。コストを検討 ・江尾診療所歯科受診のFAX情報について 院長相談 ・薬物毒薬マニュアル対応マニュアルH28年度版外来ファイルに(当直者周知) ・看護必要度の入力の落ちあり、監査できる看護師リーダー日々確認 eランニング1名合格・3名補足研修中 ・各委員会からの報告 ・病院業務委員会からの報告(透析室:フットケア評価表を電カルに追加)
第5回	H29.8.8	11名	・災害支援依頼:看護協会から派遣要請なし ・鳥取看護大学 *実習担当者会議 8/3開催(別紙) ・THOC(訪問看護実習) 8/22 9/20 10/5・6 11/14・15 ・オータムセミナー(医大生・看護大学生の地域実習10名)10/17～19 ・中学生体験実習(荒川兄妹2名) 9/20～22 実習計画書あり ・9月から外来主任:訪問看護師人員0.5人に 当直OP室スタッフ1名 休日当直病棟師長も入る ・看護師補充:2F・3F病棟:8月終わり～9月からの数回/Wの勤務 ・看護助手:歯科衛生士に9月～岡歯科 当院2日/W日勤(月・金) 1名嘱託2 8月21日～2F配置 日勤業務のみ ・介護専門職研修(鳥取県主催):3名参加(9/2)(10/19・10/25)(9/2 9/6 9/21) ・THOC 日野セミナー:9/8(金) 参加希望募る ・当直者食事の件(食堂の冷房23時迄に延長) 術後患者の延食(栄養管理委員会:詰所休憩室にて冷房保管) ・江尾歯科受診のFAX情報の件(主症状→主訴に変更) ・電カル委員会8/10各部署からバージョンアップ電カルの意見をまとめて出す ・離床センサーのデモ3Fで2台使用中(9月評価) ・院内倫理委員会:アンケート調査も院内の倫理委員会へ。規定が必要 ・電子カルテの見学 8/29(火) 14:30～16時 高島病院より10名 ・各病院業務委員会からの報告 ・OP室:ハーモニックジェネレーター/カルペル導入 アンケート調査を実施予定→計画書を倫理委員会へ ・透析:電カルでフットケアの評価(VAT下肢末梢動脈疾患指導管理加算100点/月) →書き方手引書の作製をする
第6回	H29.9.12	12名	- 医療安全責任者の後継者決定 ・当直者食事の件(食堂の冷房23時迄を9月いっぱい依頼) ・離床センサーのデモ3Fで使用(9月2W目に評価し返却)*使い勝手良い ・西部自治体病院看護部懇談会9月20日(水)日南病院14時～ 議題:日野病院:老健施設からの入院時(施設職員待ち時間短縮について) 院内倫理委員会の規定・要綱について 西伯病院:感染対策加算2の感染ラウンド方法について →意見交換し、あやめ入院時の聞き取りの決め事再調整 ・医療機器やバイパップ・呼吸器の管理 (光学技士と相談:医療機器管理料を取っている) 院内連絡ファイルで利用状況を何処でも把握出来るようにする 病棟が入力しデモ機を使用していることも把握できるように →デモ機を借りる流れを再確認必要 ・各委員会からの報告 ・病院業務委員会からの報告

第7回	H29.10.10	12名	・教育・研修委員会:9/25フィジカルアセスメント公開講座(19名):鳥大集中ケア認定看護師 広域消防も参加 10/24ヨガでリフレッシュ 講師:江見さん(男) - 機能評価に向け看護手順のマニュアル見直し⇒ 期限:11月末日 10/17 院内看護研究発表会 抄録締切2W前 2題西部自治体病院研究発表に決定 - 新人反省会:各部署プリセプター・師長でチェックリストも →結果(指導者が5つのフォーマットで概念化し助言する) - 新人看護職員担当者研修:山川千・森川・柳瀬・金田 ・看護記録委員会:質的評価結果病棟に返す - 透析:データベースの追加情報が見直されていない - 看護サマリー:延命などの必須項目は師長がチェック洩れないように 11/25 看護診断研究会・1題参加(外来・示説) ・1看護診断について病院毎シンポジストに参加形式 - 看護必要度研修後のテスト結果個人に返却 ・リンクナース会:インфекションコントロールセミナー10/21(松江) 10月2W目 ・セイフティナース会:口頭指示オーダーは原則禁止→薬剤師に確認マニュアルの再検討 ・白衣検討委員会:2回/Wの洗濯 ・看護補助者会:外来クラークの病棟手伝い:水木金(13時~14時) ⇒(10/11 ~開始) - 経管栄養物品の洗浄 清拭・洗面タオルの作製 スキャナー取り込みetc * 病院業務 ・手術:8月~9月職務満足度調査結果集計中 ハーモニック・ヘッドランプ購入 ・透析:現在15名の患者 ・外来:待ち時間調査結果 外来受診ファイルが10月~ロゴ入りに変更 11/18インフルエンザ予防接種:成人9時~12時 小児14時~17時 12/16 // 14時 (Ns2人・クラーク1名で対応) ・看護宅配便:10/19 日野町:瀬田 山川千 11月は二部診療所10周年の活動(11/15)・12月俣野カフェ * 褥瘡回診10/11(水)・10/18・10/25・11/1 毎水に変更 * 各病棟の中間評価の報告:×切10月末 * 時間外を少しでも減らすよう委員会を17時~(10/10 ~)行い短時間で終わる工夫を
第8回	H29.11.14	10名	・THOC(訪問看護実習)11/14・15 (訪問診察同行実習)10/27 医療センターから1名 ・オータムセミナー地の拠点(医大生・看護大学生の地域実習10名)10/17 ~19 ・看護管理学会(札幌)10/12~13 2名 ・自治体病院学会(千葉幕張)10/19~20 2名 ・介護専門職研修(鳥取県主催):2名参加 * 新人院内研修会の日程看護局教育研修委員会で検討中 ・平成29年9月27日「高齢者学級交流研修会」に看護宅配便参加 ・キャラバンメイト養成研修参加(10/5)済:3名 ・立ち入り検査(保健所)10/11 13:30 ~7名来院(スケジュール表有) ・二部診療所10周年11/15 14時~カフェ・計測・相談(宅配便メンバーで) ・離床センサーのデモ3Fで使用(10月18日返却) * 使い勝手良い * 褥瘡回診10/11(水)・10/18・10/25・11/1 毎水に変更 * 各病棟の中間評価の報告:×切10月末 * 時間外を少しでも減らすよう委員会を17時~(10/10 ~)行い短時間で終わる工夫を ・各委員会からの報告 ・病院業務委員会からの報告

第9回	H29.12.12	12名	・実習病院打ち合わせ ①鳥取看護大学: 来年8/20～: 看護学統合3名: 調整会議3月頃 基盤8名 老年8名 ②北高専攻科: 12/14 14時 ・江尾診療所口腔外科医師との話し合い結果(別紙): Fax後の返事、診察にNs付添う、 ・医療機器やバイパップ・呼吸器の管理(臨床光学技士と相談: 医療機器管理料を取得 院内連絡ファイルで利用状況を何処でも把握出来るようにする (病棟が入力しデモ機を使用していることも把握できるように)⇒3Fで作成中 ・配置換え ・看護手順のマニュアル見直し11月迄(2F済) ・新人看護師研修指導者教育担当者研修: 2名参加 ・看護助手新人院内研修会の日程(未定)*クラークの車椅子移乗・移送も追加 ・電カルのパソコン教室(Ward, Exell 土日に3時間×3回コースなどで計画: 講師朝野主任) ・機能評価のプレゼンテーションのデモ1月～毎週開始(1月～毎週火曜日 17時) ・倫理的課題についてカンファレンスや分析を日頃からアンテナを高くて分析を!! ・来年度看護協会役員: 職能予備代議員: 1名 推薦委員: 1名 ・人事評価の今年度優秀者はボーナスに加算分として反映してある ・看護学校就職説明会参加: 鳥取看護大学: 2/22 3名参加 新見公立大学: 3/2 3名参加 ・各委員会からの報告 ・病院業務委員会からの報告
第10回	H30.1.16	12名	・鳥取県看護協会就職ガイダンス(ブース2個): 3/18 5名参加 ・2/15 〆切 ファーストレベル: 2名申請 ・西部自治体病院看護師懇談会 1/24(水)西伯病院は中止→次回日野病院(6/27)14:00～ ・鳥取県看護協会看護研究発表会演題〆切2/19 検討中 ・黒坂警察・江府消防・日野病院との災害机上訓練: 2/23(金)13:30～黒坂警察署にて 参加者: 3名 ・鳥取県ドクターヘリ運行前訓練2/13延期 ・機能評価3月14・15日程 3) 各委員会からの報告 * 看護局 ・教育研修委員会: 4月に研修会履修報告会 2/18(高橋, 瀬藤, 石飛)中四国褥創学会へ参加: 他(妹尾, 野坂) - 管理者研修: コーチング2/17(土) 9:00～12:00講師: 日立メタルプレジジョン佐伯由香さん * 各病院業務委員会からの報告 4) その他 ・箸スプーン(大中小)お茶入りコップを、栄養課管理室管轄に依頼 ・院内申し合わせマニュアルの見直し ・各部署別の目標管理(BSC)評価は4月に発表実施 ・返納ユニホームの不足多い: 貸し借りあり揃わない。再確認を。 ・主治医不在時の在宅看取りのDrコールは当直勤務医輪番制を活用するが、各Drの承諾は 不確定→再度診療録会議で(主治医いる場合の在宅看取りに関しては、外来マニュアル別紙、 当直者は周知をする。) ・ご遺体引き取り違いに関する、葬祭センターとの取り決め、病棟より家族への指導
第11回	H30.2.13	12名	平成30年度実習受け入れ予定日程 ①鳥取看護大学: 平成30.8/20～: 看護学統合4年生3名: 基盤看護2年生8名×2回: 老年8名 ②北高専攻科: 30年度(専攻科1年: 老年(10/15～3W)成人(11/26～3W)2F・3F各2名 3月～勤務異動3F →訪問看護ステーションへ ・機能評価3月14・15日程 各部署・委員会マニュアル見直し - 各委員会からの報告・教育研修委員会: 透析・訪問・OPの新人研修2月4月に研修会履修報告会 2/18中四国褥創学会へ参加: 5名 - 管理者研修: コーチング2/17(土) 師長主任参加 * 認知症診断チームの選定と、せん妄への対応マニュアルを考える - 主治医不在時の在宅看取りのDrコールは当直勤務医輪番制を活用 ・ご遺体引き取り違いに関する、葬祭センターとの取り決め、病棟より家族への指導 ・各部署別の目標管理(BSC)評価は4月に発表実施 ・箸スプーン(大中小)お茶入りコップを、栄養課管理室管轄に依頼

第12回	H30.3.13	12名	・平成29年度成果報告会は4月に実施 ・箸スプーン(大中小)お茶入りコップを、栄養課管理室管轄に依頼追加でお茶を飲めるようにお茶の器械を入れてほしい ・院内申し合わせマニュアルの見直し:済 ・各部署別の目標管理(BSC)評価は4月に発表実施 ・主治医不在時の在宅看取りのDrコールは訪問診療の内科医で平日・休日・日勤は院長 休日は留守医担当 2月13日診療局会議で決定 ・ご遺体引き取り違いに関する、葬祭センターとの取り決め、病棟より家族への指導などマニュアルを整備し、葬儀業者と擦り合わせる。 マニュアル:死亡確認・退院時・診断書・家族は最後までいてもらう・入院費の支払い方法・振り込みなどをマニュアルにし、死期が近くなったら渡す。 ・ファーストレベル・セカンドレベル・臨地実習指導者養成研修などは今迄のように手上げではなく師長会で院内選考を行い選別する。 ・フットケア物品:使用後爪切り、やすり、ゾンデなどアルコール綿清拭で可。 ・各委員会からの報告 ・病院業務委員会からの報告
------	----------	-----	--

活動報告

- ・平成29年度看護局スローガン「価値ある「あなたの力」を引き出す支援ができる存在になろう」
- ・「看護の日」イベントについて
 - 5/12 10時～16時 於:日野病院外来棟 認知症キャラバンメイトの講演会・オレンジカフェ
- ・看護協会 看護フェア:5月14日(日)(米子しんまち天満屋)協力1名
- ・6月21日(水)西部自治体病院懇談会:(6月・9月・1月)6月当番病院 研究発表2題口演発表
- ・鳥大研修会参加(脳卒中看護2名・経営戦略計画発表2名参加)
- ・自治体病院協議会 東京(看護管理者研修1名)
- ・看護管理研修 札幌2名参加 ・中四国褥瘡学会 四国5名参加
- ・鳥取看護大学実習7名(9/19～9/22)(10/2～10/6)(10/10～10/13)
- ・米子北実習4名
- ・T-HOC養成講習会2名参加 IIコース(2名参加)日野セミナー講師
- ・全国自治体病院学会in 千葉:幕張メッセ10/19・20 2名発表参加
- ・セカンドレベル研修:(1名合格)
- ・重症度、医療、看護必要度評価者研修3名:e-ラーニング合格
- ・看護協会認知症研修会4名修了後院内研修を実施
- ・肝炎医療従事者研修1名
- ・看護研究指導者研修5回コース2名
- ・災害支援ナース研修(2名に加え1名研修登録・派遣は2名(うち1名は県内のみ))
- ・日野高校[産業社会と人間]の講師派遣:卒業生1名 [介護職員初任者研修]の講師派遣1名
- ・管理者研修:コーチング2/17(土)師長主任11名参加
- ・メジカルフレンド「看護展望」に看護研究「病院と介護施設における看護要約に必要な情報に関する比較」投稿
- ・中学生体験実習5名
- ・THOC(訪問看護実習)7/11・12 7/19・20 8/22 9/20 10/5・6 11/14・15
- ・オータムセミナー(医大生・看護大学生の12名地域研修)10/17～19
- ・鳥取県実践が活きる看護診断研究会開催(10/28) 示説発表1題・シンポジスト1名
- ・就職ガイダンス参加(2/22鳥取看護大学・3/2新見公立大学・米子)
- ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修2名参加
- ・平成29年度看護局履修報告会(2/21)
- ・平成29年度看護局成果報告会(4/10)

(1)看護助手会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	
第1回	H29.5.8	12名	・前年度の課題(サンクリーン業者委託の件・看護助手ラダーの作成⇒経験者のクラーク業務の手順書作成⇒今回からの業務変更有:手順書作成 ・今年度の活動目標 ・6月1日～看護助手の補充について ・看護補助者クリニカルラダーについて ・意見箱の意見としてリネンの件を業者(水野商事)と確認:硬い枕・重い布団について ・リネン棚卸(6月・2月:2回/年) ・看護局の研修会や勉強会をクラーク・看護助手で計画などどうか提案 1)外来クラークより:入院時病棟看護師に伝達するためのチェックリストがあると申し送り伝えやすい。⇒病棟看護師にチェック項目の洗い出しの依頼をする 2)包布と枕カバーの補充を依頼(3月)したが実際の確認
第2回	H29.10.2	9名	・看護助手配置・移動 ・リネンについて枕:7月11日大きなサイズのカバー116枚届き交換済み→枕カバーの補充依頼 - 病衣:2Lの補充 8月23日に追加20着依頼 - 大布団:使用について10月1日～使用 包布の不足の可能性あり ・クラーク制服について来年度の予算で見積もり中 ・研修会について:看護助手の鳥取県社協の介護研修の復命書を記入すること ・クラーク:入院時病棟看護師に伝達するチェックリストがあると申し送りが伝えやすい →病棟:解る範囲のみの伝達で良い - 外来クラークへのお願い * 午後:病棟の洗い物・洗面清拭タオル作成・休憩室の掃除・ゴミ集め・輸液ポンプの掃除・コップ磨き・検体提出・点滴を取りに行くなどメッセンジャー業務・入院時のネームづくりなどできないか?⇒10/6 検討報告有:PEG洗い物・洗面清拭タオル作成は可能(インフル予防接種開始時期は不可能) ・看護助手ラダーの様式について見て意見交換 ・看護補助者会中間評価10月末 ・クラーク業務のマニュアルの見直し
第3回	H30.2.5	9名	・リネンについて 棚卸日決める - 包布不足:11月数えて180枚不足→1月に100枚補充 - 枕カバー不足:12月100枚不足→60枚補充 ・ユニホームの貸し借りで退職された方のユニホームを使っている人がいれば返却を ・クラーク制服は来年度購入 ・研修会について:看護助手の鳥取県社協の介護研修の復命書を記入すること ・10月後半外来クラーク病棟手伝いの結果午後:PEG洗い物・洗面清拭タオル作成は→2月6日より手伝い再開(インフルエンザ予防接種患者受付対応がなくなった為) ・看護助手ラダーについてたたき台を確認(別紙) ・看護補助者会の評価は4月にする ・クラーク業務のマニュアルの見直し →看護補助者用のマニュアルをファイルに整備 ・看護補助者の業務量の多さは、看護師の人数確保が無いと解消されない。確保を!! ・セコムの夜勤当直時依頼できる仕事内容:ごみの収集袋の名前記入他あれば提案

活動報告

- ・クラーク業務の手順書作成→マニュアルに入れ込む看護補助者マニュアルを整備
- ・クラークの外来診察介助業務・病棟応援体制の確立
- ・研修会(介護研修に参加3名)
- ・看護局教育研修で新任研修を組み込み教育
- ・レンタルリネンの苦情に関して、作成変更を依頼
- ・棚卸でリネン管理
- ・毎食の配茶に関する意見を収集し、時短を考える
- ・ケアワーカーのクリニカルラダーたたき台を作成

(2) 外来業務委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.23	6名	各部署現状報告 満足度調査について(アンケート内容検討) ドック・検診に関して協力依頼
第2回	H29.8.22	5名	各部署現状報告 CT・MRIの他院からの依頼、CDの返信方法について 患者様満足度調査について結果報告
第3回	H29.11.28	6名	各部署現状報告 身長・体重測定に必要な検査の再確認
第4回	H30.2.27	4名	各部署現状報告

活動報告

患者様満足度調査を施行し、正面玄関ロビーに掲示

(3) 病棟運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.7.25	7名	転科・転棟時の取り決めについて2階病棟からの提案
第2回	H29.11.2	8名	正しい看護必要度の入力について 「転科・転棟時の取り決め事項」の協議と運用について 「延食」扱いの取り決めについて

(4) 手術室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.25	4名	手術室使用状況報告、滅菌手袋変更について、学会・研修会参加報告
第2回	H29.7.20	8名	手術室使用状況報告、超音波凝固切開装置購入について、手術台故障報告、患者満足度調査・職務満足度調査について
第3回	H29.9.21	8名	手術室使用状況報告、ヘッドランプ購入について、エアーガン故障について、高圧蒸気滅菌器修理について
第4回	H29.11.16	7名	手術室使用状況報告、タニケット購入について、シリンジポンプ購入について、高圧蒸気滅菌器点検・検査報告、作業環境測定結果報告、環境クリーニング実施について
第5回	H30.2.15	7名	手術室使用状況報告、環境モニタリング結果報告、第2手術室空調不具合について、手術台購入について、手術室運営委員会規約改正について

(5) 透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.22	8名	透析室の現況・看護局の今年度目標・災害対策について・事務から・・・予定表の変更あれば早めに連絡を
第2回	H29.10.6	7名	透析室の現況・鳥大腎内科Dr派遣・おしどりネット登録について・検査用ラベル貼りを検査室に依頼・事務から・・・治療費の口座引き落としが出来る・
第3回	H30.3.9	3名	透析室の現況・看護師リリーフ・・・午後患者6名となればリリーフを。事務から・・・書類などの取次は行う

活動報告

【決定事項】

- ・鳥大Dr派遣・・・検査データーチェック、検査指示、注射指示、患者のシャントチェックなど
- ・透析患者のおしどりネット登録
- ・検査ラベル貼りを検査室に依頼
- ・看護師リリーフ・・・PM患者6名以上は12時からリリーフをお願いする
- ・事務・・・治療費の口座振替可能・書類の取次可能

8. 地域連携推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H29.5.10	5名	1. いっけんたろう(画像情報共有システム) 2. MRI・FAX予約 3. 入院時カンファレンス実施日 4. アセスメントシートの活用 5. 看護要約作成基準 6. 看護サマリーのDNARの記載
第2回	H29.6.14	8名	1. いっけんたろう(画像情報共有システム) 2. 入院時カンファレンス実施日 3. 看護要約作成基準 4. DNARの施設確認 5. 医師・看護師・地域連携推進室の退院支援に向けた連携の流れ
第3回	H29.7.12	8名	1. 入院時カンファレンス実施日 2. 入院時カンファレンスへのCM参加フロー
第4回	H29.10.19	6名	1. 入院時カンファレンスへのCM参加フロー 2. MRI・CTの案内文書
第5回	H29.11.22	3名	1. MRI・CTの案内文書 2. 退院支援の流れ 3. 症例検討 4. 透析患者の送迎 5. 特養あいごの透析患者
第6回	H29.12.20	4名	1. MRI・CTの案内文書 2. 症例検討 3. 透析通院支援 4. 特養あいごの透析勉強会 5. CMからの情報提供書の活用の課題 6. 在宅看取りの病院対応
第7回	H30.1.24	6名	1. MRI・CTの案内文書 2. 症例検討 3. 透析通院支援 4. 特養あいごの透析勉強会 5. CMからの情報提供書の活用の課題 6. 在宅看取りの病院対応 7. 地域連携推進室マニュアルの見直し
第8回	H30.2.21	6名	1. 症例検討 2. 特養あいごへの透析勉強会 3. CMからの情報提供書緒の活用の課題 4. 在宅看取りの病院対応 5. 地域連携推進室マニュアルの見直し
第9回	H30.3.9	6名	1. 退院支援・退院調整評価

活動報告

H29.5.17	「地域連携連絡会(当院主催)」(日野・江府・伯耆・日南の医療機関、福祉施設、行政の参加)
H29.10.22	「在宅医療・救急医療連携セミナー」への参加
H30.1.24	「MRI・CTの案内文書作成+ホームページへの掲載」
H30.2.3	「在宅医療・救急医療連携セミナー」への参加
H30.2.21	「地域連携推進室マニュアルの見直し」
H30.2.21	「在宅看取りの病院対応マニュアルの作成」
H30.3.6	「特養あいごへの透析勉強会」企画・開催
隔月	「日野町地域ケア会議・地域連絡会」への参加
年10回	「見える事例検討会・ケアカフェひの」への参加・ファシリテート
不定期	日野郡画像情報共有システムの構築

9. 輸血委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.6.26	6名	・平成28年度 血液製剤発注・廃棄状況報告 ・診療科別血液製剤使用状況(平成29年3月～5月)報告 ・部門目標(平成28年度:反省、平成29年度:目標設定) ・日赤輸血情報(血液製剤の使用指針の改定について)
第2回	H29.8.28	8名	・診療科別血液製剤使用状況(平成29年6月～7月)報告 ・平成29年度 鳥取県合同輸血療法委員会主催研修会(H29.7)研修報告 ・平成29年度 赤十字血液シンポジウム(H29.8)参加報告 ・日赤輸血情報(2016年 輸血による感染症および非溶血性輸血副作用報告) ・血液製剤の使用指針の改定に準拠した当院輸血マニュアルの見直しおよび改訂検討
第3回	H29.10.30	9名	・診療科別血液製剤使用状況(平成29年8月～9月)報告 ・日赤輸血情報(輸血用血液等の遡及調査に関するガイドラインの改訂) ・輸血マニュアル見直し(輸血副作用発生時の対応)
第4回	H30.1.29	7名	・診療科別血液製剤使用状況(平成29年10月～12月)報告 ・日赤輸血情報①(輸血副作用・感染症における調査方法の変更) ・日赤輸血情報②(血小板製剤による細菌感染症例) ・輸血副作用の症状項目ならびに診断項目表についての資料配布と活用検討 ・平成30年3月受審 機能評価
第5回	H30.3.5	8名	・診療科別血液製剤使用状況(平成30年1月～2月)報告 ・日赤輸血情報(輸血用血液製剤の使用時の安全確保措置の周知徹底について) ・輸血研修会(H30.2)研修報告 ・輸血開始前の主治医連絡について

10. 物流委員会

(1) SPD委員会 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H29.5.8	5名	定数変更1件(ニードルガイド) 仕様変更2件(ハーモニック、滅菌ディスポガーゼ) 金額変更1件(キルシュナー鋼線) 新規採用5件(プロヴォックスラリーチューブ、ネブライザー他) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第2回	H29.6.12	8名	定数変更5件(なめらかタオル、袖付ディスポエプロン他) 仕様変更1件(針捨てBOX) 新規採用1件(酸素流量計ボトル) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他 定数変更 3件(リハビリパンツ、廃棄ボトル、セーフティー九ランピング)
第3回	H29.7.10	5名	仕様変更1件(プラストコップ) 金額変更1件(内視鏡用穿刺針) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他 定数変更5件(腎盂バルーンカテーテル、シリンジ他)
第4回	H29.8.21	7名	仕様変更2件(滅菌オベガーゼ、透析用留置針) 新規採用1件(カテーテルプラグ) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第5回	H29.9.11	6名	定数変更1件(ディスポシリンジ) 仕様変更1件(リングペッサリー) 新規採用1件(保温ブランケット) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第6回	H29.10.16	7名	定数変更2件(ディスポシリンジ、MRI用延長チューブ) 新規採用4件(イリゲーションセット、イディアルPEGキット他) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第7回	H29.11.13	5名	定数変更2件(LSランセット、オールシリコンカテーテル) 仕様変更3件(グロージョンカテーテル、ハンドウォッシュ他) 金額変更1件(プロケアリムーバー) 新規採用2件(クランピングカニューレ、モールキャップ) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第8回	H29.12.11	9名	定数変更 1件(おむつかバー) 仕様変更2件(MRI造影剤注入ライン、航空ケア用ジェル) 金額変更1件(バードXポート) 新規採用1件(凝固入りライナー) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第9回	H30.1.15	8名	定数変更10件(腎盂バルーンカテーテル、セーフティカテーテル他) 新規採用1件(医療廃棄バック) 仕様変更1件(手術手袋) 新規材料3件(たぐりん、細型ストッパー他) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第10回	H30.2.19	6名	定数変更10件(リフレケア、ジアクロス、プラストコップ他) 仕様変更2件(ソファースープ、メディマットライト) 新規採用4件(TSBチューブ、テガダームトランスペアレントドレッシング他) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第11回	H30.3.12	6名	定数変更3件(サージカルマスク、キルシュナー鋼線) 仕様変更2件(アテント薄型パンツ、アルベスト) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他
第12回	H30.4.10	5名	定数変更5件(マイクロポア、オプサイトビジブル、アクアプライム他) 仕様変更2件(ソフライト、介護用シート) 診療材料使用状況報告、新規提案、その他検討事項他

(2)委託業者連絡委員会
開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.9	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	H29.6.13	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	H29.7.11	3名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	H29.8.10	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	H29.9.12	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	H29.10.17	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	H29.11.14	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	H29.12.12	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	H30.1.9	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第10回	H30.2.13	3名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第11回	H30.3.13	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第12回	H30.4.11	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

11. 経営企画委員会

(1) クリニカルパス委員会

委員会開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.8.1	3名	・平成29年度 年間目標 ・新規パスについて（透析導入端パス紙ベースを使用中、糖尿病パス見直し予定） ・電子カルテが変わるので、すでにパスが入っているものを希望した

(2) 褥瘡NST委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.19	8名	・褥瘡専任看護師登録 ・クッションと除湿シート不足に関する検討 ・NST活動の在り方検討 ・褥瘡依頼書の検討 5.11 回診チーム会12名 5.19 回診チーム会8名
第2回	H29.6.16	10名	・事例検討 ・クッションと除湿シートは購入 ・NST依頼数を増加する活動検討 6.7 NSTランチ7名 6.8 回診チーム会8名 6.16 NSTランチ10名 6.22 回診チーム会13名
第3回	H29.7.16	7名	・事例検討 ・7.13 院内SGA勉強会 ・スキントア、MDRPUに関する啓蒙活動 ・7.28入院基本料算定の書類提出 ・機能評価向けデータ集計 ・褥瘡発生リスト記入徹底について 7.5 NSTランチ10名 7.13 回診チーム会7名 7.21 NSTランチ7名 7.27 回診チーム会10名
第4回	H29.8.18	10名	・事例検討 ・加藤医師回診参加困難によりカルテ回診を行う ・委員会開催日変更 8.2 NSTランチ5名 8.10 回診チーム会8名 8.18 NSTランチ10名 8.24 回診チーム会6名
第5回	H29.9.15	8名	・事例検討 ・経過報告 ・褥瘡発生リストの変更を行う 9.6 NSTランチ7名 9.14 回診チーム会9名 9.15 NSTランチ8名 9.28 回診チーム会5名
第6回	H29.10.4	8名	・事例検討 ・日本静脈経腸栄養学会中国支部学術集会参加 ・クッションと除湿シートは起案書提出 ・NST回診の在り方検討 フロー図再検討 10.4 NSTランチ8名 10.11 回診チーム会5名 10.18 褥瘡チーム会3名 10.20 NSTランチ8名 10.25 4名（医学生研修のために4回褥瘡回診を行う）
第7回	H29.11.1	8名	・事例検討 ・10.23 クッション13個 除湿シート5枚購入 ・11.15 二部診療所10周年イベント参加 ・11.1 NSTランチ8名 11.1 回診チーム会8名（医学生看護学生参加） ・11.16 NSTランチ6名 11.17 回診チーム会6名
第8回	H29.12.6	7名	・症例検討 12.6 NSTランチ7名 12.14 回診チーム会6名 12.15 NSTランチ8名 12.27 回診チーム会7名

第9回	H30.1.10	9名	・事例検討（NST回診依頼） ・予算書提出終了 1.10 NSTランチ9名 1.11 回診チーム会8名 1.25 NSTランチ8名 1.19 回診チーム会7名
第10回	H30.2.7	8名	・日本静脈経腸栄養学会2名参加 2.7 NSTランチ8名 2.8 回診チーム会7名 2.16 NSTランチ7名 2.22 回診チーム会6名
第11回	H30.3.7	11名	・日本褥瘡学会中国四国地方会学術集会・教育セミナー5名参加 ・2018年診療報酬の改定調査 ・加藤医師転勤に伴うTNT不在問題 ・事例検討 ・電子カルテ更新に至る検討 ・山陰臨床栄養研究会参加 3.7 NSTランチ11名 3.8 回診チーム会7名 3.23 NSTランチ8名 3.22 回診チーム会6名
第12回	H30.4.4	12名	・学会報告 ・NST看護師育成検討 ・栄養指標CONUT法採用検討 ・事例検討 ・管理職会議に活動報告する検討 ・今年度褥瘡発生・転帰報告書作成 ・マットレスの採用検討 4.4 NSTランチ12名 4.12 回診チーム会11名 4.20 NSTランチ8名 4.26 回診チーム会6名

(3)がん研究及び対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H29.5.29	6名	今年度の活動計画、勉強会運営について検討
第2回	H29.7.24	7名	泉医師勉強会7月13日実施「呼吸困難」 田中PT緩和学会報告発表報告、病院機能評価項目について
第3回	H29.9.4	8名	池田Ns、山口MSW参加の日本緩和医療学会報告、事例ディスカッション 非がん患者の終末期(COPD)事例
第4回	H29.9.26	5名	井上医師参加により、「不安」自分が抱える不安について2グループに分けて ディスカッション(田中PTが研究発表行う予定)
第5回	H29.10.23	10名	「不安」ディスカッション
第6回	H29.11.27	10名	山本薬剤師から癌治療学会発表報告、抗癌剤曝露防止について講義 H30年度予算請求について
第7回	H29.12.18	9名	「不安」ディスカッション
第8回	H30.1.22		「肝硬変を知ろう」テーマに孝田院長、松本真理子Nsによる院内研修会行う。
第9回	H30.3.26	6名	「終末期看護をしている中で感じる不安」についてディスカッション
第10回	H30.4.23	2名	今年度の振り返り、次年度の取り組みについて

活動報告

がん疼痛緩和マニュアル見直し修正
日本緩和医療学会発表
癌治療学会発表

(4)生活習慣病対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H29.9.26	3名	今年度メンバー顔合わせ 糖尿病パス作成について

(5)ドック健診委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.7.25	4名	受託検診確認と問題点について
第2回	H29.11.29	5名	30年度検診料金について
第3回	H30.2.14	6名	30年度の検診と新規オプションについて
第4回	H30.4.25	5名	29年度振り返りと胃カメラ問診票の変更点について

活動報告

受託健診の遂行
新規オプション設定と促進

(6)栄養管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.6.20	12名	・平成29年度栄養管理委員会の構成メンバー確認 ・栄養管理委員会要綱確認 ・夜間緊急時「朝食の食事伝票」提出について ・夏場のお茶について ・第19回日野郡栄養士地域連携会議報告 ・退院時の患者様からの声
第2回	H29.9.22	8名	・温冷配膳車の取り扱い方について ・今夏の食中毒注意報報告 ・夜間緊急時「朝食の食事伝票」提出について ・夏場のお茶についての報告 ・退院時の患者様からの声
第3回	H29.11.20	9名	・平成29年度医療監視の報告 ・濃厚流動食について ・締め切り時間後の食事オーダーの連絡の徹底について ・ノロウイルス対策について ・退院時の患者様からの声
第4回	H30.2.19	10名	・心臓疾患食の朝の乳製品について ・管理栄養士の担当制について ・夜間・早朝の食事箋様式について ・半固形流動食リカバリーのパッケージ変更について ・調理従事者のノロウイルス対策について ・アレルギー対応について ・退院時の患者様からの声

12. 医療安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	H29.5.17	12名	H29.4月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) レベル3b事例紹介と対応策 H28年度「部門別目標」の評価とH30年度「部門別目標」案提示と承認 「医療機器のトラブル発生時の夜間・休日を含めた対応手順」検討 「委託業者が事故を起こした場合の報告手順」について 必須研修会開催月と担当者の決定
第2回	H29.6.21	11名	H29.5月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) レベル3a事例紹介と対応策 5月共有事例レベル3bの経過報告 各ワーキングから報告 「夜間・休日の医療機器作動不良・故障時対応体制」マニュアル追加 アクシデント発生時報告フローズ案(医療事故調査支援センターへの報告含む)について
第3回	H29.7.19	7名	H29.6月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 事例紹介 アクシデント発生時の報告フローズについて 委員会要綱について 山陰リスクマネジメント研究会(6/25)参加者と内容について 8月必須研修会の内容(類似薬剤・ハイリスク薬剤についてと内服薬の自己管理方法)
第4回	H29.8.16	12名	H29.7月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) アクシデント発生時の報告フローズの検討と決定 医療安全ポスター発行の報告 8月必須研修について 「医療事故に係わるフローチャート」について 各ワーキングから報告 医療安全管理指針改定後の内容確認 事例紹介(レベル3a 人工呼吸器サーボSの手順書について 日本マネジメント学会鳥取支部学術集会のご案内(9/2)
第5回	H29.9.20	11名	H29.8月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 医療安全管理指針変更申請について アクシデント発生時報告の流れ(3b～5)の改訂 院外研修会参加者の報告 各ワーキングから報告 必須研修会(8/31開催)振り返り用紙結果報告 環境ラウンド(10月・1月)の内容 10月必須研修(在宅酸素) 西部地区医療安全交流会について 事例紹介(レベル2)
第6回	H29.10.18	11名	H29.9月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 事例紹介(レベル3b)と対策 各ワーキングから報告 医療安全管理指針とアクシデント発生時報告の流れ(3b～5)の マニュアル変更 環境ラウンド(10月・1月)の内容 10月必須研修(在宅酸素)について 監査(10/11済)の指摘事項 「口頭指示禁止マニュアル」について
第7回	H29.11.15	8名	H29.10月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 「委託業者が医療事故を起こした場合の報告手順」マニュアル追加 必須研修会について 環境ラウンド(10/31実施済)の報告 各ワーキングから報告 医療事故報告事案の経過報告(尿道損傷:レベル3b)
第8回	H29.12.20	10名	H29.11月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 各ワーキングから報告 12月研修会について 研修会「在宅酸素療法」11/21開催済の振り返り用紙結果報告 画像診断報告等の確認不足に関する医療安全対策について当院の現状

第9回	H30.1.17	11名	H29.12月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 12月報告事例レベル3bの経過について 12月研修会振り返り用紙結果報告 1月必須研修会(医療機器関連) 環境ラウンド2回目(内容と日時) 各ワーキングから報告 画像診断報告等の確認不足に関する医療安全対策の周知 「身体拘束マニュアル」改訂と申請
第10回	H30.2.21	12名	H30.1月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 珍事例紹介と対策 環境ラウンド(1/19済)結果報告 各ワーキングから報告 必須研修会「透析室の災害対策について」2/13開催済振り返り集計結果 H28年度・H29年度(2月21日迄)インシデント部署別、影響レベル別統計 H28年度・H29年度(2月21日迄)インシデント部署別、概要別統計
第11回	H30.3.28	8名	H30.2月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 事例紹介(レベル3a)と対策 各ワーキングから報告 機能評価受審指摘事項と今後の検討内容について
第12回	H30.4.19	7名	H30.3月インシデントレポート集計結果報告(資料参照) 事例紹介(レベル3a) 各ワーキングから報告 機能評価受審指摘事項(口頭指示受け手順についてマニュアル修正 「指示受けマニュアル」として申請、承認許可あれば早急に運用予定とする。

活動報告

- ・毎月の委員会開催で前月分インシデントレポート集計結果報告、事例紹介、その他検討
- ・環境ラウンド2回/年 ・各マニュアル整備と新規作成 ・啓蒙ポスター発行3回/年
- ・院内必須研修会(4回/年)開催し振り返り用紙集計報告 ・院外研修会参加(2回/年)
- ・インシデントレポート全事例の公開と閲覧の啓蒙

14. 院内感染対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.10	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・平成28年度反省・平成29年度目標・機能評価など
第2回	H29.6.14	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・アンチバイオグラム・厚生局適時調査・機能評価など
第3回	H29.7.12	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・年間抗菌薬使用状況・機能評価など
第4回	H29.8.9	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・鳥取県抗菌薬サーベイランス・機能評価など
第5回	H29.9.13	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・針刺し事例検討・合同カンファレンスなど
第6回	H29.1.18	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・多剤耐性アシネトバクター・医療監視・研修会報告など
第7回	H29.12.13	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・結核・次年度予算など
第8回	H30.1.10	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランスインフルエンザ・感染症法など
第9回	H30.2.14	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザアウトブレイク・針刺し事故事例検討・ASTなど
第10回	H30.3.7	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・白兔ネット相談事例・研修会報告など
第11回	H30.4.11	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・HIV予防薬・機能評価など

活動報告

- ・山陰インфекションコントロールセミナー 参加(5/29・10/21)
- ・感染制御合同カンファレンス 参加(5/20)
- ・鳥取県院内感染対策講習会(11/18 三好)
- ・厚労省院内感染対策講習会(山形)
- ・西部圏域感染制御地域支援ネットワーク会議 参加(12/20)
- ・環境感染学会(2/23～24) 山川・小林・長尾
- ・マニュアルの改訂・周知

(1)ICT委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
			院内ラウンド時にミーティングを行い、委員会は開催していない。

活動報告

- ・院内ラウンド 43回
- ・感染情報レポート 随時掲載
- ・院内研修会
 - ①水痘・麻疹・風疹・流行性耳下腺炎 10/15・12
 - ②口腔内細菌コントロール 3/7・29
- ・合同カンファレンス
 - ①職員に対するういすせい疾患抗体価管理・フォローアップ体制 6/5 米子医療センター
 - ②薬剤耐性菌感染対策・手指衛生推進の取り組み 9/11 米子医療センター

③職種別テーマ意見交換 11/24 米子医療センター

④抗菌薬適正使用 2/5 米子医療センター

- ・鳥取県抗菌薬サーベイランス 参加
- ・インフルエンザアウトブレイクへの対応

15. 労働安全衛生委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.22	8名	・春の健康診断の実施状況について ・今年度のストレスチェック実施について
第2回	H29.6.26	6名	・健康診断の要再検査職員の状況把握について
第3回	H29.7.24	9名	・健康診断の要再検査結果等の未提出者への通知について
第4回	H29.8.28	9名	・健康診断の要再検査結果の提出状況について ・ストレスチェックの実施方法について
第5回	H29.9.25	6	・ストレスチェックの実施状況について ・特定従事者健診について ・職員のインフルエンザ予防接種について
第6回	H29.10.23	7名	・特定従事者健診について ・職員のインフルエンザ予防接種について
第7回	H29.11.27	5名	・職員のインフルエンザ予防接種について ・平成30年度予算要求について ・安全パトロールの保健師資格取得者の参加について ・メンタルヘルスフロー図について
第8回	H29.12.25	8名	・安全パトロールの実施について
第9回	H30.1.22	7名	・安全パトロール時の検討事項について ・インフルエンザ流行における予防投与について
第10回	H30.2.26	8名	・春の健康診断について
第11回	H30.3.26	5名	・春の健康診断について ・機能評価の指摘事項について(特にない旨報告)
第12回	H30.4.23	6名	・平成30年度安全衛生管理活動計画について ・特定化学物質作業主任者講習の受験について

16. 診療記録管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者	内容
第1回	H29.10.13	14名	院内統一略語病名について
第2回	H30.1.12	14名	診療録監査について

17. サービス推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.11	14名	・委員会の開催方法について ・イベント関係・広報関係・地域貢献関係のメンバー構成の確認 ・平成29年度の目標の提出期限について決定 ・5/12看護の日のイベント開催次回報告
第2回	H29.6.23	15名	・日野町広報5月号(看護師募集)・ホームページ・ブログの更新・せせらぎ発行報告 ・地域貢献関係の今年度のテーマや担当者を決定(5月15日日野町巡回) ・各イベント担当を決定 8/4納涼会予定 ・各ワーキング部門目標の確認。本日こいのぼりの片づけ。7/7七夕飾りつけ予定。
第3回	H29.7.20	7名	・日野町広報誌7月号は、終末期における患者希望連載 ・ホームページ・ブログの更新 ・8月4日夕涼み会計画のお知らせみんなで参加実施協力、職員レクリエーションについて
第4回	H29.8.17	14名	・広報委員会せせらぎ号の議題について ・日野町広報誌7月号は夕涼み会のお知らせ ・看護宅配便8月17日25名 職員レクリエーションについて(9月2日)
第5回	H29.9.28	9名	・日野町広報誌9月号・伯耆町以外全配布 ・ホームページ・ブログの更新 ・9月27日西部地区町村高齢者学級交流研修会に参加 ・9月2日イベント ボーリング大会反省
第6回	H29.10.26	11名	・日野町広報誌:病院長コラム、第3回大腸がんQ&A、栄養ニュース他 ・ホームページ・ブログの更新 ・11月15日二部診療所、10周年記念イベントの話し合い ・12/15日クリスマス会打ち合わせ、夕涼み会のアンケート結果
第7回	H29.12.1	14名	・日野町広報誌:イベント内容入れ込む ・ホームページ・ブログの更新 ・地域貢献:12月から3月までは地域のコミュニティーに参加12月21日俣野カフェ参加予定 ・12月22日クリスマス会の打ち合わせ 11月28日クリスマスの飾りつけ、正月飾りは12月28日
第8回	H30.1.25	12名	・日野町広報誌・ホームページ・ブログの更新 ・地域貢献:1月19日外来待合棟でカフェ開催の報告 ・12月22日 クリスマス会の振り返り ・正月飾りの片づけ、ひな祭りの飾りつけについて
第9回	H30.2.22	14名	・日野町広報誌:院長先生のコラム 新春放談 すまいる瓦版 ・ホームページ・ブログ更新 ・12/22クリスマス会反省・29年度の反省 ・5月看護の日のイベントの意見交換。体組成計測。認知症理解の講演とパンフレット配布。
第10回	H30.3.28	9名	・日野町広報誌1月号院長コラム ・ホームページ・ブログ更新 ・地域貢献:俣野に巡回 看護の日イベントポスター配布について ・ひな人形の片づけと5月人形の飾りつけについて
第11回	H30.4.26	12名	・日野町広報誌:院長コラム ・ホームページ・ブログ更新 ・部門別評価確認 ・平成30年度部門メンバーで打ち合わせ ・地域貢献:黒坂巡回 検診相談

活動報告

5月12日 看護の日 キャラバンメイト、認知症講演を行い理解を深める
8月4日 納涼会開 122名

9月2日 職員レクレーションボーリング大会
 11月15日 二部診療所10周年 21名 孝田院長の講演、血圧測定、体組成測定、生活相談、手洗いチェッカー、嚥下体操
 12月21日 俣野カフェ28名 血圧測定、手遊び、インフルエンザ予防
 12月22日 クリスマス会開催 106名 ビオラ・ハーブ・サンタクロースからのプレゼント・日野町ミュージカル

(1) 広報関係

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.7.14	2名	せせらぎ60号について
第2回	H29.11.9	4名	せせらぎ61号について
第3回	H30.3.22	3名	せせらぎ62号について

活動報告

・H29.9月 せせらぎ60号発行
 ・H30.1月 せせらぎ61号発行
 ・H30.4月 せせらぎ臨時号発行
 ・H30.5月 せせらぎ62号発行

18. 接遇向上委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.23	5名	平成29年度の目標の設定確認、接遇委員会の開催日の決定、2月に接遇研修を予定、満足度調査の開催、内容についての検討
第2回	H29.6.6	5名	接遇週間のやり方、開始日の確認、外来の満足度アンケート開始日、内容確認
第3回	H29.7.4	4名	満足度アンケートの内容確認、情報共有、接遇週間についての反省
第4回	H29.8.1	7名	接遇週間についての反省、満足度アンケートについて予定日の確認
第5回	H29.9.5	4名	満足度アンケートの集計結果について、接遇週間についての反省、第三者チェックの内容について
第6回	H29.10.6	2名	満足度アンケートの集計結果について評価・検討、接遇週間についての反省、第三者チェックの内容について大項目決定
第7回	H29.11.7	5名	満足度アンケートの集計結果について評価・検討、接遇週間についての反省、第三者チェックの内容について大項目決定、チェック表の作成、方法の検討
第8回	H29.12.5	4名	第三者チェックの開始日、流れ、方法の確認、接遇週間についての反省、接遇研修の内容決定
第9回	H30.2.6	4名	接遇研修の内容決定、接遇週間についての反省
第10回	H30.3.6	4名	接遇研修の日程、内容確認、接遇週間の確認
第11回	H30.4.3	4名	接遇研修の反省、接遇週間の確認、1年間の活動の反省

活動報告

H29.5月～H30.4月委員会の開催、H29.6月～H30.4月毎月第三週目に接遇週間の実施、3月接遇研修の開催、11月第三者接遇チェックを実施、8月・3月患者満足度調査を実施。

19. 教育研修委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.4.13	12名	1年間の研修振り返り等
第2回	H29.5.11	11名	教育研修委員会要綱、年間スケジュール(案)の検討
第3回	H29.6.8	10名	医療倫理研修会の打ち合わせ
第4回	H29.7.13	10名	医療倫理研修会報告
第5回	H29.8.10	12名	医療安全研修会(薬剤関係)の打ち合わせ
第6回	H29.9.14	12名	感染対策研修会の打ち合わせ
第7回	H29.10.19	13名	感染対策研修会の報告、医療安全研修会の打ち合わせ
第8回	H29.11.10	13名	感染対策研修会の報告、医療安全研修会の打ち合わせ
第9回	H29.12.14	13名	医療安全研修会の打ち合わせ
第10回	H30.1.18	12名	医療安全研修会報告および次回医療安全研修会の打ち合わせ
第11回	H30.2.8	13名	医療安全研修会・接遇研修会の打ち合わせ
第12回	H30.3.8	11名	医療安全研修会・接遇研修会・人権学習研修会の打ち合わせ

(1)BLS委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H29.5.25	6名	活動目標について、活動計画について、BLS講習詳細について
第2回	H29.6.22	5名	第1回BLS講習の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について
第3回	H29.8.24	8名	第2回BLS講習の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について 7月14日救命救急講習について
第4回	H29.9.21	5名	第3回BLS講習の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について
第5回	H29.10.19	5名	第4回BLS講習の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について
第6回	H29.11.16	5名	救急外来での二次救命処置訓練の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について
第7回	H29.12.21	5名	第5回BLS講習の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について
第8回	H30.1.18	7名	第6回BLS講習の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について
第9回	H30.2.15	5名	第7回BLS講習の振り返り・今後の課題、次回のBLS講習について BLS講習参加率について

活動報告

BLS講習受講率 75.6%

20. 災害対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H29.5.26	8名	・平成29年度部門別目標について
第2回	H30.4.27	4名	・平成29年度部門別目標の反省について ・4月9日に日野町で震度4の地震が発生した際の対応について報告

平成29年度 院内研修会実施状況

開催年月日	研修会名	講師等	参加人数
H29.4.3	平成29年度新規採用職員オリエンテーション ①組織について ②公務員の心得について ③接遇について ④感染対策について ⑤医療安全対策について ⑥電子カルテについて ⑦服務・勤務条件について	事務局長 生田 哲二 総務課長 頭本 保人 主任看護師 朝野 純子 臨床検査室長 長尾 孝夫 看護師長 竹永 真由美 医事課係長 河本 亮介 総務課係長 矢田貝 亮一	11名
H29.6.22	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	11名
H29.7.3 7.4 7.5	医療倫理研修会	DVD研修	103名
H29.8.24	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	19名
H29.8.31	医療安全研修会 (薬剤)	日野病院 副医療技術局長 山本 直子	63名
H29.9.14	平成29年度職員説明会 ①決算状況について ②基本理念等について ③公務員の心得 ④個人情報取扱規程について 他	事務局長 生田 哲二 総務課長 頭本 保人 医事課長 川上 靖	63名
H29.9.21	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	21名
H29.10.5 10.12	感染対策研修会 (水痘・麻疹・風疹・流行性耳下腺炎)	日野病院 検査室室長 長尾 孝夫	77名
H29.10.19	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	15名
H29.11.16	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	15名
H29.11.21	医療安全研修会 (在宅酸素療法)	フィリップス・レスピロニクス(合) 内藤省二	62名
H29.12.21	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	15名
H29.12.25	医療安全研修会 (院内の血糖異常への関わりについて)	DVD研修 熊本中央病院 西田 健朗	60名
H30.1.18	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	10名
H30.1.19	源泉徴収票の見方研修会	事務局長 生田 哲二 総務係長 矢田貝 亮一	24名
H30.2.13	医療安全研修会 (透析室の災害対策について)	日野病院 臨床工学技士 河角 昌希	67名
H30.2.15	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	9名
H30.3.20	接遇研修会	第一三共株式会社 石川 岳洋	60名
H30.3.7 3.29	感染対策研修会 (口腔内細菌コントロールによる感染予防)	日野病院 検査室室長 長尾 孝夫	77名
H30.3.19 3.22 3.23	人権研修会	DVD研修	98名

2、統計

患者統計

I. 外来患者数統計

1. 地域別統計

		(人)								
区 分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	4,733	2,024	860	1,010	293	222	139	4	58	123
構成比(%)	100.0	42.8	18.2	21.3	6.2	4.7	2.9	0.1	1.2	2.6

2. 年齢階層別統計

		(人)														
区 分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	90歳-
男	2,127	4	26	37	73	42	70	141	151	245	177	256	194	193	234	107
女	2,606	2	27	43	57	69	103	101	124	202	190	252	219	292	350	255
計	4,733	6	53	80	130	111	173	242	275	447	367	508	413	485	584	362
構成比(%)	100.0	0.1	1.1	1.7	2.7	2.3	3.7	5.1	5.8	9.4	7.8	10.7	8.7	10.2	12.3	7.6

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

II. 入院患者数統計

1. 地域別統計

		(人)								
区 分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	743	303	109	207	46	28	25	7	0	18
構成比(%)	100.0	40.8	14.7	27.9	6.2	3.8	3.4	0.9	0.0	2.4

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

2. 診療科別・年齢階層別・入退院暦数

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	90歳-
総数	計	890	100.0	80.3	--	1	10	6	8	14	32	25	60	57	94	165	229
	男	389	100.0	77.5	--	1	5	2	6	12	23	12	40	26	39	66	79
	女	501	100.0	82.5	--	--	5	4	2	2	9	13	20	31	55	99	150
構成比 (%)	計	100.0	--	--	--	0.1	1.1	0.7	0.9	1.6	3.6	2.8	6.7	6.4	10.6	18.5	25.7
	男	100.0	--	--	--	0.3	1.3	0.5	1.5	3.1	5.9	3.1	10.3	6.7	10.0	17.0	20.3
	女	100.0	--	--	--	--	1.0	0.8	0.4	0.4	1.8	2.6	4.0	6.2	11.0	19.8	29.9
内科	計	368	41.3	83.7	--	--	3	2	1	5	7	7	18	11	35	53	127
	男	162	41.6	81.3	--	--	2	1	1	5	3	5	12	6	15	25	46
	女	206	41.1	85.7	--	--	1	1	--	--	4	2	6	5	20	28	81
外科	計	97	10.9	76.1	--	--	--	1	--	2	11	4	9	12	10	22	13
	男	65	16.7	73.2	--	--	--	1	--	2	11	2	8	10	7	11	8
	女	32	6.4	82.0	--	--	--	--	--	--	--	2	1	2	3	11	5
整形外科	計	241	27.1	74.6	--	1	7	2	6	6	12	10	23	21	30	53	35
	男	83	21.3	69.4	--	1	3	--	5	5	7	3	13	3	7	15	7
	女	158	31.5	77.3	--	--	4	2	1	1	5	7	10	18	23	38	28
眼科	計	52	5.8	77.5	--	--	--	--	--	--	--	2	7	8	15	10	2
	男	24	6.2	77.6	--	--	--	--	--	--	--	--	4	4	7	3	1
	女	28	5.6	77.3	--	--	--	--	--	--	--	2	3	4	8	7	1
総診	計	132	14.8	85.2	--	--	--	1	1	1	2	2	3	5	4	27	52
	男	55	14.1	83.4	--	--	--	--	--	--	2	2	3	3	3	12	17
	女	77	15.4	86.5	--	--	--	1	1	1	--	--	--	2	1	15	35

3.診療科別・在院期間別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
総数	計	890	100.0	30,844	34.7	204	147	174	90	172	56	31	12	3	1
	男	389	100.0	15,228	39.1	92	62	76	40	73	23	15	6	1	1
	女	501	100.0	15,616	31.2	112	85	98	50	99	33	16	6	2	--
構成比 (%)	計	100.0	--	--	--	22.9	16.5	19.6	10.1	19.3	6.3	3.5	1.3	0.3	0.1
	男	100.0	--	--	--	23.7	15.9	19.5	10.3	18.8	5.9	3.9	1.5	0.3	0.3
	女	100.0	--	--	--	22.4	17.0	19.6	10.0	19.8	6.6	3.2	1.2	0.4	--
内科	計	368	41.3	15,632	42.5	110	60	54	28	58	27	22	6	2	1
	男	162	41.6	8,375	51.7	46	20	24	18	30	11	10	1	1	1
	女	206	41.1	7,257	35.2	64	40	30	10	28	16	12	5	1	--
外科	計	97	10.9	4,467	46.1	20	20	14	7	17	8	5	5	1	--
	男	65	16.7	2,870	44.2	14	14	10	4	9	7	3	4	--	--
	女	32	6.4	1,597	49.9	6	6	4	3	8	1	2	1	1	--
整形外科	計	241	27.1	6,730	27.9	39	33	44	35	70	18	2	--	--	--
	男	83	21.3	2,139	25.8	18	11	16	9	24	4	1	--	--	--
	女	158	31.5	4,591	29.1	21	22	28	26	46	14	1	--	--	--
眼科	計	52	5.8	770	14.8	4	9	38	1	--	--	--	--	--	--
	男	24	6.2	342	14.3	2	5	17	--	--	--	--	--	--	--
	女	28	5.6	428	15.3	2	4	21	1	--	--	--	--	--	--
総診	計	132	14.8	3,245	24.6	31	25	24	19	27	3	2	1	--	--
	男	55	14.1	1,502	27.3	12	12	9	9	10	1	1	1	--	--
	女	77	15.4	1,743	22.6	19	13	15	10	17	2	1	--	--	--

4.診療科別・退院月別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比 (%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	計	890	100.0	72	73	74	72	76	63	64	78	88	77	70	83	110
	男	389	100.0	33	30	29	33	32	29	24	32	43	37	29	38	52
	女	501	100.0	39	43	45	39	44	34	40	46	45	40	41	45	58
構成比 (%)	計	100.0	--	8.1	8.2	8.3	8.1	8.5	7.1	7.2	8.8	9.9	8.7	7.9	9.3	12.4
	男	100.0	--	8.5	7.7	7.5	8.5	8.2	7.5	6.2	8.2	11.1	9.5	7.5	9.8	13.4
	女	100.0	--	7.8	8.6	9.0	7.8	8.8	6.8	8.0	9.2	9.0	8.0	8.2	9.0	11.6
内科	計	368	41.3	37	36	31	30	40	24	28	26	30	27	34	25	74
	男	162	41.6	18	15	11	14	19	17	8	8	14	12	16	10	35
	女	206	41.1	19	21	20	16	21	7	20	18	16	15	18	15	39
外科	計	97	10.9	11	5	8	6	8	7	6	14	4	9	5	14	9
	男	65	16.7	7	2	7	4	4	4	4	9	4	8	2	10	6
	女	32	6.4	4	3	1	2	4	3	2	5	--	1	3	4	3
整形外科	計	241	27.1	15	19	21	18	15	16	18	23	29	25	16	26	--
	男	83	21.3	5	6	3	6	6	5	7	8	15	9	5	8	--
	女	158	31.5	10	13	18	12	9	11	11	15	14	16	11	18	--
眼科	計	52	5.8	6	4	5	7	4	5	3	5	6	2	3	2	--
	男	24	6.2	2	2	3	5	2	1	2	2	3	--	1	1	--
	女	28	5.6	4	2	2	2	2	4	1	3	3	2	2	1	--
総診	計	132	14.8	3	9	9	11	9	11	9	10	19	14	12	16	27
	男	55	14.1	1	5	5	4	1	2	3	5	7	8	5	9	11
	女	77	15.4	2	4	4	7	8	9	6	5	12	6	7	7	16

疾病統計（入院患者）

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
	総数	計	890	100.0	368	97	241	52	132
		男	389	100.0	162	65	83	24	55
		女	501	100.0	206	32	158	28	77
	構成比(%)	計	100.0	—	41.3	10.9	27.1	5.8	14.8
		男	100.0	—	41.6	16.7	21.3	6.2	14.1
		女	100.0	—	41.1	6.4	31.5	5.6	15.4
I	感染症及び寄生虫症	計	25	2.8	16	2	1	—	6
		男	13	3.3	9	1	1	—	2
		女	12	2.4	7	1	—	—	4
II	新生物	計	41	4.6	18	14	2	—	7
		男	20	5.1	8	10	2	—	—
		女	21	4.2	10	4	—	—	7
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	2	0.2	2	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	1	0.2	1	—	—	—	—
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	18	2.0	14	—	1	—	3
		男	5	1.3	4	—	—	—	1
		女	13	2.6	10	—	1	—	2
V	精神及び行動の障害	計	15	1.7	11	1	—	—	3
		男	6	1.5	4	—	—	—	2
		女	9	1.8	7	1	—	—	1
VI	神経系の疾患	計	29	3.3	15	1	9	—	4
		男	10	2.6	7	1	2	—	—
		女	19	3.8	8	—	7	—	4
VII	眼及び付属器の疾患	計	53	6.0	1	—	—	52	—
		男	24	6.2	—	—	—	24	—
		女	29	5.8	1	—	—	28	—
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	1	0.1	—	—	—	—	1
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	—	—	—	—	1
IX	循環器系の疾患	計	85	9.6	55	5	2	—	23
		男	39	10.0	23	3	2	—	11
		女	46	9.2	32	2	—	—	12
X	呼吸器系の疾患	計	144	16.2	98	5	—	—	41
		男	72	18.5	52	4	—	—	16
		女	72	14.4	46	1	—	—	25
X I	消化器系の疾患	計	80	9.0	36	36	—	—	8
		男	41	10.5	13	25	—	—	3
		女	39	7.8	23	11	—	—	5
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	12	1.3	2	1	5	—	4
		男	9	2.3	2	1	2	—	4
		女	3	0.6	—	—	3	—	—
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	86	9.7	3	5	74	—	4
		男	36	9.3	1	2	31	—	2
		女	50	10.0	2	3	43	—	2
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	43	4.8	28	4	—	—	11
		男	20	5.1	10	4	—	—	6
		女	23	4.6	18	—	—	—	5
X V	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
X VI	周産期に発生した病態	計	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	1	0.1	—	—	1	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	—	—	1	—	—

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
XⅧ	症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されな いもの	計	57	6.4	35	8	—	—	14
		男	23	5.9	13	4	—	—	6
		女	34	6.8	22	4	—	—	8
XⅨ	損傷、中毒及びその他の外因の 影響	計	153	17.2	17	9	125	—	2
		男	50	12.9	7	6	35	—	2
		女	103	20.6	10	3	90	—	—
XⅩ	傷病及び死亡の外因	計	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
XⅩⅠ	健康状態に影響を及ぼす要因及 び保健サービスの利用	計	45	5.1	17	6	21	—	1
		男	20	5.1	8	4	8	—	—
		女	25	5.0	9	2	13	—	1
XⅩⅡ	特殊目的用コード	計	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
	総数	計	890	100.0	368	97	241	52	132
		男	389	100.0	162	65	83	24	55
		女	501	100.0	206	32	158	28	77
	構成比(%)	計	100.0	—	41.3	10.9	27.1	5.8	14.8
		男	100.0	—	41.6	16.7	21.3	6.2	14.1
		女	100.0	—	41.1	6.4	31.5	5.6	15.4
A047	[M] クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
A09	[M] 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	9	1.0	6	2	—	—	1
		男	2	0.5	1	1	—	—	—
		女	7	1.4	5	1	—	—	1
A162	[M] 肺結核、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	計	2	0.2	—	—	—	—	2
		男	2	0.5	—	—	—	—	2
		女	—	—	—	—	—	—	—
A165	[M] 結核性胸膜炎、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
A310	[M] 肺非結核性抗酸菌感染症	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
A419	[M] 敗血症、詳細不明	計	5	0.6	2	—	1	—	2
		男	2	0.5	1	—	1	—	—
		女	3	0.6	1	—	—	—	2
A490	[M] ブドウ球菌感染症、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
B029	[M] 帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	1	—	—	—	—
B182	[M] 慢性C型ウイルス肝炎	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
B259	[M] サイトメガロウイルス病、詳細不明	計	1	0.1	—	—	—	—	1
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	—	—	—	—	1
B270	[M] ガンマヘルペスウイルス（性）単核症	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
B49	[M] 詳細不明の真菌症	計	1	0.1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
C159	[M] 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—	—
		男	1	0.3	—	1	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
C169	[M] 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	4	0.4	2	2	—	—	—
		男	2	0.5	1	1	—	—	—
		女	2	0.4	1	1	—	—	—
C182	[M] 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—	—
		男	1	0.3	—	1	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—
C187	[M] S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	—	2	—	—	—
		男	1	0.3	—	1	—	—	—
		女	1	0.2	—	1	—	—	—
C189	[M] 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	1	—	—	—	1
		男	—	—	—	—	—	—	—
		女	2	0.4	1	—	—	—	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
C20	[M]直腸の悪性新生物	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
C220	[M]肝臓【肝及び肝内 胆管の悪性新生物】	計	3	0.3	2	1	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他 及び部位不明の胆道の 悪性新生物】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C241	[M]ファーター乳頭膨 大部【その他及び部位 不明の胆道の悪性新生	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C251	[M]膵体部【膵の悪性 新生物】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C310	[M]上顎洞【副鼻腔の 悪性新生物】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C349	[M]気管支又は肺、部 位不明【気管支及び肺 の悪性新生物】	計	9	1.0	6	1	--	--	2
		男	4	1.0	3	1	--	--	--
		女	5	1.0	3	--	--	--	2
C56	[M]卵巣の悪性新生物	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
C61	[M]前立腺の悪性新生 物	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C770	[M]頭部、顔面及び頸 部リンパ節【リンパ節 の続発性及び部位不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C780	[M]肺の続発性悪性新 生物	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C786	[M]後腹膜及び腹膜の 続発性悪性新生物	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
C80	[M]部位の明示されな い悪性新生物	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	2
D135	[M]肝外胆管【消化器 系のその他及び部位不 明確の良性新生物】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
D150	[M]胸腺【その他及び 部位不明の胸腔内臓器 の良性新生物】	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
D171	[M]体幹の皮膚及び皮 下組織【良性脂肪腫性 新生物(脂肪腫を含	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
D391	[M]卵巣【女性生殖器 の性状不詳又は不明の 新生物】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
D413	[M]尿道【泌尿器の性 状不詳又は不明の新生 物】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
D481	[M]結合組織及びその 他の軟部組織【その他 及び部位不明の性状不	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
D509	[M]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
D649	[M]貧血、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
E10	[M]インスリン依存性糖尿病<I D D M>	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	4	0.4	3	--	--	--	1
		男	4	1.0	3	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
E145	[M]末梢循環合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
E146	[M]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E512	[M]ウェルニッケ脳症<エンセファロパチ>シ>一>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E86	[M]体液量減少(症)	計	10	1.1	9	--	--	--	1
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	9	1.8	8	--	--	--	1
F019	[M]血管性認知症、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	6	0.7	5	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	5	1.0	5	--	--	--	--
F100	[M]急性中毒【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
F192	[M]依存症候群【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
F329	[M]うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
F411	[M]全般性不安障害	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
F453	[M]身体表現性自律神経機能不全	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
G20	[M]パーキンソン病	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー病、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
G408	[M]その他のてんかん	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
G439	[M]片頭痛、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
G560	[M]手根管症候群	計	5	0.6	--	--	5	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	--	--	5	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
G629	[M]多発(性)ニューロパチ<シ>一、詳細不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G64	[M]末梢神経系のその他の障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
G825	[M]四肢麻痺、詳細不明【対麻痺及び四肢麻痺】	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G908	[M]自律神経系のその他の障害	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	2
G919	[M]水頭症、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
G959	[M]脊髄疾患、詳細不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
H169	[M]角膜炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	52	5.8	--	--	--	52	--
		男	24	6.2	--	--	--	24	--
		女	28	5.6	--	--	--	28	--
H813	[M]その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I089	[M]連合弁膜症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I10	[M]本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
I442	[M]房室ブロック、完全	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
I48	[M]心房細動及び粗動	計	3	0.3	3	---	---	---	---
		男	2	0.5	2	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---
I493	[M]心室性早期脱分極	計	1	0.1	---	---	---	---	1
		男	1	0.3	---	---	---	---	1
		女	---	---	---	---	---	---	---
I495	[M]洞不全症候群	計	1	0.1	---	---	---	---	1
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	---	---	---	---	1
I500	[M]うっ血性心不全	計	4	0.4	2	2	---	---	---
		男	2	0.5	---	2	---	---	---
		女	2	0.4	2	---	---	---	---
I509	[M]心不全、詳細不明	計	32	3.6	20	1	---	---	11
		男	13	3.3	7	1	---	---	5
		女	19	3.8	13	---	---	---	6
I518	[M]その他の診断名不明確な心疾患	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
I614	[M]小脳の脳内出血	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---
I619	[M]脳内出血、詳細不明	計	3	0.3	2	---	---	---	1
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	2	0.4	1	---	---	---	1
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計	1	0.1	---	---	1	---	---
		男	1	0.3	---	---	1	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	2	0.2	1	---	---	---	1
		男	2	0.5	1	---	---	---	1
		女	---	---	---	---	---	---	---
I634	[M]脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
I638	[M]その他の脳梗塞	計	3	0.3	3	---	---	---	---
		男	2	0.5	2	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	14	1.6	10	---	---	---	4
		男	6	1.5	4	---	---	---	2
		女	8	1.6	6	---	---	---	2
I690	[M]くも膜下出血の続発・後遺症	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	1	0.1	---	---	---	---	1
		男	1	0.3	---	---	---	---	1
		女	---	---	---	---	---	---	---
I702	[M](四)肢の動脈のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	計	1	0.1	---	1	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	---	1	---	---	---

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
I709	[M]全身性及び詳細不明のアテローム<じゅく>粥<状>硬化	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I714	[M]腹部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I716	[M]胸腹部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I80.2	[I]深在静脈血栓症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I831	[M]炎症を伴う下肢の静脈瘤	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
I951	[M]起立性低血圧(症)	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウ	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
J111	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウ	計	4	0.4	2	--	--	--	2
		男	2	0.5	--	--	--	--	2
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
J13	[M]肺炎レンサ球菌による肺炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J152	[M]ブドウ球菌による肺炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	5	0.6	--	--	--	--	5
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	4	0.8	--	--	--	--	4
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	50	5.6	37	3	--	--	10
		男	27	6.9	20	3	--	--	4
		女	23	4.6	17	--	--	--	6
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	7	0.8	5	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	5	1.0	4	--	--	--	1
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J42	[M]詳細不明の慢性気管支炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	2	0.5	--	--	--	--	2
		女	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.4	3	--	--	--	1
		男	4	1.0	3	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
J46	[M]喘息発作重積状態	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	55	6.2	39	1	--	--	15
		男	25	6.4	21	1	--	--	3
		女	30	6.0	18	--	--	--	12
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	3	0.8	2	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
J931	[M]その他の自然気胸	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J960	[M]急性呼吸不全	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
J969	[M]呼吸不全、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K254	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K295	[M]慢性胃炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
K318	[M]胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
K359	[M]急性虫垂炎、詳細不明	計	3	0.3	--	3	--	--	--
		男	3	0.8	--	3	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい＜鼠径＞ヘルニア、閉塞又はえく	計	6	0.7	--	6	--	--	--
		男	4	1.0	--	4	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞又はえく＜壊＞疸を伴わないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K550	[M]腸の急性血行障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K562	[M]軸捻（転）	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着【索条物】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	14	1.6	4	8	--	--	2
		男	7	1.8	2	4	--	--	1
		女	7	1.4	2	4	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
K589	[M]下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K624	[M]肛門及び直腸の狭窄	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計	6	0.7	6	--	--	--	--
		男	4	1.0	4	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K658	[M]その他の腹膜炎	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K700	[M]アルコール性脂肪肝	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K720	[M]急性及び亜急性肝不全	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K746	[M]その他及び詳細不明の肝硬変	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K767	[M]肝腎症候群	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
K801	[M]その他の胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	--	1	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	1	--	--	1
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	3	0.3	--	3	--	--	--
		男	3	0.8	--	3	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K805	[M]胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計	6	0.7	1	5	--	--	--
		男	4	1.0	--	4	--	--	--
		女	2	0.4	1	1	--	--	--
K819	[M]胆のう<嚢>炎、詳細不明	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	4	0.4	2	2	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K85	[M]急性膵炎	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	6	0.7	5	1	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	5	1.0	4	1	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
L022	[M]体幹の皮膚膿瘍、 せつくフルンケル>及 びようくカルブンケル	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎 >、詳細不明	計	9	1.0	2	--	4	--	3
		男	7	1.8	2	--	2	--	3
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
L84	[M]うおのめ<鶏眼> 及びべんち<胼胝>	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、 他に分類されないもの	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M0097	[I]化膿性関節炎・趾 関節	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M0690	[I]関節リウマチ	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M1121	[I*]肩関節偽痛風	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M1122	[I*]肘関節偽痛風	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	3	0.6	--	--	3	--	--
M1125	[I]股関節偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M1126	[I*]膝関節偽痛風	計	6	0.7	--	--	6	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	5	1.0	--	--	5	--	--
M1127	[I]足関節偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M1128	[I]頸椎偽痛風	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
M169	[M]股関節症、詳細不 明	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不 明	計	23	2.6	--	--	23	--	--
		男	5	1.3	--	--	5	--	--
		女	18	3.6	--	--	18	--	--
M1991	[I]変形性肩関節症	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M1992	[I]変形性肘関節症	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
M220	[M]膝蓋骨の反復性脱 臼	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M318	[M]その他の明示され たえ<壊>死性血管障 害	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
M351	[M]その他の重複症候 群	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M4786	[I*]変形性腰椎症	計	3	0.3	1	--	1	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	1	--	1	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	7	0.8	--	--	7	--	--
		男	4	1.0	--	--	4	--	--
		女	3	0.6	--	--	3	--	--
M512	[M]その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	3	0.8	--	--	3	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M5456	[I*]腰痛症	計	3	0.3	1	2	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	2	0.4	1	1	--	--	--
M6504	[I]中指化膿性腱鞘炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M6509	[I]化膿性腱鞘炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M6534	[I]小指ばね指	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M6596	[I]膝関節滑膜炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M6597	[I]足部屈筋腱腱鞘炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M6599	[I]滑膜炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M674	[M]ガングリオン	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M7022	[I]肘頭滑液包炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M7065	[I]大転子部滑液包炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M7260	[I]上肢壊死性筋膜炎	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M7685	[I]股関節周囲炎	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
M8418	[I]腰椎偽関節	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8432	[I]肘頭疲労骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8785	[I]大腿骨頭壊死	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
M879	[M]骨えく壊>死、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8795	[I]大腿骨壊死	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8985	[I]一過性大腿骨頭萎縮症	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N049	[M]詳細不明【ネフローゼ症候群】	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	5	0.6	2	--	--	--	3
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	4	0.8	2	--	--	--	2
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	5	0.6	4	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	4	--	--	--	1
N151	[M]腎膿瘍及び腎周囲膿瘍	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	3	0.8	1	--	--	--	2
		女	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎不全、詳細不明	計	6	0.7	5	--	--	--	1
		男	4	1.0	3	--	--	--	1
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N201	[M]尿管結石	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	12	1.3	8	2	--	--	2
		男	4	1.0	1	2	--	--	1
		女	8	1.6	7	--	--	--	1
N40	[M]前立腺肥大(症)	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N419	[M]前立腺の炎症性疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N459	[M]膿瘍を伴わない精巣<睾丸>炎、精巣上体<副睾丸>炎及び精	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
Q668	[M]足のその他の先天(性)変形	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
R001	[M]徐脈、詳細不明【心拍の異常】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R02	[M]えく壊>疽、他に分類されないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R060	[M]呼吸困難	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
R072	[M]前胸部痛	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
R090	[M]窒息	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
R100	[M]急性腹症	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R13	[M]えん<嚥>下障害	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.3	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
R18	[M]腹水	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R190	[M]腹腔内及び骨盤内腫脹、腫瘤及び塊	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
R195	[M]その他の異常便	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
R198	[M]消化器系及び腹部に関するその他の明示された症状及び徴候	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R258	[M]その他及び詳細不明の異常不随意運動【異常不随意運動】	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R31	[M]詳細不明の血尿	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R401	[M]昏迷	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	3	0.3	1	1	--	--	1
		男	2	0.5	--	1	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
R42	[M]めまい<眩暈>感 及びよろめき感	計	2	0.2	2	---	---	---	---
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---
R509	[M]発熱、詳細不明	計	3	0.3	2	---	---	---	1
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	2	0.4	1	---	---	---	1
R51	[M]頭痛	計	2	0.2	2	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	2	0.4	2	---	---	---	---
R54	[M]老衰	計	10	1.1	5	1	---	---	4
		男	4	1.0	3	---	---	---	1
		女	6	1.2	2	1	---	---	3
R600	[M]限局性浮腫	計	1	0.1	---	---	---	---	1
		男	1	0.3	---	---	---	---	1
		女	---	---	---	---	---	---	---
R601	[M]全身性浮腫	計	2	0.2	---	---	---	---	2
		男	2	0.5	---	---	---	---	2
		女	---	---	---	---	---	---	---
R630	[M]食欲不振	計	7	0.8	3	1	---	---	3
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	6	1.2	2	1	---	---	3
R633	[M]栄養補給の困難及 び不適當な管理	計	1	0.1	---	---	---	---	1
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	---	---	---	---	1
S010	[M]頭皮の開放創	計	1	0.1	---	1	---	---	---
		男	1	0.3	---	1	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
S099	[M]頭部の詳細不明の 損傷	計	1	0.1	---	1	---	---	---
		男	1	0.3	---	1	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
S134	[M]頸椎の捻挫及びス トレイン	計	1	0.1	---	---	1	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	---	---	1	---	---
S2200	[I*]胸椎圧迫骨折	計	6	0.7	1	---	5	---	---
		男	2	0.5	1	---	1	---	---
		女	4	0.8	---	---	4	---	---
S2230	[I*]肋骨骨折	計	6	0.7	---	2	4	---	---
		男	3	0.8	---	1	2	---	---
		女	3	0.6	---	1	2	---	---
S300	[M]下背部及び骨盤部 の挫傷【腹部、下背部 及び骨盤部の表在損	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	1	0.3	1	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
S3200	[I*]腰椎圧迫骨折	計	17	1.9	2	1	14	---	---
		男	5	1.3	---	1	4	---	---
		女	12	2.4	2	---	10	---	---
S3210	[I*]仙骨骨折	計	2	0.2	---	---	2	---	---
		男	1	0.3	---	---	1	---	---
		女	1	0.2	---	---	1	---	---
S3240	[I]寛骨臼骨折	計	1	0.1	---	---	1	---	---
		男	1	0.3	---	---	1	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---
S3250	[I*]恥骨骨折	計	2	0.2	---	---	2	---	---
		男	1	0.3	---	---	1	---	---
		女	1	0.2	---	---	1	---	---
S335	[M]腰椎の捻挫及びス トレイン	計	1	0.1	1	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	1	---	---	---	---

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
S4200	[I]鎖骨遠位端骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S4210	[I*]肩甲骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S4220	[I*]上腕骨近位端骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の 腱損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S5200	[I]肘関節脱臼骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S5220	[I]尺骨骨幹部骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S5250	[I*]橈骨遠位端骨折	計	17	1.9	--	--	17	--	--
		男	3	0.8	--	--	3	--	--
		女	14	2.8	--	--	14	--	--
S6200	[I]手舟状骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S6230	[I]中手骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S6260	[I]示指基節骨骨折	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S701	[M]大腿の挫傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S7200	[I*]大腿骨頸部骨折	計	9	1.0	--	--	9	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	9	1.8	--	--	9	--	--
S7210	[I*]大腿骨転子部骨折	計	15	1.7	--	--	15	--	--
		男	4	1.0	--	--	4	--	--
		女	11	2.2	--	--	11	--	--
S7230	[I]大腿骨骨幹部骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S7240	[I*]大腿骨遠位端骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S7290	[I*]大腿骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S800	[M]膝の挫傷	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	--	--	4	--	--
S801	[M]下腿のその他及び 部位不明の挫傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
S810	[M]膝の開放創	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S819	[M]下腿の開放創、部位不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S8200	[I*]膝蓋骨骨折	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	--	--	4	--	--
S8210	[I]脛骨腓骨近位端骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S8220	[I]脛骨骨幹部骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S8230	[I]脛骨腓骨遠位端骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S8260	[I*]足関節外果骨折	計	5	0.6	--	--	5	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	3	0.6	--	--	3	--	--
S8280	[I*]足関節骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S832	[M]半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	--	--	3	--	--
S835	[M]膝の(前)(後)十字靱帯の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S860	[M]アキレス腱損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S889	[M]下腿の外傷性切断、部位不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I]踵骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S9240	[I*]母趾基節骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S934	[M]足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T009	[M]多発性表在損傷、詳細不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
T0210	[I*]胸腰椎圧迫骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
T172	[M]咽頭内異物	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
T58	[M]一酸化炭素の毒作用	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
T634	[M]その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	7	0.8	7	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	6	1.2	6	--	--	--	--
T68	[M]低体温（症）	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T814	[M]処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T828	[M]心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植片のその他の	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
T840	[M]体内関節プロステシスの機械的合併症	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察	計	5	0.6	--	--	5	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	3	0.6	--	--	3	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	24	2.7	8	3	12	--	1
		男	10	2.6	5	1	4	--	--
		女	14	2.8	3	2	8	--	1
Z903	[M]胃の一部の後天性欠損	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
Z931	[M]胃瘻造設状態	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	4	--	--	--	--
Z933	[M]人工肛門造設状態	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
Z952	[M]人工心臓弁の存在	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
Z958	[M]その他の心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
Z988	[M]その他の明示された術後状態	計	6	0.7	2	1	3	--	--
		男	5	1.3	2	1	2	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	890	100.0	80.3	—	—	—	1	10	6	8	14	32	25	60	57	94	165	189	229
		男	389	100.0	77.5	—	—	—	1	5	2	6	12	23	12	40	26	39	66	78	79
		女	501	100.0	82.5	—	—	—	—	5	4	2	2	9	13	20	31	55	99	111	150
	構成比 (%)	計	100.0	—	—	—	—	—	0.1	1.1	0.7	0.9	1.6	3.6	2.8	6.7	6.4	10.6	18.5	21.2	25.7
		男	100.0	—	—	—	—	—	0.3	1.3	0.5	1.5	3.1	5.9	3.1	10.3	6.7	10.0	17.0	20.1	20.3
		女	100.0	—	—	—	—	—	—	1.0	0.8	0.4	0.4	1.8	2.6	4.0	6.2	11.0	19.8	22.2	29.9
A047	[M] クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	1	0.1	76.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.3	76.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
A09	[M] 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	9	1.0	71.6	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	1	1	1	3
		男	2	0.5	94.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		女	7	1.4	65.0	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	1	1	1	1
A162	[M] 肺結核、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	計	2	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
		男	2	0.5	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
A165	[M] 結核性胸膜炎、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	計	1	0.1	96.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		男	1	0.3	96.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
A310	[M] 肺非結核性抗酸菌感染症	計	1	0.1	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		男	1	0.3	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
A419	[M] 敗血症、詳細不明	計	5	0.6	88.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	3
		男	2	0.5	84.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
		女	3	0.6	90.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2
A490	[M] ブドウ球菌感染症、詳細不明	計	1	0.1	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B029	[M] 帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
B182	[M] 慢性C型肝炎	計	1	0.1	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		男	1	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B259	[M] サイトメガロウイルス病、詳細不明	計	1	0.1	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
B270	[M] ガンマヘルペスウイルス（性）単核症	計	1	0.1	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B49	[M] 詳細不明の真菌症	計	1	0.1	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		男	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C159	[M] 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	1	0.1	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C169	[M] 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	4	0.4	83.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	2
		男	2	0.5	81.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
		女	2	0.4	85.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
C182	[M] 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		男	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C187	[M] S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	67.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
		男	1	0.3	55.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
C189	[M] 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	80.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	2	0.4	80.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
C20	[M] 直腸の悪性新生物	計	2	0.2	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—
		男	1	0.3	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
C220	[M] 肝臓【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	3	0.3	85.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—
		男	2	0.5	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
		女	1	0.2	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
C240	[M] 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.1	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C241	[M] フェーテル乳頭嚢大部【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.1	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		男	1	0.3	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C251	[M] 膵体部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
C310	[M] 上顎洞【副鼻腔の悪性新生物】	計	1	0.1	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
C349	[M] 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	9	1.0	85.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	3	4
		男	4	1.0																	

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
D509	[M]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	91.0 — 91.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1
D649	[M]貧血、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.1 0.3	79.0 79.0 79.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —	—
E10	[M]インスリン依存性糖尿病<IDD M>	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	82.0 — 82.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	—
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計 男 女	4 4 4	0.4 0.4 1.0	60.0 60.0 60.0	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	— — —	— — —	— — —	1 — —	—
E145	[M]末梢循環合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	83.0 — 83.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	—
E146	[M]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	83.0 — 83.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	—
E512	[M]ウェルニッケ脳症<エンセファロパチ>	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	91.0 — 91.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1
E86	[M]体液量減少(症)	計 男 女	10 1 9	1.1 0.3 1.8	86.1 58.0 89.2	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	1 — —	1 — —	2 — 2	5
F019	[M]血管性認知症、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	86.0 86.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	—
F03	[M]詳細不明の認知症	計 男 女	6 1 5	0.7 0.3 1.0	79.7 90.0 77.6	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	4 — 4	— — —	1 — 1	1
F100	[M]急性中毒【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	39.0 39.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	—
F102	[M]依存症候群【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	63.0 63.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	—
F192	[M]依存症候群【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害】	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	69.0 69.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	—
F329	[M]うつ病エピソード、詳細不明	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	81.0 — 81.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	—
F411	[M]全般性不安障害	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	85.0 — 85.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	—
F453	[M]身体表現性自律神経機能不全	計 男 女	2 — 2	0.2 — 0.4	88.0 — 88.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — 2	—
G20	[M]パーキンソン病	計 男 女	2 — 2	0.2 — 0.4	78.0 — 78.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 — 2	— — —	— — —	—
G309	[M]アルツハイマー病、詳細不明	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	90.0 — 90.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	92.0 — 92.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1
G408	[M]その他のてんかん	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	46.0 46.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	—
G409	[M]てんかん、詳細不明	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	88.3 86.0 89.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	1 — —	1
G439	[M]片頭痛、詳細不明	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	87.0 — 87.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	—
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	87.0 87.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	—
G473	[M]睡眠時無呼吸	計 男 女	3 2 1	0.3 0.5 0.2	72.7 78.5 61.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	1 — —	1 — —	— — —	—
G560	[M]手根管症候群	計 男 女	5 5 —	0.6 1.0 —	78.6 78.6 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	— — —	2 — —	1 — —	—
G562	[M]尺骨神経の病変	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	85.0 87.0 83.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	1 — —	—
G629	[M]多発(性)ニューロパチ<シ>、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	68.0 68.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	—
G64	[M]末梢神経系のその他の障害	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	77.0 — 77.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —	—
G825	[M]四肢麻痺、詳細不明【対麻痺及び四肢麻痺】	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	67.0 67.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	—
G908	[M]自律神経系のその他の障害	計 男 女	2 — 2	0.2 — 0.4	88.5 — 88.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — 2	—
G919	[M]水頭症、詳細不明	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	95.0 95.0 95.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2
G959	[M]脊髄疾患、詳細不明	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	64.0 — 64.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	—
H169	[M]角膜炎、詳細不明	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	79.0 — 79.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —	—
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計 男 女	52 24 28	5.8 6.2 5.6	77.5 77.6 77.3	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 — 2	7 4 3	8 4 4	15 7 8	10 3 7	8 5 3	2
H813	[M]その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	71.0 — 71.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —	— — —	—
I089	[M]連合弁膜症、詳細不明	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.3	86.0 — 86.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	—
I110	[M]本悪性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	84.0 74.0 94.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —	— — —	1
I209	[M]狭心症、詳細不明	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	87.7 85.0 89.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 — 1	1

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
I442	[M]房室ブロック、完全	計 男 女	1 — —	0.1 — —	100.0 — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —
I48	[M]心房細動及び粗動	計 男 女	3 2 1	0.3 0.5 0.2	88.0 91.5 81.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	2 2 —
I493	[M]心室性早期脱分極	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	82.0 82.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
I495	[M]洞不全症候群	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	88.0 88.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I500	[M]うっ血性心不全	計 男 女	4 2 2	0.4 0.5 0.4	86.0 85.5 86.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	2 — 2	1 1 —
I509	[M]心不全、詳細不明	計 男 女	32 13 19	3.6 3.3 3.8	89.2 86.8 90.8	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 1 1	6 4 2	6 3 3	18 5 13
I518	[M]その他の診断名不明確な心疾患	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	85.0 85.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	90.0 90.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I614	[M]小脳の脳内出血	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	77.0 77.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —
I619	[M]脳内出血、詳細不明	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	89.7 88.0 90.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	1 — —	1 — 1
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	84.0 84.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	58.5 58.5 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —
I634	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	86.0 86.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	89.0 89.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
I638	[M]その他の脳梗塞	計 男 女	3 2 1	0.3 0.5 0.2	93.3 93.5 93.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	3 2 1
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計 男 女	14 6 8	1.6 1.5 1.6	85.2 86.7 84.1	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	1 — 1	4 — 4	5 3 2	3 2 1
I690	[M]くも膜下出血の続発・後遺症	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	91.0 91.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	86.0 86.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I702	[M](四)肢の動脈のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	97.0 97.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I709	[M]全身性及び詳細不明のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	86.0 86.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I714	[M]腹部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	81.0 81.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
I716	[M]胸腹部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	86.0 86.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I80.2	[I]深在静脈血栓症	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	92.0 92.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I831	[M]炎症を伴う下肢の静脈瘤	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	89.0 89.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
I951	[M]起立性低血圧(症)	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	81.0 81.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	78.0 78.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —
J111	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	計 男 女	4 2 2	0.4 0.5 0.4	81.5 71.5 91.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	1 — 1
J13	[M]肺炎レンサ球菌による肺炎	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	66.0 66.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
J152	[M]ブドウ球菌による肺炎	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	79.0 79.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計 男 女	5 1 4	0.6 0.3 0.8	75.0 84.0 72.8	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 2	2 — 1
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	80.0 80.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
J189	[M]肺炎、詳細不明	計 男 女	50 27 23	5.6 6.9 4.6	85.8 82.9 89.2	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	1 1 —	2 2 —	— — —	4 2 2	2 2 —	10 7 3	8 4 4	22 8 14
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計 男 女	7 2 5	0.8 0.5 1.0	88.0 85.0 89.2	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	2 — 1	— — —	4 1 3
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	86.0 86.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
J42	[M]詳細不明の慢性気管支炎	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	86.0 86.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	88.0 88.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計 男 女	4 4 —	0.4 1.0 —	85.3 85.3 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	3 3 —	— — —
J459	[M]喘息、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	89.0 89.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
J46	[M]喘息発作重積状態	計 男 女	1 — —	0.1 — —	82.0 — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計 男 女	55 25 30	6.2 6.4 6.0	88.6 85.3 91.4	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	1 1 —	4 4 2	4 2 2	16 9 7	29 8 21
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	92.0 92.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計 男 女	3 3 —	0.3 0.8 —	90.3 90.3 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	2 2 —
J931	[M]その他の自然気胸	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	99.0 99.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
J960	[M]急性呼吸不全	計 男 女	2 2 —	0.2 0.4 —	95.0 95.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —
J969	[M]呼吸不全、詳細不明	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	93.0 93.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —
K254	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	58.0 58.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	90.0 90.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
K295	[M]慢性胃炎、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	39.0 39.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
K318	[M]胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	90.0 90.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
K359	[M]急性虫垂炎、詳細不明	計 男 女	3 3 —	0.3 0.8 —	53.0 53.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい<肛径>ヘルニア、閉塞又はえく<瘻>を伴わないもの	計 男 女	6 4 2	0.7 1.0 0.4	79.8 78.8 82.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	— — —	3 1 2	1 1 —	— — —
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞又はえく<瘻>を伴わないもの	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	90.0 90.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
K550	[M]腸の急性血行障害	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	68.0 68.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計 男 女	2 2 —	0.2 0.4 —	77.5 77.5 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
K562	[M]軸捻（転）	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	82.5 82.5 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	83.0 83.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —
K567	[M]イレウス、詳細不明	計 男 女	14 7 7	1.6 1.8 1.4	83.5 78.0 89.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	1 1 —	— — —	4 3 1	4 1 3	3 — 3
K589	[M]下痢を伴わない過敏性腸症候群	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	74.0 74.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —
K624	[M]肛門及び直腸の狭窄	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	80.0 80.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計 男 女	6 4 2	0.7 1.0 0.4	76.5 74.0 81.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	1 1 —	1 1 —	— — —	2 1 1	— — —
K658	[M]その他の腹膜炎	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	58.0 58.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
K700	[M]アルコール性脂肪肝	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	73.0 73.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	58.0 58.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
K720	[M]急性及び亜急性肝不全	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	87.3 85.0 88.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 1 1	1 — 1
K729	[M]肝不全、詳細不明	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	79.0 79.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —
K746	[M]その他及び詳細不明の肝硬変	計 男 女	2 2 —	0.2 0.4 —	76.5 76.5 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
K767	[M]肝腎症候群	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	93.0 93.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
K801	[M]その他の胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計 男 女	2 2 —	0.2 0.4 —	77.5 77.5 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	1 1 —	— — —	— — —
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計 男 女	3 3 —	0.3 0.8 —	56.3 56.3 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計 男 女	1 1 —	0.1 0.2 —	87.0 87.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
K805	[M]胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	92.5 95.0 90.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 1 1
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計 男 女	6 4 2	0.7 1.0 0.4	76.5 71.5 86.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	2 2 —	1 — 1
K819	[M]胆のう<嚢>炎、詳細不明	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	70.5 70.5 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —
K830	[M]胆管炎	計 男 女	4 2 2	0.4 0.5 0.4	77.5 79.0 76.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	2 2 —	— — —	1 — —
K85	[M]急性膵炎	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	81.0 80.0 82.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 1 —	— — —
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計 男 女	6 1 5	0.7 0.3 1.0	88.0 80.0 89.6	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 1 2	2 — 2

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
L022	[M]体幹の皮膚膿瘍、せつくフルンケル>及びよくカルブンケル>	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	98.0 98.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計 男 女	9 7 2	1.0 1.8 0.4	78.2 76.3 85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	2 2	-	-	-	1 1	4 3	1 1
L84	[M]うおのめく鶏眼>及びべんち<胼胝>	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	76.0 76.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	80.0 80.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-
M0097	[I]化膿性関節炎・趾関節	計 男 女	1 1 -	0.1 0.1 -	95.0 95.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
M0690	[I]関節リウマチ	計 男 女	1 1 -	0.2 0.1 -	71.0 71.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-
M1121	[I*]肩関節偽痛風	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.3	80.5 82.0 79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	1 1	-	-
M1122	[I*]肘関節偽痛風	計 男 女	4 1 3	0.4 0.3 0.6	86.8 87.0 86.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	2 1	1
M1125	[I]股関節偽痛風	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	80.0 80.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-
M1126	[I*]膝関節偽痛風	計 男 女	6 1 5	0.7 0.3 1.0	81.5 85.0 80.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	1 1	3 3	1 1	-
M1127	[I]足関節偽痛風	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	95.0 95.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
M1128	[I]頸椎偽痛風	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	80.0 80.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-
M169	[M]股関節症、詳細不明	計 男 女	4 2 2	0.4 0.5 0.4	73.8 76.5 71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	1 1	2 1	-	-	-
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計 男 女	23 5 18	2.6 1.3 3.6	78.3 80.8 77.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	3 3	7 6	11 7	1 1	-
M1991	[I]変形性肩関節症	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	81.0 81.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-
M1992	[I]変形性肘関節症	計 男 女	1 1 -	0.1 0.1 -	83.0 83.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-
M220	[M]膝蓋骨の反復性脱臼	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	15.0 15.0 -	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M318	[M]その他の明示されたえく壊>死性血管障害	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	86.0 86.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-
M351	[M]その他の重複症候群	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	68.0 68.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	74.0 74.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-
M4786	[I*]変形性腰椎症	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	88.7 91.0 87.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	2
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計 男 女	7 4 3	0.8 1.0 0.6	73.6 73.5 73.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 1	-	1 1	2 1	2 1	-	-
M512	[M]その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計 男 女	4 3 1	0.4 0.8 0.2	40.0 45.0 25.0	-	-	-	-	-	-	1 1	2 2	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-
M5456	[I*]腰痛症	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	78.7 93.0 71.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	1 1	-	1
M6504	[I]中指化膿性腱鞘炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	67.0 67.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-
M6509	[I]化膿性腱鞘炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	84.0 84.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-
M6534	[I]小指ばね指	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	88.0 88.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-
M6596	[I]膝関節滑膜炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	15.0 15.0 -	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M6597	[I]足部屈筋腱鞘炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	86.0 86.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-
M6599	[I]滑膜炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	17.0 17.0 -	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M674	[M]ガングリオン	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	54.0 54.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-
M7022	[I]肘頭滑液包炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	38.0 38.0 -	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M7065	[I]大転子部滑液包炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	87.0 87.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-
M7260	[I]上肢壊死性筋膜炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	74.0 74.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-
M7685	[I]股関節周囲炎	計 男 女	1 1 -	0.1 0.2 -	79.0 79.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-
M8418	[I]腰椎偽関節	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	84.0 84.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-
M8432	[I]肘頭疲労骨折	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	17.0 17.0 -	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M8785	[I]大腿骨頭壊死	計 男 女	1 1 -	0.1 0.3 -	56.0 56.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1	-	-	-	-	-	-	-

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
M879	[M]骨えくぼ>死、詳細不明	計 男 女	1 1 0.1 0.3	93.0 93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
M8795	[I]大腿骨壊死	計 男 女	1 1 0.1 0.3	47.0 47.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
M8985	[I]一過性大腿骨頭萎縮症	計 男 女	1 1 0.1 0.3	52.0 52.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計 男 女	2 2 0.2 0.5	14.5 14.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N049	[M]詳細不明【ネフローゼ症候群】	計 男 女	2 1 0.2 0.3	78.5 74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
N10	[M]急性尿管間質性腎炎	計 男 女	5 1 0.6 0.3	84.6 91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
N12	[M]尿管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計 男 女	5 5 0.6 1.0	65.6 65.6	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	1
N151	[M]腎臓痛及び腎周囲臓痛	計 男 女	1 1 0.1 0.2	88.0 88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計 男 女	3 3 0.3 0.8	87.3 87.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
N189	[M]慢性腎不全、詳細不明	計 男 女	6 4 0.7 1.0	84.5 83.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	3	1
N19	[M]詳細不明の腎不全	計 男 女	2 2 0.2 0.5	86.0 86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
N201	[M]尿管結石	計 男 女	1 1 0.1 0.3	92.0 92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
N209	[M]尿管結石、詳細不明	計 男 女	1 1 0.1 0.3	68.0 68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計 男 女	1 1 0.1 0.2	95.0 95.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計 男 女	1 1 0.1 0.2	92.0 92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計 男 女	12 4 1.3 1.0	83.9 74.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	—	4	5
N40	[M]前立腺肥大(症)	計 男 女	1 1 0.1 0.3	91.0 91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
N419	[M]前立腺の炎症性疾患、詳細不明	計 男 女	1 1 0.1 0.3	69.0 69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
N459	[M]膿瘍を伴わない精巣<睾丸>炎、精巣上体<副精管>炎及び精巣上体精巣<副精管>炎	計 男 女	1 1 0.1 0.3	69.0 69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
Q668	[M]足のその他の先天(性)変形	計 男 女	1 1 0.1 0.2	17.0 17.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R001	[M]徐脈、詳細不明【心拍の異常】	計 男 女	1 1 0.1 0.3	83.0 83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
R02	[M]えくぼ>疔、他に分類されないもの	計 男 女	1 1 0.1 0.3	93.0 93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
R060	[M]呼吸困難	計 男 女	2 2 0.2 0.4	75.0 75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
R072	[M]前胸部痛	計 男 女	1 1 0.1 0.2	67.0 67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
R090	[M]窒息	計 男 女	3 1 0.3 0.4	89.0 89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
R100	[M]急性腹症	計 男 女	2 1 0.2 0.3	37.5 16.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
R11	[M]悪心及び嘔吐	計 男 女	2 2 0.2 0.5	64.5 64.5	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
R13	[M]えんく嚙>下障害	計 男 女	1 1 0.1 0.3	72.0 72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
R18	[M]腹水	計 男 女	1 1 0.1 0.2	97.0 97.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
R190	[M]腹腔内及び骨盤内腫脹、腫瘤及び塊	計 男 女	1 1 0.1 0.2	73.0 73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
R195	[M]その他の異常便	計 男 女	2 2 0.2 0.4	79.0 79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
R198	[M]消化器系及び腹部に関するその他の明示された症状及び徴候	計 男 女	1 1 0.1 0.2	75.0 75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
R258	[M]その他及び詳細不明の異常不随意運動【異常不随意運動】	計 男 女	2 2 0.2 0.4	86.0 86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計 男 女	3 2 0.3 0.5	84.7 86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—
R31	[M]詳細不明の血尿	計 男 女	1 1 0.1 0.2	86.0 86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
R33	[M]尿閉	計 男 女	1 1 0.1 0.3	69.0 69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
R401	[M]昏迷	計 男 女	1 1 0.1 0.3	80.0 80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
R402	[M]昏睡、詳細不明	計 男 女	3 2 0.3 0.5	78.7 75.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
R42	[M]めまい・眩暈・感及びよろめき感	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	76.0 85.0 67.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
R509	[M]発熱、詳細不明	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	90.0 96.0 87.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 1 2	1 — —
R51	[M]頭痛	計 男 女	2 — 2	0.2 — 0.4	83.0 — 83.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — 1	1 — —	— — —	1 — 1	— — —
R54	[M]老衰	計 男 女	10 4 6	1.1 1.0 1.2	92.2 89.3 94.2	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	2 1 1	7 2 5
R600	[M]限局性浮腫	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	93.0 93.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
R601	[M]全身性浮腫	計 男 女	2 2 —	0.2 0.5 —	93.0 93.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —
R630	[M]食欲不振	計 男 女	7 1 6	0.8 0.3 1.2	86.9 90.0 86.3	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	3 — 3	1 — 1	3 — 2
R633	[M]栄養補給の困難及び不適当な管理	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	99.0 — 99.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1
S010	[M]頭皮の開放創	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	90.0 90.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —
S099	[M]頭部の詳細不明の損傷	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	87.0 87.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
S134	[M]頸椎の捻挫及び 스트레인	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	56.0 — 56.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
S2200	[I*]胸椎圧迫骨折	計 男 女	6 2 4	0.7 0.5 0.8	89.0 79.0 94.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	5 1 4
S2230	[I*]肋骨骨折	計 男 女	6 3 3	0.7 0.8 0.6	80.0 74.7 85.3	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	— — —	1 1 —	1 — 1	3 1 2	— — —
S300	[M]下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	76.0 76.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —
S3200	[I*]腰椎圧迫骨折	計 男 女	17 5 12	1.9 1.3 2.4	83.6 78.2 85.8	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —	1 — 1	2 1 1	4 — 4	3 1 2	5 1 4
S3210	[I*]仙骨骨折	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	89.0 84.0 94.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — —	— — —	1 — 1
S3240	[I]寛骨臼骨折	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	57.0 57.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
S3250	[I*]恥骨骨折	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	87.0 95.0 79.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	1 1 —
S335	[M]腰椎の捻挫及び 스트레인	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	65.0 — 65.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
S4200	[I]鎖骨遠位端骨折	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	70.0 — 70.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —	— — —
S4210	[I*]肩甲骨骨折	計 男 女	2 1 1	0.2 0.3 0.2	83.0 80.0 86.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	1 — 1	— — —
S4220	[I*]上腕骨近位端骨折	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	53.0 39.0 60.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 1	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1
S430	[M]肩関節脱臼	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	85.0 85.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の腱損傷	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	73.0 — 73.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —	— — —
S5200	[I]肘関節脱臼骨折	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	78.0 — 78.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —
S5220	[I]尺骨骨幹部骨折	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	87.0 87.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
S5250	[I*]橈骨遠位端骨折	計 男 女	17 3 14	1.9 0.8 2.8	72.3 58.3 75.3	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	1 — 1	1 — 1	5 2 3	2 — 2	1 — 1	2 — 2	4 — 4	— — —
S6200	[I]手舟状骨骨折	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	30.0 30.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
S6230	[I]中手骨骨折	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	63.0 — 63.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — 1	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
S6260	[I]示指基節骨骨折	計 男 女	1 1 —	0.1 0.3 —	85.0 85.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 —	— — —
S701	[M]大腿の挫傷	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	83.0 — 83.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
S7200	[I*]大腿骨頸部骨折	計 男 女	9 — 9	1.0 — 1.8	83.3 — 83.3	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	2 — 2	2 — 2	1 — 1	3 — 3
S7210	[I*]大腿骨転子部骨折	計 男 女	15 4 11	1.7 1.0 2.2	86.7 80.5 88.9	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 1 1	1 — 1	— — —	4 — 4	3 — 2	6 1 5
S7230	[I]大腿骨骨幹部骨折	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	95.0 — 95.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1
S7240	[I*]大腿骨遠位端骨折	計 男 女	3 1 2	0.3 0.3 0.4	83.0 77.0 86.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	2 — 2	— — —
S7290	[I*]大腿骨骨折	計 男 女	2 2 —	0.2 0.4 —	96.0 96.0 —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 2 —
S800	[M]膝の挫傷	計 男 女	4 — 4	0.4 — 0.8	85.5 — 85.5	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	2 — 2	1 — 1	1 — 1
S801	[M]下腿のその他及び部位不明の挫傷	計 男 女	1 — 1	0.1 — 0.2	74.0 — 74.0	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	1 — 1	— — —	— — —	— — —	— — —

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
S810	[M]膝の開放創	計	1	0.1	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
S819	[M]下腿の開放創、部位不明	計	1	0.1	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8200	[I*]膝蓋骨骨折	計	4	0.4	65.3	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	1	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	4	0.8	65.3	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	1	—	—
S8210	[I]脛骨腓骨近位端骨折	計	1	0.1	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S8220	[I]脛骨骨幹部骨折	計	1	0.1	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S8230	[I]脛骨腓骨遠位端骨折	計	1	0.1	46.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	46.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8260	[I*]足関節外果骨折	計	5	0.6	73.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	—	1	—
		男	2	0.5	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—
		女	3	0.6	74.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—
S8280	[I*]足関節骨折	計	2	0.2	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	60.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S832	[M]半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	3	0.3	57.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	3	0.6	57.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—
S835	[M]膝の(前)(後)十字靱帯の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	40.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	40.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S860	[M]アキレス腱損傷	計	1	0.1	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S889	[M]下腿の外傷性切断、部位不明	計	1	0.1	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		男	1	0.3	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S9200	[I]踵骨骨折	計	1	0.1	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S9240	[I*]母趾基節骨骨折	計	2	0.2	60.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	57.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
S934	[M]足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T009	[M]多発性表皮損傷、詳細不明	計	1	0.1	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.2	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T0210	[I*]胸腰椎圧迫骨折	計	2	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	2	0.4	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
T172	[M]咽頭内異物	計	1	0.1	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
T58	[M]一酸化炭素の毒作用	計	1	0.1	66.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	66.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
T634	[M]その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	7	0.8	80.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2	3	1
		男	1	0.3	46.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	6	1.2	85.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	1
T68	[M]低体温（症）	計	2	0.2	83.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
		男	2	0.5	83.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	1	0.1	49.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	49.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T814	[M]処置に誘発する感染症、他に分類されないもの	計	2	0.2	75.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—
		男	2	0.5	75.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T828	[M]心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	2	0.2	81.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
		男	2	0.5	81.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T840	[M]体内関節プロステシスの機械的合併症	計	1	0.1	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定																					

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
	総数	計	890	100.0	30,844	34.7	204	147	174	90	172	56	31	12	3	1
		男女	389	100.0	15,228	39.1	92	62	76	40	73	23	15	6	1	1
	構成比 (%)	計	501	100.0	15,616	31.2	112	85	98	50	99	33	16	6	2	---
		男女	100.0	---	---	---	22.9	16.5	19.6	10.1	19.3	6.3	3.5	1.3	0.3	0.1
		計	100.0	---	---	---	23.7	15.9	19.5	10.3	18.8	5.9	3.9	1.5	0.3	0.3
		男女	100.0	---	---	---	22.4	17.0	19.6	10.0	19.8	6.6	3.2	1.2	0.4	---
A047	[M] クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	1	0.1	18	18.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	18	18.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
A09	[M] 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	9	1.0	93	10.3	5	2	2	---	---	---	---	---	---	---
		男女	2	0.5	42	21.0	---	---	2	---	---	---	---	---	---	---
A162	[M] 肺結核、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	計	7	1.4	51	7.3	5	2	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	2	0.2	50	25.0	---	1	---	---	1	---	---	---	---	---
A165	[M] 結核性胸膜炎、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	計	2	0.5	50	25.0	---	1	---	---	1	---	---	---	---	---
		男女	2	0.5	50	25.0	---	1	---	---	1	---	---	---	---	---
A310	[M] 肺非結核性抗酸菌感染症	計	1	0.1	60	60.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	60	60.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
A419	[M] 敗血症、詳細不明	計	1	0.1	23	23.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	23	23.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
A490	[M] ブドウ球菌感染症、詳細不明	計	5	0.6	140	28.0	1	---	1	1	2	---	---	---	---	---
		男女	2	0.5	69	34.5	---	---	1	---	1	---	---	---	---	---
B029	[M] 帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	3	0.6	71	23.7	1	---	---	1	1	---	---	---	---	---
		男女	1	0.1	35	35.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
B182	[M] 慢性C型肝炎	計	1	0.3	35	35.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	35	35.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
B259	[M] サイトメガロウイルス病、詳細不明	計	1	0.1	10	10.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.2	10	10.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
B270	[M] ガンマヘルペスウイルス（性）単核症	計	1	0.1	91	91.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
		男女	1	0.3	91	91.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
B49	[M] 詳細不明の真菌症	計	1	0.1	29	29.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.2	29	29.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
C159	[M] 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	1	0.1	24	24.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	24	24.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
C169	[M] 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	1	0.1	11	11.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	11	11.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
C182	[M] 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	4	0.4	300	75.0	---	1	---	---	---	2	1	---	---	---
		男女	2	0.5	76	38.0	---	1	---	---	---	1	---	---	---	---
C187	[M] S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.4	224	112.0	---	---	---	---	---	1	1	---	---	---
		男女	1	0.1	54	54.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
C189	[M] 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	1	0.3	54	54.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	54	54.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
C20	[M] 直腸の悪性新生物	計	2	0.2	69	34.5	---	---	1	---	1	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	47	47.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
C220	[M] 肝臓【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	1	0.2	22	22.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男女	2	0.2	4	2.0	2	---	---	---	---	---	---	---	---	---
C240	[M] 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	2	0.4	4	2.0	2	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	2	0.4	4	2.0	2	---	---	---	---	---	---	---	---	---
C241	[M] ファーテル乳頭膨大部【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	2	0.2	162	81.0	---	---	---	---	---	1	1	---	---	---
		男女	1	0.3	70	70.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
C251	[M] 膵体部【膵の悪性新生物】	計	1	0.2	92	92.0	---	---	---	---	---	---	1	---	---	---
		男女	3	0.3	168	56.0	---	---	2	---	---	---	1	---	---	---
C310	[M] 上顎洞【副鼻腔の悪性新生物】	計	2	0.5	35	17.5	---	---	2	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.2	133	133.0	---	---	---	---	---	---	1	---	---	---
C349	[M] 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	1	0.1	20	20.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	20	20.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
C56	[M] 卵巣の悪性新生物	計	1	0.1	75	75.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
		男女	1	0.3	75	75.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
C61	[M] 前立腺の悪性新生物	計	1	0.1	19	19.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.2	19	19.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
C770	[M] 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	1	0.1	75	75.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
		男女	1	0.3	75	75.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
C780	[M] 肺の続発性悪性新生物	計	1	0.1	13	13.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.2	13	13.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
C786	[M] 後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物	計	1	0.1	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
C80	[M] 部位の明示されない悪性新生物	計	1	0.1	12	12.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	12	12.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
D135	[M] 肝外胆管【消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物】	計	1	0.1	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男女	1	0.3	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
D150	[M]胸腺【その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物】	計	1	0.1	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
D171	[M]体幹の皮膚及び皮下組織【良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)】	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D391	[M]卵巣【女性生殖系の性不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D413	[M]尿道【泌尿系の性不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D481	[M]結合組織及びその他の軟部組織【その他及び部位不明の性不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D509	[M]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D649	[M]貧血、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E10	[M]インスリン依存性糖尿病< I D D M >	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	4	0.4	95	23.8	--	1	1	1	1	--	--	--	--	--
		男女	4	1.0	95	23.8	--	1	1	1	1	--	--	--	--	--
E145	[M]末梢循環合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E146	[M]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	40	40.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	40	40.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E512	[M]ウェルニッケ脳症< エンセファロパチ< シ> >	計	1	0.1	467	467.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男女	1	0.2	467	467.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
E86	[M]体液量減少(症)	計	10	1.1	338	33.8	5	--	2	--	1	--	2	--	--	--
		男女	9	1.8	330	36.7	4	--	2	--	1	--	2	--	--	--
F019	[M]血管性認知症、詳細不明	計	1	0.1	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	6	0.7	138	23.0	3	1	--	--	1	1	--	--	--	--
		男女	5	1.0	130	26.0	2	1	--	--	1	1	--	--	--	--
F100	[M]急性中毒【アルコール使用< 飲酒>による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用< 飲酒>による精神及び行動の障害】	計	2	0.2	39	19.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	39	19.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
F192	[M]依存症候群【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F329	[M]うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
F411	[M]全般性不安障害	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F453	[M]身体表現性自律神経機能不全	計	2	0.2	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.4	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G20	[M]パーキンソン病	計	2	0.2	180	90.0	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--
		男女	2	0.4	180	90.0	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー病、詳細不明	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計	1	0.1	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G408	[M]その他のてんかん	計	2	0.2	10	5.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	10	5.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	3	0.3	70	23.3	2	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	2	0.4	62	31.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G439	[M]片頭痛、詳細不明	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	3	0.3	6	2.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G560	[M]手根管症候群	計	5	0.6	48	9.6	3	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	5	1.0	48	9.6	3	1	1	--	--	--	--	--	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	2	0.2	32	16.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G629	[M]多発(性)ニューロパチ< シ>一、詳細不明	計	1	0.1	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.3	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G64	[M]末梢神経系のその他の障害	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
G825	[M]四肢麻痺、詳細不明【対麻痺及び四肢麻痺】	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G908	[M]自律神経系のその他の障害	計	2	0.2	12	6.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	12	6.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
G919	[M]水頭症、詳細不明	計	2	0.2	111	55.5	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	81	81.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
G959	[M]脊髄疾患、詳細不明	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
H169	[M]角膜炎、詳細不明	計	1	0.1	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	52	5.8	770	14.8	4	9	38	1	--	--	--	--	--
		男	24	6.2	342	14.3	2	5	17	--	--	--	--	--	--
		女	28	5.6	428	15.3	2	4	21	1	--	--	--	--	--
H813	[M]その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I089	[M]連合弁膜症、詳細不明	計	1	0.1	481	481.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.3	481	481.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I110	[M]本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	2	0.2	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	3	0.3	21	7.0	2	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	20	10.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--
I442	[M]房室ブロック、完全	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I48	[M]心房細動及び粗動	計	3	0.3	120	40.0	1	1	--	--	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	112	56.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I493	[M]心室性早期脱分極	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I495	[M]洞不全症候群	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	4	0.4	204	51.0	1	--	1	--	--	1	1	--	--
		男	2	0.5	179	89.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		女	2	0.4	25	12.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--
I509	[M]心不全、詳細不明	計	32	3.6	1,388	43.4	4	4	5	7	3	2	2	--	--
		男	13	3.3	706	54.3	1	1	3	3	2	1	2	--	--
		女	19	3.8	682	35.9	3	3	2	2	5	3	1	--	--
I518	[M]その他の診断名不明確な心疾患	計	1	0.1	58	58.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	58	58.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I614	[M]小脳の脳内出血	計	1	0.1	60	60.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	60	60.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I619	[M]脳内出血、詳細不明	計	3	0.3	39	13.0	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	38	19.0	--	1	--	1	--	--	--	--	--
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	2	0.2	22	11.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	22	11.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I634	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	1	0.1	153	153.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	153	153.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I638	[M]その他の脳梗塞	計	3	0.3	3,136	1,045.3	--	--	--	--	1	--	1	--	1
		男	2	0.5	3,020	1,510.0	--	--	--	--	1	--	--	--	1
		女	1	0.2	116	116.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	14	1.6	525	37.5	5	1	1	3	1	2	--	1	--
		男	6	1.5	195	32.5	3	--	--	1	--	2	--	--	--
		女	8	1.6	330	41.3	2	1	1	2	1	--	--	1	--
I690	[M]くも膜下出血の続発・後遺症	計	1	0.1	163	163.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	163	163.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	32	32.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I702	[M](四)肢の動脈のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
I709	[M]全身性及び詳細不明のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	計	1	0.1	63	63.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	63	63.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I714	[M]腹部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
I716	[M]胸腹部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
I80.2	[I]深在静脈血栓症	計	1	0.1	90	90.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90	90.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
I831	[M]炎症を伴う下肢の静脈瘤	計	1	0.1	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I951	[M]起立性低血圧(症)	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
J111	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	計	4	0.4	21	5.3	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	10	5.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J13	[M]肺炎レンサ球菌による肺炎	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J152	[M]ブドウ球菌による肺炎	計	1	0.1	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	5	0.6	78	15.6	2	1	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	70	17.5	1	1	--	1	1	--	--	--	--	--
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	50	5.6	1,869	37.4	7	9	10	5	9	6	3	1	--	--
		男	27	6.9	1,116	41.3	3	5	3	5	4	4	3	--	--	--
		女	23	4.6	753	32.7	4	4	7	--	5	2	--	1	--	--
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	7	0.8	68	9.7	3	3	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	16	8.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	52	10.4	2	2	1	--	--	--	--	--	--	--
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J42	[M]詳細不明の慢性気管支炎	計	1	0.1	302	302.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	302	302.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	46	23.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	46	23.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.4	108	27.0	--	--	1	1	2	--	--	--	--	--
		男	4	1.0	108	27.0	--	--	1	1	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
J46	[M]喘息発作重積状態	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	55	6.2	1,967	35.8	6	9	12	7	12	5	3	1	--	--
		男	25	6.4	962	38.5	2	1	7	5	6	1	3	--	--	--
		女	30	6.0	1,005	33.5	4	8	5	2	6	4	--	1	--	--
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.1	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	3	0.3	114	38.0	--	1	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	3	0.8	114	38.0	--	1	--	--	1	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J931	[M]その他の自然気胸	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J960	[M]急性呼吸不全	計	2	0.2	46	23.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	46	23.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
J969	[M]呼吸不全、詳細不明	計	2	0.2	80	40.0	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	80	40.0	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K254	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K295	[M]慢性胃炎、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K318	[M]胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K359	[M]急性虫垂炎、詳細不明	計	3	0.3	23	7.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	23	7.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけいく巣径>ヘルニア、閉塞又はえく壊>疝を伴わないもの	計	6	0.7	70	11.7	2	3	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	1.0	37	9.3	2	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	33	16.5	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞又はえく壊>疝を伴わないもの	計	1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K550	[M]腸の急性血行障害	計	1	0.1	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	2	0.2	23	11.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	23	11.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻(転)	計	2	0.2	39	19.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	39	19.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	1	0.1	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	14	1.6	327	23.4	3	3	2	2	3	1	--	--	--	--
		男	7	1.8	189	27.0	--	1	1	2	3	--	--	--	--	--
		女	7	1.4	138	19.7	3	2	1	--	--	1	--	--	--	--
K589	[M]下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.1	79	79.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.3	79	79.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K624	[M]肛門及び直腸の狭窄	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸く結腸>のポリープ	計	6	0.7	22	3.7	6	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	1.0	17	4.3	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	5	2.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K658	[M]その他の腹膜炎	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K700	[M]アルコール性脂肪肝	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K720	[M]急性及び亜急性肝不全	計	3	0.3	50	16.7	1	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	26	13.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K746	[M]その他及び詳細不明の肝硬変	計	2	0.2	39	19.5	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	39	19.5	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
K767	[M]肝腎症候群	計	1	0.1	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
K801	[M]その他の胆のうく囊>炎を伴う 胆のうく囊>結石	計	2	0.2	53	26.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	53	26.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
K802	[M]胆のうく囊>炎を伴わない胆の うく囊>結石	計	3	0.3	30	10.0	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	30	10.0	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	164	164.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	164	164.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K805	[M]胆管炎又は胆のうく囊>炎を伴 わない胆管結石	計	2	0.2	51	25.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K810	[M]急性胆のうく囊>炎	計	6	0.7	548	91.3	2	1	2	--	--	--	--	--	1	--
		男	4	1.0	60	15.0	1	1	2	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	488	244.0	1	--	--	--	--	--	--	--	1	--
K819	[M]胆のうく囊>炎、詳細不明	計	2	0.2	23	11.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	23	11.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	4	0.4	36	9.0	1	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	25	12.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	11	5.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K85	[M]急性膵炎	計	2	0.2	36	18.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	6	0.7	130	21.7	2	--	2	1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	123	24.6	1	--	2	1	1	--	--	--	--	--
L022	[M]体幹の皮膚膿瘍、せつくフルン ケル>及びようくカルブンケル>	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	9	1.0	206	22.9	2	--	2	3	2	--	--	--	--	--
		男	7	1.8	161	23.0	2	--	1	2	2	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	45	22.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
L84	[M]うおのめ<鶏眼>及びべんち< 胼胝>	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類され ないもの	計	1	0.1	65	65.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	65	65.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
M0097	[I]化膿性関節炎・趾関節	計	1	0.1	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M0690	[I]関節リウマチ	計	1	0.1	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M1121	[I*]肩関節偽痛風	計	2	0.2	55	27.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	48	48.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1122	[I*]肘関節偽痛風	計	4	0.4	32	8.0	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	25	8.3	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M1125	[I]股関節偽痛風	計	1	0.1	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1126	[I*]膝関節偽痛風	計	6	0.7	100	16.7	1	2	1	2	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	89	17.8	1	1	1	2	--	--	--	--	--	--
M1127	[I]足関節偽痛風	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1128	[I]頸椎偽痛風	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	4	0.4	174	43.5	--	--	--	--	3	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	78	39.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	96	48.0	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
M179	[M] 膝関節症、詳細不明	計	23	2.6	792	34.4	1	1	1	4	15	1	---	---	---	---
		男	5	1.3	164	32.8	1	---	1	---	2	1	---	---	---	---
		女	18	3.6	628	34.9	---	1	---	4	13	---	---	---	---	---
M1991	[I] 変形性肩関節症	計	1	0.1	37	37.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	37	37.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
M1992	[I] 変形性肘関節症	計	1	0.1	10	10.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	10	10.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
M220	[M] 膝蓋骨の反復性脱臼	計	1	0.1	28	28.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	28	28.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
M318	[M] その他の明示されたえく壊>死 性血管障害	計	1	0.1	52	52.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	52	52.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
M351	[M] その他の重複症候群	計	1	0.1	10	10.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	10	10.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M353	[M] リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	20	20.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	20	20.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
M4786	[I*] 変形性腰椎症	計	3	0.3	109	36.3	---	---	1	---	2	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	52	52.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		女	2	0.4	57	28.5	---	---	1	---	1	---	---	---	---	---
M4806	[I*] 腰部脊柱管狭窄症	計	7	0.8	155	22.1	---	2	1	3	1	---	---	---	---	---
		男	4	1.0	90	22.5	---	1	1	1	1	---	---	---	---	---
		女	3	0.6	65	21.7	---	1	---	2	---	---	---	---	---	---
M512	[M] その他の明示された椎間板ヘル ニア<変位>	計	4	0.4	81	20.3	1	---	2	---	1	---	---	---	---	---
		男	3	0.8	44	14.7	1	---	2	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	37	37.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
M5456	[I*] 腰痛症	計	3	0.3	118	39.3	1	---	---	---	1	1	---	---	---	---
		男	1	0.3	69	69.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
		女	2	0.4	49	24.5	1	---	---	---	1	---	---	---	---	---
M6504	[I] 中指化膿性腱鞘炎	計	1	0.1	35	35.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	35	35.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M6509	[I] 化膿性腱鞘炎	計	1	0.1	28	28.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	28	28.0	---	---	---	1	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M6534	[I] 小指ばね指	計	1	0.1	11	11.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	11	11.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
M6596	[I] 膝関節滑膜炎	計	1	0.1	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
M6597	[I] 足部屈筋腱腱鞘炎	計	1	0.1	7	7.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	7	7.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M6599	[I] 滑膜炎	計	1	0.1	10	10.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	10	10.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
M674	[M] ガングリオン	計	1	0.1	3	3.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	3	3.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M7022	[I] 肘頭滑液包炎	計	1	0.1	19	19.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	19	19.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M7065	[I] 大転子部滑液包炎	計	1	0.1	18	18.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	18	18.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
M7260	[I] 上肢壊死性筋膜炎	計	1	0.1	66	66.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
		男	1	0.3	66	66.0	---	---	---	---	---	1	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M7685	[I] 股関節周囲炎	計	1	0.1	4	4.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	4	4.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M8418	[I] 腰椎偽関節	計	1	0.1	43	43.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	43	43.0	---	---	---	---	1	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M8432	[I] 肘頭疲労骨折	計	1	0.1	5	5.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	5	5.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M8785	[I] 大腿骨頭壊死	計	1	0.1	18	18.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	18	18.0	---	---	1	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M879	[M] 骨えく壊>死、詳細不明	計	1	0.1	14	14.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	14	14.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M8795	[I] 大腿骨壊死	計	1	0.1	122	122.0	---	---	---	---	---	---	1	---	---	---
		男	1	0.3	122	122.0	---	---	---	---	---	---	1	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M8985	[I] 一過性大腿骨頭萎縮症	計	1	0.1	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
M932	[M] 離断性骨軟骨炎	計	2	0.2	9	4.5	2	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	2	0.5	9	4.5	2	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
N049	[M] 詳細不明【ネフローゼ症候群】	計	2	0.2	142	71.0	1	---	---	---	---	---	1	---	---	---
		男	1	0.3	6	6.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	136	136.0	---	---	---	---	---	---	1	---	---	---
N10	[M] 急性尿管間質性腎炎	計	5	0.6	50	10.0	1	3	1	---	---	---	---	---	---	---
		男	1	0.3	1	1.0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	4	0.8	49	12.3	---	3	1	---	---	---	---	---	---	---
N12	[M] 尿管間質性腎炎、急性又は慢 性と明示されないもの	計	5	0.6	56	11.2	3	1	---	1	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	5	1.0	56	11.2	3	1	---	1	---	---	---	---	---	---
N151	[M] 腎臓瘍及び腎周囲臓瘍	計	1	0.1	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---
		男	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		女	1	0.2	9	9.0	---	1	---	---	---	---	---	---	---	---

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	3	0.3	43	14.3	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	43	14.3	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎不全、詳細不明	計	6	0.7	107	17.8	2	2	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	4	1.0	64	16.0	2	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	43	21.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	2	0.2	271	135.5	--	1	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	2	0.5	271	135.5	--	1	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N201	[M]尿管結石	計	1	0.1	41	41.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	41	41.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	12	1.3	226	18.8	4	2	3	1	2	--	--	--	--	--
		男	4	1.0	117	29.3	--	--	2	1	1	--	--	--	--	--
		女	8	1.6	109	13.6	4	2	1	--	1	--	--	--	--	--
N40	[M]前立腺肥大(症)	計	1	0.1	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N419	[M]前立腺の炎症性疾患、詳細不明	計	1	0.1	48	48.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	48	48.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N459	[M]膿瘍を伴わない精巣<睾丸>炎、精巣上体<副睾丸>炎及び精巣上体精巣<副睾丸>炎	計	1	0.1	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Q668	[M]足のその他の先天(性)変形	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R001	[M]徐脈、詳細不明【心拍の異常】	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R02	[M]えく>瘡、他に分類されないもの	計	1	0.1	360	360.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	360	360.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R060	[M]呼吸困難	計	2	0.2	65	32.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	65	32.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
R072	[M]前胸部痛	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R090	[M]窒息	計	3	0.3	33	11.0	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	19	9.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R100	[M]急性腹症	計	2	0.2	9	4.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	2	0.2	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R13	[M]えん<嚥>下障害	計	1	0.1	309	309.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	309	309.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R18	[M]腹水	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
R190	[M]腹腔内及び骨盤内腫脹、腫瘍及び塊	計	1	0.1	203	203.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	203	203.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
R195	[M]その他の異常便	計	2	0.2	3	1.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	3	1.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R198	[M]消化器系及び腹部に関するその他の明示された症状及び徴候	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R258	[M]その他及び詳細不明の異常不随意運動【異常不随意運動】	計	2	0.2	20	10.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	20	10.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	3	0.3	29	9.7	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	20	10.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R31	[M]詳細不明の血尿	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R401	[M]昏迷	計	1	0.1	180	180.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	180	180.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	3	0.3	24	8.0	2	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	21	10.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R42	[M]めまい<眩暈>感及びよろめき感	計	2	0.2	8	4.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R509	[M]発熱、詳細不明	計	3	0.3	199	66.3	1	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	183	91.5	1	--	--	--	--	--	1	--	--	--
R51	[M]頭痛	計	2	0.2	5	2.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	5	2.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
R54	[M]老衰	計	10	1.1	392	39.2	--	5	1	--	3	--	1	--	--	--
		男	4	1.0	257	64.3	--	2	--	--	1	--	1	--	--	--
		女	6	1.2	135	22.5	--	3	1	--	2	--	--	--	--	--
R600	[M]限局性浮腫	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R601	[M]全身性浮腫	計	2	0.2	37	18.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	37	18.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R630	[M]食欲不振	計	7	0.8	397	56.7	--	1	1	3	--	1	--	1	--	--
		男	1	0.3	88	88.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	6	1.2	309	51.5	--	1	1	3	--	--	--	1	--	--
R633	[M]栄養補給の困難及び不適当な管理	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S010	[M]頭皮の開放創	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S099	[M]頭部の詳細不明の損傷	計	1	0.1	252	252.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.3	252	252.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S134	[M]頸椎の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[I*]胸椎圧迫骨折	計	6	0.7	205	34.2	--	1	2	1	1	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	112	56.0	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		女	4	0.8	93	23.3	--	1	1	1	1	--	--	--	--	--
S2230	[I*]肋骨骨折	計	6	0.7	78	13.0	3	2	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	29	9.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	49	16.3	1	1	--	1	--	--	--	--	--	--
S300	[M]下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3200	[I*]腰椎圧迫骨折	計	17	1.9	484	28.5	--	3	5	3	5	1	--	--	--	--
		男	5	1.3	118	23.6	--	1	2	1	1	1	--	--	--	--
		女	12	2.4	366	30.5	--	2	3	2	4	1	--	--	--	--
S3210	[I*]仙骨骨折	計	2	0.2	41	20.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S3240	[I]寛骨臼骨折	計	1	0.1	56	56.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	56	56.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3250	[I*]恥骨骨折	計	2	0.2	68	34.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S335	[M]腰椎の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S4200	[I]鎖骨遠位端骨折	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S4210	[I*]肩甲骨骨折	計	2	0.2	88	44.0	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	65	65.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S4220	[I*]上腕骨近位端骨折	計	3	0.3	63	21.0	1	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	61	30.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の腱損傷	計	1	0.1	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S5200	[I]肘関節脱臼骨折	計	1	0.1	64	64.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	64	64.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S5220	[I]尺骨骨幹部骨折	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S5250	[I*]橈骨遠位端骨折	計	17	1.9	200	11.8	6	6	4	--	1	--	--	--	--	--
		男	3	0.8	41	13.7	1	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	14	2.8	159	11.4	5	5	3	--	1	--	--	--	--	--
S6200	[I]手舟状骨骨折	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6230	[I]中手骨骨折	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6260	[I]示指基節骨骨折	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S701	[M]大腿の挫傷	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S7200	[I*]大腿骨頸部骨折	計	9	1.0	418	46.4	--	--	2	1	2	4	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	9	1.8	418	46.4	--	--	2	1	2	4	--	--	--	--
S7210	[I*]大腿骨転子部骨折	計	15	1.7	810	54.0	--	--	--	2	9	4	--	--	--	--
		男	4	1.0	161	40.3	--	--	--	1	3	--	--	--	--	--
		女	11	2.2	649	59.0	--	--	--	1	6	4	--	--	--	--
S7230	[I]大腿骨骨幹部骨折	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S7240	[I*]大腿骨遠位端骨折	計	3	0.3	158	52.7	--	--	1	--	1	--	1	--	--	--
		男	1	0.3	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	123	61.5	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
S7290	[I*]大腿骨骨折	計	2	0.2	44	22.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	44	22.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
S800	[M]膝の挫傷	計	4	0.4	129	32.3	--	--	1	2	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S801	[M]下腿のその他及び部位不明の挫傷	計	4	0.8	129	32.3	--	--	1	2	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S810	[M]膝の開放創	計	1	0.1	9	9.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S819	[M]下腿の開放創、部位不明	計	1	0.1	8	8.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8200	[I*]膝蓋骨骨折	計	4	0.4	82	20.5	1	--	2	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8210	[I]脛骨腓骨近位端骨折	計	4	0.8	82	20.5	1	--	2	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8220	[I]脛骨骨幹部骨折	計	1	0.1	65	65.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8230	[I]脛骨腓骨遠位端骨折	計	1	0.1	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8260	[I*]足関節外果骨折	計	1	0.1	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8280	[I*]足関節骨折	計	5	0.6	176	35.2	--	--	1	1	2	1	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S832	[M]半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	2	0.2	63	31.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S835	[M]膝の(前)(後)十字靱帯の捻挫及びストレイン	計	1	0.3	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S860	[M]アキレス腱損傷	計	3	0.6	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S889	[M]下腿の外傷性切断、部位不明	計	1	0.1	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I]踵骨骨折	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9240	[I*]母趾基節骨骨折	計	1	0.2	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S934	[M]足首の捻挫及びストレイン	計	2	0.2	37	18.5	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T009	[M]多発性表在損傷、詳細不明	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T0210	[I*]胸腰椎圧迫骨折	計	1	0.1	5	5.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T172	[M]咽頭内異物	計	2	0.2	78	39.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T58	[M]一酸化炭素の毒作用	計	2	0.4	78	39.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T634	[M]その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	7	0.8	160	22.9	3	--	1	1	1	1	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T68	[M]低体温（症）	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	2	0.2	43	21.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T814	[M]処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T828	[M]心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	2	0.5	43	21.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T840	[M]体内関節プロステシスの機械的合併症	計	2	0.2	46	23.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォローアップ>ケア	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	5	0.6	56	11.2	3	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z903	[M]胃の一部の後天性欠損	計	2	0.5	35	17.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z931	[M]胃瘻造設状態	計	3	0.6	21	7.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月 -1年	1-2年	2年-
Z933	[M]人工肛門造設状態	計	2	0.2	20	10.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	20	10.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z952	[M]人工心臓弁の存在	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
Z958	[M]その他の心臓及び血管の挿入物 及び移植物の存在	計	1	0.1	9	9.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.3	9	9.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.1	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
Z988	[M]その他の明示された術後状態	計	6	0.7	183	30.5	--	1	1	1	3	--	--	--	--	--
		男	5	1.3	160	32.0	--	1	1	--	3	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	平均年齢
1	1	102	インフルエンザ及び肺炎	63	7.1	2,079	33.0	84.0
2	2	106	外的因子による肺疾患	55	6.2	1,967	35.8	88.6
3	3	079	水晶体の障害	52	5.8	770	14.8	77.5
4	4	096	その他の型の心疾患	43	4.8	1,793	41.7	88.8
5	5	204	股関節部及び大腿の損傷	31	3.5	1,455	46.9	86.1
6	6	097	脳血管疾患	29	3.3	4,177	144.0	84.9
7	6	131	関節症	29	3.3	1,013	34.9	77.9
8	6	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	29	3.3	1,093	37.7	77.6
9	9	116	腸のその他の疾患	28	3.1	553	19.8	80.5
10	10	205	膝及び下腿の損傷	27	3.0	785	29.1	69.4
11	11	191	全身症状及び徴候	26	2.9	1,068	41.1	90.2
12	12	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	24	2.7	674	28.1	82.1
13	13	119	胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	22	2.5	941	42.8	75.8
14	14	202	肘及び前腕の損傷	19	2.1	280	14.7	73.4
15	15	023	消化器の悪性新生物	18	2.0	882	49.0	78.8
16	16	130	炎症性多発性関節障害	16	1.8	236	14.8	82.7
17	16	226	家族歴、既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の 状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	16	1.8	534	33.4	78.9
18	18	149	尿路系のその他の疾患	14	1.6	283	20.2	85.3
19	19	199	胸部<郭>損傷	12	1.3	283	23.6	84.5
20	20	145	腎尿細管間質性疾患	11	1.2	115	10.5	76.3
21	20	146	腎不全	11	1.2	421	38.3	85.5

部門別統計

日野病院部門別各種統計調べ(No.1)

1、病院事業関係

(単位:件)

手術件数	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
外科	65	64	47	52	59	68	9
整形外科	110	145	102	102	95	165	70
眼科	139	122	122	111	99	90	△ 9
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0
計	314	331	271	265	253	323	70

(単位:件)

内視鏡検査	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
胃カメラ	695	674	606	641	713	735	22
胃透視	16	7	1	0	0	0	0
大腸ファイバー	132	131	106	93	120	139	19
嚥下カメラ	0	0	0	15	6	1	△ 5
気管支鏡	18	13	12	4	5	11	6
胃ろう造設術	12	14	13	14	22	13	△ 9
膀胱鏡	54	55	29	20	33	21	△ 12
ステント交換	28	25	22	18	25	9	△ 16

(単位:件)

超音波検査	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
腹部エコー	589	543	497	634	898	939	41
心エコー	246	259	281	244	104	220	116

(単位:件)

薬状局況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
服薬指導(人数)	378	388	373	324	359	406	47
服薬指導(件数)	643	660	556	518	596	716	120
訪問服薬指導	94	81	23	0	0	0	0
処方箋枚数	11,141	11,006	11,340	9,826	9,189	9,750	561
薬剤数	30,693	32,249	34,405	30,420	28,446	28,019	△ 427
注射箋枚数	14,190	14,387	12,966	13,495	13,618	13,620	2
製剤数	862	774	829	697	526	210	△ 316
I V H 本数	1,831	1,696	745	2,193	2,015	2,615	600
疑義照会	632	597	551	558	774	811	37

(単位:人)

工透析状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
実日数	259	246	205	209	228	259	31
実患者数	178	133	145	148	164	179	15
延べ患者数	1,938	1,552	1,714	1,804	1,995	2,121	126

(単位:件)

放射線状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
一般撮影	5,729	5,811	5,821	6,197	6,650	6,739	89
ポータブル撮影	803	730	707	831	900	802	△ 98
外科用イメージ撮影	45	71	55	48	51	86	35
骨塩定量	578	465	540	565	578	787	209
マンモ撮影	29	23	15	9	13	11	△ 2
造影・透視	200	191	173	136	173	110	△ 63
訪問撮影	83	77	74	64	38	19	△ 19
C T 検査	1,732	1,626	1,554	1,555	1,858	2,001	143
M R I 検査	838	644	640	563	802	1,166	364
計	10,037	9,638	9,579	9,968	11,063	11,721	658
遠隔読影	1,698	1,740	1,854	1,992	2,478	3,240	762

(単位:件)

検査実施状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
人間ドック	116	119	114	106	115	107	△ 8
人間ドック(M R I 含)	17	22	20	27	22	42	20
共済組合ドック	76	66	55	66	75	71	△ 4
脳ドック	74	58	64	66	61	65	4
生活習慣病検	128	133	122	119	123	134	11
子宮がん	36	30	29	33	30	27	△ 3
乳がん・マンモ	5	3	3	0	4	1	△ 3
骨塩	31	42	35	31	41	23	△ 18
原爆検診	8	6	10	4	3	2	△ 1
予防接種	1,542	1,609	1,778	1,993	1,767	1,760	△ 7
特定検診	9	13	12	13	9	11	2
事業所健診	29	37	26	19	33	39	6
計	2,071	2,138	2,268	2,477	2,283	2,282	△ 1

日野病院部門別各種統計調べ(No.2)

(単位:件)

栄養管理室 状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
入院時 食事療養	64,536	64,526	67,609	64,485	73,387	73,484	97
特別食加算	34,346	33,564	38,906	35,680	29,805	30,952	1,147
食堂加算	21,917	21,716	22,927	21,953	24,760	24,956	196
入院時 延べ食数	64,536	64,526	67,609	64,485	73,387	73,484	97
外来透 析数	806	884	887	888	975	867	△ 108
栄養指 導	548	532	516	526	524	548	24
訪 問 栄 養 指 導	4	1	0	2	2	0	△ 2
そ の 他 イ ベ ン ト 等 指 導	120	195	240	238	236	87	△ 149

(単位:件)

検 査 室 状 況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
生化学セ ット	8,715	8,940	8,700	9,122	10,388	10,944	556
C B C	7,844	8,353	7,878	8,233	9,232	9,711	479
凝 固 検 査	2,421	2,789	2,762	2,838	3,088	2,669	△ 419
尿 検 査	5,346	5,249	5,064	5,236	4,758	4,557	△ 201
心 電 図	1,727	1,726	1,668	1,685	1,673	1,728	55
呼 吸 機 能	562	479	382	422	447	368	△ 79
誘発筋電図	118	132	109	102	108	126	18
眼底カメ ラ	292	273	257	271	279	288	9
脳 波	19	23	24	12	12	27	15
血 圧 脈 波	58	23	120	116	268	197	△ 71
計	27,102	27,987	26,964	28,037	30,253	30,615	362

(単位:単位数)

理 学 療 法 状 況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
運 動 器 I	9,463	9,440	10,328	5,081	10,454	9,469	△ 985
呼 吸 器 I	1,960	952	1,253	1,638	3,261	3,836	575
脳 血 管 II	12,877	8,765	6,528	2,045	4,329	4,847	518
地 域 包 括 ケア病床分	0	0	6,801	13,181	13,365	13,479	114
単位数合計	24,300	19,157	24,910	21,945	31,409	31,631	222
消 炎 鎮 痛 (件数)	1,597	905	915	658	533	520	△ 13
退院時指 導(件数)	228	250	255	247	312	330	18
退院前指 導(件数)	91	92	90	100	119	112	△ 7

(単位:単位数)

作 業 療 法 状 況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
運 動 器 I	881	1,081	1,288	2,114	2,821	1,862	△ 959
呼 吸 器 I	0	0	77	200	1,226	1,276	50
脳 血 管 II	2,666	2,145	1,953	820	1,752	1,984	232
地 域 包 括 ケア病床分	0	0	803	1,471	2,774	1,765	△ 1,009
単位数合計	3,547	3,226	4,121	4,605	8,573	6,887	△ 1,686

(単位:単位数)

言 語 聴 覚 療 法 状 況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
脳 血 管 II	4,048	1,733	3,099	2,806	2,876	2,639	△ 237
地 域 包 括 ケア病床分	0	0	442	1,189	108	107	△ 1
単位数合計	4,048	1,733	3,541	3,995	2,984	2,746	△ 238
摂 食 機 能 療法(件数)	785	514	667	1,496	2,611	3,235	624

(単位:単位数)

リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 合 計	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
運 動 器 I	10,344	10,521	11,616	7,195	13,275	11,331	△ 1,944
呼 吸 器 I	1,960	952	1,330	1,838	4,487	5,112	625
脳 血 管 II	19,591	12,643	11,580	5,671	8,957	9,470	513
地 域 包 括 ケア病床分	0	0	8,046	15,841	16,247	15,351	△ 896
単位数合計	31,895	24,116	32,572	30,545	42,966	41,264	△ 1,702

2、在宅介護支援事業関係

(単位:人)

訪問看護	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
実利用者数	455	395	451	513	593	503	△ 90
延べ利用者数	2,062	1,785	1,815	1,734	2,189	1,920	△ 269

(単位:人)

訪 問 リ ハ ビ リ	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
実利用者数	586	670	680	647	696	777	81
延べ利用者数	3,046	3,524	3,530	3,447	3,680	4,074	394

(単位:件)

居 宅 支 援	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	差引
介 護	741	776	936	1,117	1,242	1,075	△ 167
予 防	344	389	524	499	603	609	6

メディカルソーシャルワーカー業務統計(平成29年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助 件数		495	452	392	428	378	395	470	488	431	466	419	458	5,272
入・外	入院	421	392	320	363	337	349	397	418	372	409	361	404	4,543
	外来	74	60	72	65	41	46	73	70	59	57	58	54	729
新・継	新規	74	57	73	67	49	49	52	60	44	51	59	49	684
	継続	421	395	319	361	329	346	418	428	387	415	360	409	4,588
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	38	48	36	27	38	33	45	48	30	36	23	61	463
	診療関係の援助	349	297	246	250	232	227	308	317	250	262	285	312	3,335
	人間関係の援助	74	59	55	42	49	66	73	84	64	87	44	117	814
	心理情緒的問題の援助	74	70	31	44	72	58	85	101	73	90	47	101	846
	社会復帰・退院援助	312	289	200	235	187	260	287	328	266	327	228	270	3,189
	関係(者)機関との連携・協力	330	314	230	275	215	235	316	332	303	336	230	289	3,405
面接等対象者	医 師	396	335	259	285	289	246	343	334	303	323	311	321	3,745
	看 護 師	236	207	197	199	220	244	302	270	238	261	246	259	2,879
	職 員	200	190	186	161	171	143	185	164	147	137	194	207	2,085
	本 人	207	236	175	185	159	178	251	286	195	241	162	195	2,470
	家 族	212	227	164	184	162	167	245	260	188	213	151	217	2,390
	関係機関	330	314	230	275	215	235	316	332	303	336	230	289	3,405
	そ の 他	2	8	1	2	7	23	7	0	0	1	2	0	53
援助方法	面 接	262	278	175	210	175	182	274	287	216	207	156	172	2,594
	協 議	149	93	125	89	103	101	97	109	96	112	145	152	1,371
	訪 問	4	11	18	7	6	4	3	11	7	12	8	22	113
	電 話	415	367	199	242	234	235	228	355	354	376	278	258	3,541
	文 書	176	113	146	130	139	101	98	72	48	28	66	57	1,174
新規紹介経路	医 師	65	36	43	53	36	31	37	29	33	37	49	40	489
	看 護 師	30	12	27	37	20	37	26	28	20	26	35	34	332
	職 員	21	6	11	10	5	5	8	9	6	3	7	12	103
	本 人	35	31	26	27	31	24	28	42	25	23	24	17	333
	家 族	24	17	21	22	23	12	19	19	14	13	14	14	212
	関係機関	56	45	42	32	40	28	39	48	34	41	34	23	462
	そ	0	2	0	0	2	5	1	0	0	1	2	0	13
介護支援連携指導(400点)		7	8	9	10	5	8	8	7	9	10	10	11	102
退院後訪問(580点)					2			2	3					7
退院支援加算(600点)		6	13	16	18	20	17	10	27	11	15	13		166
退院時共同指導(1200点)														0
在宅患者緊急時カンファレンス(200点)														0

3、業 績

1. 原著論文

Two patterns of contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid® in spontaneous rupture of hepatocellular carcinoma: a report of four cases.

Sugihara T, Koda M, Okamoto T, Miyoshi K, Matono T, Isomoto H.
J Med Ultrason (2001) 2017 Aug 16. [Epub ahead of print]

Utility of virtual touch quantification in the diagnosis of pancreatic ductal adenocarcinoma.

Onoyama T, Koda M, Fujise Y, Takata T, Kawata S, Okamoto T, Miyoshi K, Matono T, Sugihara T, Matsumoto K, Kawaguchi K, Harada K, Yashima K, Isomoto H.
Clin Imaging. 42:64-67 2017

Risk Assessment of Hepatocellular Carcinoma in General Population by Liver Stiffness in Combination with Controlled Attenuation Parameter using Transient Elastography: A Cross Sectional Study

Sugihara T, Koda M, Matono T, Okamoto K, Murawaki Y, Isomoto H, Tokunaga S
Yonago Acta Med 60 : 106-112 2017

Falsely Elevated Serum Vitamin B12 Levels Were Associated with the Severity and Prognosis of Chronic Viral Liver Disease

Takaaki Sugihara, Masahiko Koda, Toshiaki Okamoto, Kenichi Miyoshi, Tomomitsu Matono, Kenji Oyama, Keiko Hosho, Jun-ichi Okano, Hajime Isomoto, Yoshikazu Murawaki
Yonago Acta Med 60(1);31-39 2017

高齢者肝癌の年代別変遷

大山賢治、孝田雅彦、松木由佳子、山根昌史、永原 蘭、岡本敏明、三好謙一、
的野智光、杉原誉明、法正恵子、岡野淳一、辻谷俊一、磯本 一
日本高齢消化器病学会誌 19(2);81-87 2017

2. 総説論文

肝線維化予測式の臨床的意義と実地での活用法

孝田雅彦

消化器・肝臓内科 2(4):456-463 2017

肝膿瘍、肝膿胞

孝田雅彦

肝疾患治療マニュアル ～ガイドラインを理解し、応用する～ 96-101 2017

肝線維化スコアリング(Fib-4 index, APRI, FibroIndex など)

孝田雅彦

肝疾患診療に役立つ肝線維化評価テキスト-肝生検から非侵襲的な検査の時代へー
p8-12 2017

3. その他

日野病院病院長コラム 第5回 安楽死と安楽に死ぬこと

孝田 雅彦

広報ひの 4月号(平成 29 年 4 月発行) p13, 2017

ご近所のお医者さん 喫煙と眼疾患

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48367・8 号(平成 29 年 4 月 11 日発行) p25, 2017

日野病院病院長コラム 第6回

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず リハビリの重要性

孝田 雅彦

広報ひの 5月号(平成 29 年 5 月発行) p25, 2017

ご近所のお医者さん 目が眩しい

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48403 号(平成 29 年 5 月 16 日発行) p25, 2017

視野欠損が治り視力が 0.01→1.5 に急上昇！納豆は目の血管の詰まりに特効

玉井 嗣彦

健康雑誌「壮快」 第 44 巻(第 7 号)(平成 29 年 5 月 16 日発行) p52-53, 2017

新年度を迎えて

孝田 雅彦

日野病院組合だより セセラギ 第 59 号（平成 29 年 5 月発行） p 2, 2017

タバコの害にご関心を ―眼疾患を中心に―

玉井 嗣彦

日野病院組合だより セセラギ 第 59 号（平成 29 年 5 月発行） p 3, 2017

日野病院病院長コラム 第 7 回 終末期における患者の希望

孝田 雅彦

広報ひの 6 月号（平成 29 年 6 月発行） p9, 2017

ご近所のお医者さん 近視進行と環境因子

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48438 号（平成 29 年 6 月 20 日発行） p23, 2017

日野病院病院長コラム 第 8 回 乳がんから自分を守る

孝田 雅彦

広報ひの 7 月号（平成 29 年 7 月発行） p15, 2017

ロータリー財団委員会

玉井 嗣彦

2017-2018 年度クラブ活動状況報告書（平成 29 年 7 月 1 日発行）

p49, 米子ロータリークラブ, 2017

米子ロータリークラブ 第 3163 回例会プログラム「就任ご挨拶」R財団委員長

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 No. 2320（平成 29 年 7 月 14 日発行） p 1-2, 2017

日野病院病院長コラム 第 9 回 予測、予防が大事・熱中症

孝田 雅彦

広報ひの 8 月号（平成 29 年 8 月発行） p7, 2017

ご近所のお医者さん 関節リウマチの眼病変

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48480 号（平成 29 年 8 月 1 日発行） p23, 2017

酢納豆こそ視力若返りの最強食！目の血栓を溶かして 0.01→1.5 に急向上

玉井 嗣彦

健康雑誌「壮快」第 44 巻（第 10 号）（平成 29 年 8 月 16 日発行） p 30-31, 2017

病院と介護施設における看護要約に必要な情報に関する比較

生田磨美 木村多亜子 中條雅美

「看護展望」42 巻 10（2017 平成 29 年 8 月発行） p 81-85, 2017

ごあいさつ

孝田 雅彦

日野病院組合だより セセラぎ 第 60 号（平成 29 年 9 月発行） p2, 2017

日野病院病院長コラム 第 10 回 虫がかかわる最近の病気

孝田 雅彦

広報ひの 9 月号（平成 29 年 9 月発行） p10, 2017

日野病院日誌 —17 度目の秋の感慨—

玉井 嗣彦

日野病院組合だより セセラぎ 第 60 号（平成 29 年 9 月発行） p3, 2017

「百寿会」第 30 回例会を迎えて

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ同報 No. 744（平成 29 年 9 月発行） p2, 2017

日野病院病院長コラム 第 11 回 教育入院は食生活を変えるチャンス

孝田 雅彦

広報ひの 10 月号（平成 29 年 10 月発行） p11, 2017

ご近所のお医者さん ユーモアの大切さ

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48543 号（平成 29 年 10 月 3 日発行） p23, 2017

日野病院病院長コラム 第 12 回

インフルエンザワクチンのすすめ ～自分のため、家族のため、地域のために～

孝田 雅彦

広報ひの 11 月号（平成 29 年 11 月発行） p10, 2017

米子ロータリークラブ 第 3176 回例会プログラム

卓話「ロータリー財団月間に寄せて」 R 財団委員長

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 No. 2332 (平成 29 年 11 月 10 日発行) p2, 2017

ご近所のお医者さん ウォーキング時代

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48592 号 (平成 29 年 11 月 21 日発行) p27, 2017

日野病院病院長コラム 第 13 回 冬に流行する感染性胃腸炎 ～ノロマじゃないノロウィルス～

孝田 雅彦

広報ひの 12 月号 (平成 29 年 12 月発行) p21, 2017

日野病院だより —17 度目の年の瀬を迎えて—

玉井 嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより 第 34 号 (平成 29 年 12 月発行) p39-40, 2017

近況報告にかえて —たかが俳句、されど俳句—

玉井 嗣彦

豊瞳 (高知大学医学部眼科学教室同門会誌) 第 20 号 (平成 29 年 12 月発行) p41, 2017

岸茂講師への感謝

玉井 嗣彦

豊瞳 (高知大学医学部眼科学教室同門会誌) 第 20 号 (平成 29 年 12 月発行) p52, 2017

日野病院病院長コラム 第 14 回 将来の医療はどうなるか ～新春予測～

孝田 雅彦

広報ひの 1 月号 (平成 30 年 1 月発行) p17, 2018

年頭のご挨拶 ～新年明けましておめでとうございます～

孝田 雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 61 号 (平成 30 年 1 月発行) p2, 2018

新春放談 —承認メッセージの伝え方—

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 61 号 (平成 30 年 1 月発行) p3, 2018

ご近所のお医者さん 色覚検査の実施時期

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48647 号 (平成 30 年 1 月 16 日発行) p27, 2018

日野病院病院長コラム 第 15 回 急な寒さは万病の元

孝田 雅彦

広報ひの 2 月号（平成 30 年 2 月発行） p17, 2018

納豆で網膜血管閉塞症が改善し眼圧出血が止まった！ 0.01 から 1.5 に視力回復

玉井 嗣彦

健康月刊誌「ゆほびか」第 24 巻（第 4 号）（平成 30 年 2 月 16 日発行） p66-67, 2018

ご近所のお医者さん 抗結核剤治療と眼症状

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48689 号（平成 30 年 2 月 27 日発行） p27, 2018

日野病院病院長コラム 第 16 回 年をとると誰もが心配になる病気、アルツハイマー病

孝田 雅彦

広報ひの 3 月号（平成 30 年 3 月発行） p18, 2018

学会等発表

1. 国内学会

第 30 回日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会（平成 29 年 4 月 8 日 米子）

胸腹水を有する肝硬変患者の横隔膜交通症診断における perflubutane 腹腔内投与の有用性
三好謙一、永原 蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、的野智光、大山賢治、法正恵子、
岡野淳一、磯本 一、孝田雅彦

日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（平成 29 年 5 月 13 日 高松）

総合診療外来実習で他者と振りかえることは医学生にとってどんな経験になるのか？
井上和興、紙本美菜子、朴 大是、浜田紀宏、武地幹夫、孝田雅彦、谷口晋一

日本超音波医学会第 90 回学術集会（平成 29 年 5 月 27 日 宇都宮）

大学病院における腹部超音波検査精度の検証
的野智光、永原蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、杉原誉明、孝田雅彦、磯本一

第 116 回内科学会中国地方会（平成 29 年 6 月 3 日 宇部）

多剤併用高齢寝たきり患者における薬剤性食道潰瘍の 1 例
加藤雅之、孝田雅彦

インクレチンフォーラム in 米子（平成 29 年 6 月 7 日 米子）

糖尿病患者における肝疾患
孝田雅彦

第 53 回日本肝臓学会総会（平成 29 年 6 月 8-9 日 広島）

Gd-EOB-DTPA 造影 MRI を用いた肝細胞癌多発再発時における再発形式の検討
三好謙一、孝田雅彦、磯本 一

HBV 関連肝細胞癌の予後はサーベイランスが決定する

的野智光、永原 蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、大山賢治、法正恵子、
岡野淳一、孝田雅彦、磯本 一

各種肝疾患における肝線維化バイオマーカーの比較検討

法正恵子、大山賢治、岡野淳一、的野智光、三好謙一、岡本敏明、松木由佳子、山根昌史、
永原 蘭、杉原誉明、孝田雅彦、磯本 一、三浦正典、汐田剛史

第 37 回奥大山プライマリーケア研究会（平成 29 年 6 月 15 日 日野郡）

肝疾患におけるトータルマネージメント
孝田雅彦

平成 29 年度鳥取県医師会春季医学会（平成 29 年 6 月 25 日 米子）

肝性胸水患者における横隔膜交通症の造影超音波による診断法

孝田雅彦、三好謙一、的野智光、永原 蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、大山賢治、
法正恵子、岡野淳一、磯本 一、中村廣繁

第 19 回日本医療マネジメント学会学術総会（平成 29 年 7 月 7 日 仙台）

医療対話推進者養成の実際からみる患者・家族支援体制の展望

孝田雅彦、斉藤奈緒美

第 53 回日本肝癌研究会（平成 29 年 7 月 7 日 東京）

3D 超音波装置によるラジオ波焼灼術の治療効果判定と再発予測

的野智光、永原 蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、杉原誉明、大山賢治、
法正恵子、岡野淳一、孝田雅彦、磯本 一

第 53 回日本超音波医学会中国地方会（平成 29 年 9 月 2 日 倉敷）

腹腔内出血の診断、止血確認に造影超音波が有用であった肝細胞癌の一例

三好謙一、孝田雅彦、永原 蘭、松木由佳子、山根昌史、的野智光、磯本 一

JDDW2017（平成 29 年 10 月 13 日 福岡）

Gd-EOB-DTPA 造影 MRI を用いた C 型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス療法後の肝発がん
形式の検討

三好謙一、孝田雅彦、磯本 一

第 56 回 全国自治体病院学会（平成 29 年 10 月 19-20 日 千葉）

当院におけるリハビリテーションによる介護予防事業の取り組み（第 1 報）

～多角的に 3 種類の事業を運用する試み～

大塚 健一

病院職員に対するインフルエンザ予防対策の有効性

山形睦美、孝田雅彦、熊野健太郎、長尾孝夫、池田清香、木戸脇久美、長尾加奈子、三好妙子、
住田亜矢子、朴大昊

鳥取県東部超音波研究会（平成 29 年 11 月 10 日 鳥取）

超音波検査の新しい視点 Point of care ultrasound (POCUS)

孝田雅彦

第 42 回日本肝臓学会西部会（平成 29 年 11 月 30 日 福岡）

異なる受診勧奨方法による院内肝炎ウイルス陽性者の拾い上げ効果

的野智光、永原 蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、大山賢治、法正恵子、岡野淳一、永原天和、岡本欣也、孝田雅彦、磯本 一

黄疸が遷延する薬物性肝障害に対してフェノバルビタールが著効した 1 例

岡本敏明、岡野淳一、永原 蘭、松木由佳子、山根昌史、三好謙一、的野智光、大山賢治、法正恵子、孝田雅彦、磯本 一

第 75 回消化器音波研究会（平成 30 年 1 月 16 日 米子）

ポケットエコーを用いた Point of care ultrasound

孝田雅彦

2. 研究会 その他

「看護の日」イベントでの講演（平成 29 年 5 月 12 日 日野病院）

「広めよう・支えあおう・見守りの輪」（認知症キャラバンメイトの活動）

影山光恵

T-HOC 講義（平成 29 年 8 月 25 日 米子）

地域で「支え、寄り添う医療」における看護とは

池田 清香

介護職員初任者研修に係る講義（平成 29 年 8 月 30 日 日野高校）

老化の理解：高齢者に多い病気と生活上の留意点

バイタルサイン測定・麻痺患者の移乗・食事介助・口腔ケア・感染対策

池田清香

介護職員初任者研修に係る講義（平成 29 年 9 月 14 日 日野高校）

老化の理解：高齢者に多い病気と生活上の留意点

バイタルサイン測定・麻痺患者の移乗・食事介助・口腔ケア・感染対策

池田清香

日野病院院内研究発表会（平成 29 年 10 月 17 日 日野病院）

日帰り手術を受ける患者の術前準備の課題に対する取り組み～術前パンフレットの作成～
木村理絵、上田宏美、伊田志保子

質的監査から見える外来看護記録の現状と今後の課題
岡本直子、田中美香、木村多亜子、角嶋美鈴、妹尾小百合

B 病棟の看護診断名から病棟看護を考える
妹尾小百合

病院職員に対するインフルエンザ予防対策の有効性
山形睦美、孝田雅彦、熊野健太郎、長尾孝夫、池田清香、木戸脇久美、長尾加奈子、三好妙子、
住田亜矢子

第 10 回 鳥取県実践が活きる看護診断研究会（平成 29 年 11 月 25 日 鳥取看護大学）

家族機能促進状態
木村多亜子

質的監査から見える外来看護の現状と今後の課題
岡本直子、田中美香、木村多亜子、角嶋美鈴、妹尾小百合

第 14 回 鳥取県西部自治体病院看護研究発表会（平成 29 年 12 月 9 日 日南病院）

日帰り手術を受ける患者の術前準備の課題に対する取り組み
木村理絵、上田宏美、伊田志保子

病棟の看護診断使用頻度結果から看護特性を活かした記録委員会活動課題
妹尾小百合、生田磨美

4、新聞記事等

ご近所のお医者さん
(毎日新聞鳥取版)

玉井 嗣彦 名誉病院長

一度経験するとなかなか止められないタバコはニコチンを主成分にタール、一酸化炭素、窒素酸化物、アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド、ヒ素、ダイオキシン、カドミウム化合物をはじめ多数の有害物質を含む嗜好品ですが、これらの直接の毒性に加えて、生体に悪影響を与える酸化ストレスの亢進、さらに交感神経を介しての血管収縮の促進は、臓器局所の循環動態にも悪影響を与えます。

通常、喫煙は肺がんや虚血性心疾患などの多くの疾患の危険因子として認識されています。

ご近所のお医者さん

□
381
□

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



ですが、喫煙により発症のリスクが高まる眼疾患に、加齢黄斑変性や白内障などが報告されていますので、広く関心を持っていただければ幸いです。

加齢黄斑変性は、喫煙が非常に難しく、現時点では予防対策が最も有効とされています。内外の疫学調査で、喫煙者は加齢黄斑変性発症のリスクが、非喫煙者に比べて約4倍に上昇することが判明しています。喫煙が最も強い危険因子の一つと考えられ、本症の発症予防のためにも禁煙が推奨されています。老化や病気の元凶として、反応性の激しい不安定な原子や分子で、ある「活性酸素」が脚光を浴びています。喫煙者は非喫煙者と比較して、約3倍の頻度で核あるいは後囊下中心の白内障が生じる化物質であるビタミンCを破壊し、抗酸化物質の血中濃度を低下させ、脂肪の過酸化を促進することにより、黄斑部の変性を生じやすくなるといわれています。今日話題の受動喫煙対策にも関心を持たざるを得ません。

喫煙と眼疾患

米の先進国では成人の視力低下や失明の主原因であり、最近では本邦でも増加傾向にあります。病変が眼球後極の黄斑部にあるため、一日障害されまると視機能が完全に回復するの

推察されています。いずれにしても喫煙者は加齢黄斑変性の発症に特に注意が必要で、予防のためにはぜひ禁煙の重要性を認識していただく必要があります。白内障に関しては、喫煙者には非喫煙者と比較して、約3倍の頻度で核あるいは後囊下中心の白内障が生じる化物質であるビタミンCを破壊し、抗酸化物質の血中濃度を低下させ、脂肪の過酸化を促進することにより、黄斑部の変性を生じやすくなるといわれています。今日話題の受動喫煙対策にも関心を持たざるを得ません。

加齢とともにまぶたのしわ・しみなどが気になりますが、喫煙者は特にしわが目立ち、皮膚の色も黄ばんで、年齢の割に老けてみえるようになります。くれぐれも、ご用心を！

2017年(平成29年)5月16日(火)

鳥 取

25

医学的に「羞明」という用語が使用されている「眼が眩しい」という症状は、過剰な光によって物の見えづらさや、不快感を生じている状態です。羞明は日常生活において、たとえば健康眼でも、天候、目をとりまく環境からの光量や、日中、夜間という時刻による違いなどの影響を受けながら出現します。一方、病的な羞明は、健康者が苦痛を感じない程度の日常の光で誘発されるため、診療でこのような患者にお目にかかった場合、その訴えが病的か否かを判断するのは必ずし

ご近所のお医者さん

□ 386 □

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



も容易ではありません。羞明には、ドライアイや結膜弛緩症、角膜羞明患者の目の障害を調べますが、問診にあたり、発症の様式が急性か悪急性か、慢性かといった点が、鑑別診断のポイントになり

目が眩しい

両眼性か片眼性か、年齢や性別も参考になります。眼表面疾患と診断のポイントは、小児では眼瞼内皮による角膜上皮障害、摘まれている。網脈絡膜さらには視神経路・中枢と多岐にわたる場合があることが指

ます。急性の羞明の原因としては、急性異物や外傷による角膜上皮障害、感染性、あるいは非感染性の角膜炎、急性緑内障発作などによる角膜上皮浮腫などがあります。一方慢性

害や時節病、春季カタラがその原因になりやすいです。特に小児は症状を上手く訴えられず、目を閉じ気味にしているだけの場合もあります。外傷などでは、角膜上皮が剥がれていないか、光を嫌がっていないか、どうかなど家族から情報を取ることが大切です。反応・視野・眼底検査善は緊急の課題です。

CT(コンピュータ断層撮影)検査やMRI(磁気共鳴画像)検査などでの検討も必要です。もしこの種の検査で中枢に何らかの異常が認められない場合には、改めて生活環境、疲労の有無などを含め、精神神経性疾患の関与についても考慮する必要があります。

2017年(平成29年)6月20日(火)

鳥 取

23

最近、近視人口は世界的に年々増加して、2050年までに世界人口の半数にあたる50億人が近視に、10人に1人にあたる10億人が失明のリスクを抱える強度近視になると、オーストラリアのホールデン氏らの研究グループが算定しています。先に本欄でも指摘したとおり、近視は遺伝因子と環境因子により発達・進行すると考えられていますので、小児期の近視進行は、素質ないし遺伝の影響が強いのですが、染色体レベルまで踏み込んだゲノム研究が未完成の今日、近視人口の世界

ご近所のお医者さん

391

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



的な急増の背景には、小児の生育環境の変化があると同氏は指摘しています。特に、屋外活動の減少と、電子機器の多用など近距離を見つめる作業の増加といったライフスタイル

近視進行抑制効果は、運動による可能性があまりありません。一方、屋外活動時間は身体活動とは独立して近視と関連しているという報告や、屋外活動と近視との関係は太陽光線が重要であるとの報告もあり、

近視進行と環境要因

身体活動以外の要素も近視抑制に関与している可能性が示唆されています。

ルの変化による影響は、今後とも再度話題にしたいので、再度話題にしました。

小児の屋外活動時間と身体活動時間は相関することが報告されており、屋外活動時間の

睡眠の質と睡眠時間に関する報告もあり、睡眠時間の不足が近視人口の増加に関連するとの報告もあ

るサプリメントの中には含有しているものが少なくありません。ビタミンDと近視との関連性が近年いくつか報告されるに

2017年(平成29年)8月1日(火)

鳥 取

23

日常、眼科診療で無視できない全身疾患の一つに、関節リウマチ(RA)があります。RAは関節炎を主徴とする慢性炎症性疾患であり、肺など多臓器にも病変が波及しうる全身性疾患です。世界中に広く分布する疾患ですが、日本におけるRA患者数はおよそ70万人で有病率は0.6~1.0%、男女比は1対3~5、好発年齢は40~60歳と報告されてきましたが、近年の疫学調査では、そのピークが50~70歳代にシフトしており、人口構成の高齢化がRA患者にも反映されて

ご近所のお医者さん

□
396
□

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



関節リウマチの眼病変

う報告もあります。治療としては、涙液を補給するため人工涙液やヒアルロン酸ナトリウム点眼液、シクアホンソルトリウム点眼液、レバミピド点眼液を点眼します。また、

角膜炎として、硬たれない場合は外科的化性角膜炎、周辺部ないし傍中心部角膜潰瘍がRAの1~3%にみられます。ステロイドを併用します。重症例で眼で治療しますが、反う。

いるかもしれません。RAの眼病変は27~39%の患者にみられ、ドライアイ、角膜・強膜での病変が主なものです。点眼薬による効果ですが、両眼性で、前者では疑いまで含めると92%にみられたとい

重症例では抗炎症作用は免疫抑制薬の点眼、や炎症細胞の浸潤抑制を目的としたステロイド点眼も効果があります。点眼薬による効果は、保存的治療と目して治療用ソフトコンタクトレンズの装用や眼圧下降薬の投与を行い、穿孔創が大きく保存的治療でも前房が保たれない場合は、内障手術をする機会があります。最近、RA患者の白膜潰瘍が発症・再燃する場合があるので、リウマチ専門医と連携しつつ、手術前後には免疫抑制治療を強化しながら対応しました。術後経過は良好ですが、今後なお慎重な経過観察を要するでし

401

2017年(平成29年)11月21日(火)

鳥 取

27

健康長寿を求める時代、心身の健康は歩くことで支えられており、歩くことに関心が持たれて久しい。歩くとは、生体的に筋力がほぐれ、生理的によい影響を及ぼしますが、歩くことで脳へ刺激を与え、脳の老化を防ぎます。

ご近所のお医者さん

□ 406 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦 名誉病院長

歩く習慣のある人はあるとされています。現在、日本のウォーキング人口は約330万人と推定されています。最近、内閣府が発表した「日本人の運動・スポーツに関する世論調査」によれば、第1位が「ウォーキング」(34%)で、第2位は「ウォーキング」(34%)で、第3位は「ウォーキング」(13%)を大きく引き離しています。



ウォーキング時代

は減量効果を減少し、第3位の「ウォーキング」(13%)を大きく引き離しています。ウォーキング中は、特に夏場では熱中症の危険性が高齢者にみられ、ウォーキング協会が設立され、全国各地で大会が開催されています。鳥取県にも「10のまちを歩く」という認定大会が存在し、去る11月11日には地元で「第10回金持開運ウォーキング」が、滝山神社から金持神社まで紅葉を楽しみながら歩くことをスローガンに、300人の参加者を得て無事開催されました。参加者の責任の一つとして、「路上のゴミは拾って帰りましょう」とされていたのは印象的でした。人より速くとスポーツ化して、褒賞金争いの大会も少なくありませんが、「地域の自然と文化を歩いて満喫しよう」というウォーキングの精神だけは忘れたいものです。

かつて話題にしましたが、「色環境」に関心が深まるにつれて、色覚異常者への対応が無視できない時代になっています。そこで、2014年4月より、03年以降、行政主導で学校健康診断の必須事項から外され任意検査となっていた「色覚検査」の必要性和その体制作りが、学校保健安全法施行規則の一部改正の一つとして、文部科学省より通知され、今日に至っています。

実施時期には定めがなく、実施の対象となる学年も地域により異なりますが、小学校では入学当初よりも、検

ご近所のお医者さん

471

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



色覚検査の実施時期

が求められます。

中学・高校での色覚検査は、進学・就職に備えることにウェイトが置かれており、進路変族にも伝えておく必要がありま

や資格試験を受けようとして拒まれることがあります。そこで、これらの事態に対処して、企業でも制限を設けておく必要があること、本人のみならず家族にも伝えておく必要がありま

現在、採用時に根拠となる色覚で制限される業種にも就くことがありますが、場合によ

查への理解が少し深まってきたとされています。先天性色覚異常は、後天性とは異なり自覚症状が少なく、自分でも知らないうちに起こし高まるため、検査時のた色での失敗が仕事上問題になることや、知れないままに色覚で制限されている採用試験

ことはほとんどなく、この対策を講じて仕事をすることがあります。医療関係の職種では、医師、看護師、薬剤師および検査技師など、過去にはかなりの制限がみられましたが、今日では医学部でも、入学時に色覚異常者への制限はみられません。しかし、強度色覚異常の場合は、業務内容をよく検討して将来に備える必要があります。

色覚検査の施行は、決して差別を助長するものではありません。若い世代の活躍を願って、学校当局はこれらの情報を把握しつつ対応したいものです。

2018年(平成30年)2月27日(火)

鳥 取

27

日本で「国病」と恐れられた結核は、戦後、高いBCG接種率の維持など、あらゆる対策が実施された結果、流行の終わりが告げられるくらいに減少しました。しかし、1996年代より患者数の増加が始まり、現在は「再興感染症」として再び注目されています。

結核「再興」の要因としては、①社会福祉施設などでの集団感染の増加②重症化・重症発病例の増加③高齢者での発病増加④社会的経済弱者の発病増加⑤多剤耐性結核の出現などが指摘されています。

ちなみに、2016

ご近所のお医者さん

□
476
□

日野病院(日野町)
玉井嗣彦名誉病院長



抗結核剤治療と眼症状

は「結核中進国」と位置づけられています。ともあれ、結核の治療には、戦後開発の進んだ各種抗結核剤の存在は否定できません。なかでも61年に米国のウィルキンソンらに

「結核中進国」と位置づけられています。ともあれ、結核の治療には、戦後開発の進んだ各種抗結核剤の存在は否定できません。なかでも61年に米国のウィルキンソンらに

しかし、投与中に原因不明の視力低下があり、中心フリッカー値の低下、視野の中心暗転、色覚異常があれば本剤による中毒性視神経症を疑って直ちに内服を中止し、高齢者では老人性白内障や加齢黄斑変性で誤らないとする注

意が必要でした。EBによる中毒性視神経症は個人差もあり、一般に内服量は1日500～1000mg、内服期間は1～6カ月で、亜急性、両眼性に発症します。内服中止により、3ヶ月以内に回復しますが、眼底検査不可能な程度の白内障があり、対応に主治医とも悩んでいます。ご本人、ご家族の手術へのご理解と同意が得られない限り、抗結核剤投与の薬物による眼症状出現の適格な確認はできません。

より合成開発された2次抗結核剤であるエタシブトール(EB)は、既存の結核剤に感受性は1日500～1000mg、内服期間は1～6カ月で、亜急性、両眼性に発症します。内服中止により、3ヶ月以内に回復しますが、眼底検査不可能な程度の白内障があり、対応に主治医とも悩んでいます。ご本人、ご家族の手術へのご理解と同意が得られない限り、抗結核剤投与の薬物による眼症状出現の適格な確認はできません。

年の統計によると、日本本の結核患者数は1万7625人で、罹患率は人口10万対13・9を示し、これは他の先進諸国の数倍の高さ、米国の1977年の水準にあることから、日本

日野病院病院長コラム

(広報ひの)

日野病院
病院長コラム

第5回

安楽死と安楽に死ぬこと

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



生きようとするものの宿命。“死”について考えてみる

皆さんは自分が死ぬときのことを想像したことがありますか？

どんな病気で、どのような状態で死ぬのだろうか、痛くて苦しむのか、息が苦しいのか、寝たきりなのか、管がいっぱい継がれているのか、周りに家族がいるのか、家で死ぬのか、病院で死ぬのか、などなど。

安楽に死ぬことと安楽死はもちろん異なります。安楽死は苦しみから逃れるために死ぬことです。安楽に死ぬことは万人の望みですがかなえられないことは極めて稀です。死ぬ直前は誰しも苦しく、それは生きよう

とする生物の宿命のように思えます。

人によって異なる安楽死の定義

文藝春秋の本年3月号

に安楽死の特集が掲載されました。橋田壽賀子氏が安楽死したいといったのがきっかけで組まれた特集です。さまざまな著名人が意見を述べていますが、どれも自分の身の回りの経験からの意見です。また、安楽死の定義もそれぞれ微妙に異なっており、同じようには議論できません。薬などを使つて安楽死させる積極的安楽死は日本では法的に禁止されています。尊厳死という考えもあり、患者の希望で延命処置を行わず、自然に死ぬという消極的安楽死です。

延命処置もさまざま。多くの情報から正しい判断を

しかし、この延命処置というのがまた、解釈がさまざまです。皆さんはどのようなことを延命処置と考えますか？

人工呼吸器を付ける、酸素吸入をする、24時間点滴をする、胃瘻（腹部に胃への入り口を作つて流動食をいれるもの）で栄養入れるなど。多くの方は、人工呼吸器はいやだが酸素吸入はいいとかが、胃瘻はいやだが、点滴は良いなど、見た目の善し悪しやマスキミの風潮によつて判断している方が多いように思います。

元気になるか寝たきりか。予測は困難を極める

口から食べられなくなつたらもう死んでもいいと言ふ人もいますが、一時的な体調不良で食べられなくなつて弱つた老人は点滴をすれば元気に戻ることもありま

す。最初からそれを予測することは極めて困難です。自分で十分呼吸できないなら寿命だと昔はいっていましたが、今は在宅酸素療法を行えば普通に自宅で生活ができるようになりました。時代によつても変化します。嚥下機能が悪く食

事を取ると肺炎を起こす患者は、胃瘻によつて食事以外は普通に生活ができる場合もあります。筋ジストロフィーの患者さんのように人工呼吸器を使つていても頭脳は全く正常で、コンピュータを使つて意思疎通ができる方もあります。延命処置の解釈もほとんどケースバイケースです。つまり、安楽死や尊厳死といった問題は正解のない問題であり、一般化できる正解はありません。

正解のない問題に立ち向かうには

ではこのような問題に出会つたときどうすれば良いのでしょうか。それは個々のケースにおいて医療者と患者と家族という限られた中で共通了解を得るという方法しかありません。ここで大切なのは患者本人を含め、患者のこれまでの生活、性格、考え、病状をよく知る人たちが話し合うことです。家族に迷惑をかけたくない、経済的に苦しいなど本来の患者の希

望を抑圧する因子は別にして考えることも必要です。なぜならそれは別の方法、公的補助やボランティアなどで解決できる場合もあるからです。

患者のための共通了解を忘れないでほしい

何をにおいても最も重視されるべきは患者の希望です。この中で得られた共通了解が患者にとつて最もふさわしい答えとなると思います。実は、これは多くの日本の病院で行われていることであり、特別なことではありません。

この共通了解を乱すのは多くの場合、患者の最近の状況を知らない親類縁者の介入です。一般論を当てはめようとして家族内での意思の不統一、混乱を引き起こします。患者のための共通了解であることを忘れないようにしてほしいものです。このコラムを読まれた皆さんはぜひ自分はどうしたいのか、今の考えをご家族に伝えておくことも良いかと思ひます。

日野病院
病院長コラム

第6回 ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず

リハビリの重要性

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



人の体は入れ替わる
絶えず流れる河のように

これは方丈記の冒頭の一文です。私が医学部学生的时候、生化学の授業で教授がこのことを話され、大変印象に残っています。この意味は「河の水の流れは絶えて無くなることはないが、それでいて、流れる水の二つは同じ水ではない」となります。

人の体もこれと同じです。ヒトの体は皮膚や筋肉、骨、脂肪と変わらずあるようですが、毎日のように細胞は入れ替わっています。とても硬い骨でさえ少しずつ入れ替わっているのです。まだ使えるのもつたいないと思われるかもしれませんが、時間とともに傷

つき、痛んでいく組織を少しずつ修復することが絶対必要です。

骨も筋肉も努力しなければ強くない

骨を例にとると破骨細胞によって骨は少しずつ削り取られ、その後に造骨細胞が新しい骨を作っていきます。このとき骨をよく使い、鍛えていけば強い骨が作られます。しかし、寝てばかりいると体は強い骨はいらないと判断し、弱い骨しか作らないのです。

筋肉も同じです。毎日筋肉トレーニングをすれば、大きくしっかりと筋肉が出来ますが、何もしなければ筋肉はあまり作られずやせ細った体になります。体は毎日確実に壊されています。そしてそれ以上に作ることが必要なのです。

リハビリは体を復元する重要な役割を持つ

病気になると急性期は安静が必要ですが、それが過ぎれば積極的に体を動かして負荷をかけ

なければ元の体には戻りません。そのためにリハビリテーションがあります。リハビリは最も効率よく、安全に体を復元していくために必要であり、そのためには少しはしんどいことも行う必要があります。

元の生活を取り戻すには患者の努力も必要

今、リハビリを苦しいと思っている人もぜひ、もうひとがんばりしてください。スポーツ選手が大会でいい結果を出すために、毎日練習をするのと同じです。リハビリという練習をしなければ病気が回復し、元のように生活できません。

よく、患者さんや家族が「病気になる前の状態にならない。治療が良くない」などと言われることがあります。病氣自体元に戻らないものもありますが、患者さんの努力が足りないこともあります。病院に入院しているときは寝ていれば良いというのは大昔の話です。患者さん自身の努力が必要です。

日野病院
病院長コラム

第7回 終末期における患者の希望

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



終末期の医療について
もう一度考えてみたい

先日京都市が終末期の事前指示書（回復の可能性がない、あるいは自分で意思を表明できない状況になったとき、希望する医療をあらかじめ示しておくもの）を配布したことに對して個人の生命に對する行政の介入であるというような抗議が報道されていました。

私も「広報ひの4月号」に終末期にどのような医療を希望するか家族に伝えておくことをおすすめたので、もう少し詳しく述べてみたいと思います。多くの患者さんが延命治療はいららないと言われます。しかし、本人の希望しない延命

治療とはどのようなものでしょうか？

事前指示書の中身とは

この点をはっきりさせることが重要です。国立長寿医療研究センターが作成した事前指示書の主な内容は、痛みに對してどのような処置を希望するか、終末期を迎えたい場所はどこか、つまり自宅、病院、施設などから選択する。終末期に希望する医療は何か、心臓マッサージ、人工呼吸器、胃瘻栄養、鼻チューブ栄養、点滴などを希望するか、自分で判断ができなくなつたとき医師が相談すべき人を記載しておくものです。

自分が希望する医療とは？考えるきっかけに

これらは病状がわからなければ決めることは難しいことも多いとは思いますが、実際に病気になるって希望を述べるできない場合に備えて、その時点

の希望を書いておくことは一定の意義があると思います。できれば毎年書き直しておけばより希望に添えることになります。また、家族も本人の希望を知っていれば安心して判断を下すことができます。

医療が進歩すれば状況が変わることもありますが、大まかな方針とするのが良いかと思いますが、ただし、事前指示書には法的な拘束力はありません。誰もがあまり考えたくないことではありますが、必ず必要になるものなので、この機会に考えてみてはどうでしょうか。

◆事前指示書は

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000217/217933/jizenshijisyo.pdf>
からダウンロードできます。

日野病院
病院長コラム

第8回 乳がんから自分を守る

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



女性が一番かかりやすいがん。しかし治る病気が

先日、元アナウンサーの小林麻央さんが乳がんのため34歳の若さで亡くなられました。まだ小さな子を残していくのは無念だったと思います。また、元キャンディーズの田中好子さんは19年もの長い間、乳がんの治療をしてきたそうです。以前にも書きましたが女性で最も罹（かか）患率の高いがんは乳がんです。毎年9万人の女性が乳がんになっ

ています。しかし、亡くなる患者さんは年1万4千人です。早期に発見し治療を受ければ治るがんで

早期発見が唯一の方策

乳がんがほかのものと大きく異なるのは若い人でも発症し、50歳前後がピークになることです。子育ての真っ最中に発症するのは本人にとっても家族にとっても大変な衝撃です。では、どうすればいいでしょうか。乳がんの発症を予防する方法はありません。検診を受けて早期に発見するのが、唯一の方策です。

検診にはマンモグラフィーや超音波検査が用いられます。自己触診は自分で月一回ぐらいチェックするのはいいですが、あくまで検診の補助とすべきで、これをしていないから検診を受けない理由にはなりません。

日本での乳がん罹患のピークは40代後半です。40歳になれば毎年検診を受けましょう。血縁に乳がん

の患者さんがいる場合は30歳から受けましょう。

マンモグラフィーの放射線被ばくを心配する方がいますが、被ばく量は少なくあまり心配はありません。それでもといわれるのであれば超音波検査を受けてください。将来的には超音波が検診の中心になると思われます。

家族の悲しむ姿を想像して、検診を受けましょう

これらの検診を受けければ、早期に発見することが出来ます。胸を出すのは恥ずかしいと思うかもしれませんが、家族の悲しむ顔を考えれば大きな問題ではないはずです。検診を受けない言い訳を探すのではなく、検診を受けられるよう日程の調整に務めてください。小林麻央さんや田中好子さんが残していった警告を無駄にしないようにしましょう。

日野病院
病院長コラム

第9回 予測、予防が大切・熱中症

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



毎年話題になる熱中症。
あなたの意識に潜む意
外な落とし穴

毎年夏になると熱中症の話題が出て、注意を呼びかけているにもかかわらず、多くの患者さんが発症しています。何が問題なのでしょう？

以下のようなことはありませんか？
①気分が悪くなるなど症状が出たら休もう。
②あと少しで作業が終わるからもう少し頑張ろう。
③室内でじっとしているだけなので心配ない。
このような考えは危険です。

1番目、症状が出てから対応しては手遅れです。特に高齢者は症状が出てからでは

自分で回復させるのは困難です。高齢者は症状が出にくく、症状が出た時はすでに重症になっています。のどが渇く前に水分補給をしてください。汗を多くかくときは塩分の補給も必要です。

2番目、早く作業を終わらせたい気持ちはよくわかりますが、人の体はそれほど無理が利きません。まずは休んでから残りの仕事を片付けてください。

3番目、熱中症は屋外だけでなるものではありません。室内でも発症することが増えていきます。はじめは室温が高くなっても寝ている間に気温が上昇し、熱中症になることもあります。天気予報などを確認し、冷房をするなり、扇風機を使うなり、氷枕を用意するなり、前もって対応することが重要です。

正しい知識で熱中症を予測・予防することが大切

外に出かけるとき

は帽子をかぶる、冷たい水を入れた水筒を必ず持つ、タオルを冷たい水で濡らして顔や首を冷やす、等々。このように熱中症は的確な予測と対応で予防できます。つまり、最も大切なことは熱中症になる状況を予測すること、そして前もって準備を怠らないことです。

古代の人たちは生活の場において多くの危険に囲まれていて、その危険を予測し、あらかじめ準備し、対応する能力に長けていました。そうでなければ生き残れなかったのです。しかし、現代人は高齢者も含めて、危険の予知能力が低下しています。便利になりすぎた現代社会は人間の生きる能力を低下させたといえます。熱中症の予測も予防も生きる能力です。古代人のように生きる能力を回復させましょう。

日野病院
病院長コラム

第10回 虫がかかわる最近の病気

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



ヒアリ、マダニ：
虫による病気が話題に

暑い夏が過ぎ、虫の鳴き声が聞こえる季節になりました。今年は虫による病気の話題がテレビ、新聞を賑わしていました。

ヒアリの刺虫症、マダニが媒介する重症熱性血小板減少症が大きく取り上げられています。ヒアリは元々南米に生息していたアリですが、最近中国を経由して日本に入ってきました。針を刺して毒を注入し、疼痛、かゆみ、蕁麻疹様の発疹を起します。まれではあります。アレルギー（アナフィラキシーショック）によって死亡することが臨床的には大きな問題です。

つまり、ハチとほぼ同じです。鳥取県ではヒアリはまだ発見されていませんが、港を中心にいずれは侵入してくると考えておくべきで、対策を立てておく必要があります。医者が最も心配するのはアナフィラキシーが起らないかどうかです。しかし、アナフィラキシーショックは急激に発症するため、病院にたどり着けないことも多く、刺されないように注意することが最も大切です。

皆さんが注意すべきはマダニ。十分な対策を

日野郡の皆さんにとってはヒアリよりも怖いのはマダニです。マダニが媒介する重症熱性血小板減少症（SFTS）は致死率が17%と非常に高く、治療薬やワクチンがまだ開発されていないため、マダニに接触するのをできるだけ防止することが重要です。マダニは裏

庭、あぜ道など身近にどこでもいます。マダニから身を守るためには肌を露出しないように手足はもとより首にもタオルを巻くなど服装に注意するとともに、家に入る前に服を着替え、シャワーすることも有効です。

また、虫除けスプレーを使用することもいいでしょう。幸い、鳥取県は九州、中四国地方で唯一患者が発生していません。しかし、いずれ患者さんがでると思います。実はマダニが媒介する病気は重症熱性血小板減少症だけではなくありません。日本紅斑熱、Q熱、ライム病、ボレリア症、野兎病などが知られています。

このように虫によって病気が発症することを知識として知っておき、必要な対策をとっておくことが重要です。「転ばぬ先の杖」これが最良の方法です。

日野病院
病院長コラム

第11回

教育入院は食生活を変えるチャンス

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



食生活がゆるむ
食欲の秋。
生活習慣病にご注意

食欲の秋がやって来ました。季節が良くなり、食欲が出てついつい食べ過ぎ、太ってしまったり。よく聞く話ですが、生活習慣病が悪化してしまいます。

生活習慣病はその字のごとく、生活習慣によって引き起こされる病気です。高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症、痛風など多くは不適切な食生活が原因です。以前は成人病と呼ばれていましたが、飽食の時代になって、子どもにも成人と同じ病気が起こるようになり、名



前が成人病から生活習慣病に変わりました。

難しい食生活の改善
子どもころから
バランスのとれた食事を

生活習慣病を予防するには当然生活習慣を正すことが必要ですが、これが簡単そうで実は難問です。患者さんの多くは薬は飲みますが、食生活の改善はなかなか

かしてくれませんが、「自分は食事」に十分注意している」と思っています。確かに、気にはしているのですが、実行が伴っていない場合や、正しい食事が分からない場合がほ



とんどです。

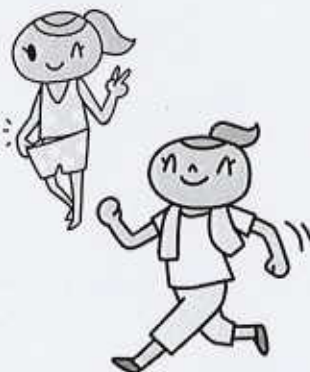
特に高齢になると自分の食生活を変えられはかかなり困難になります。日野病院では栄養士さんに栄養指導をしてもらいますが、時には怒り出す患者さんといて食生活を変えることの難しさが実感されます。

したがって、子どもの時から薄味の食事、適切なカロリー摂取、栄養バランスのよい食事、三食をきちんととり、寝る前には食べないようにする、このような習慣をつけることが大切です。しかし、最近では塩分、炭水化物、脂肪の多いスナックやお菓子を食することが多くなっています。今の子供もたちがもつと若い年齢で生活習慣病に罹患するのは火を見

るよりも明らかです。
自宅ではカロリー制限できない人へ
教育入院のススメ

日野病院では糖尿病や肥満の患者さんの教育入院を行うことがよくあります。自宅では、どうしてもカロリー制限ができない患者さんに実際に必要なカロリー量の食事を体験してもらおうことが重要です。

大部分の患者さんはたくさん食べていたことに気づかされ、自分で考えていた食事療法が不十分であったと理解できるようになります。また、食事内容を工夫すればカロリーは低くてもボリュームのある満腹感の得られる食事を作ることができ



ます。
正しい食習慣が
あなたを健康で長生き
させてくれます

そのような食事になればカロリー制限は苦痛ではなくなります。3週間ほどの入院中、糖尿病や肥満の勉強をしながら健康的な食事をし、運動療法をすることによって、正しい食習慣を身に付けられ、この先何十年も健康のまま、美味しい、楽しい食事を続けることができます。

この3週間が何十年分の健康をもたらしてくれます。主治医の先生に入院して治療をしませんかと言われたら、ぜひ時間をつくって教育入院を受けてください。生物学では、強いものや頑丈なものが生き残るのではなく、変化し、適応できるものが生き残ります。食生活を適切なものに変えることができる人が健康に、そして長生きできます。

日野病院
病院長コラム

第12回

インフルエンザワクチンのすすめ

～自分のため、家族のため、地域のために～

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

インフルエンザ流行の季節が到来。対策は早めに

朝夕めっきり冷え込むようになりました。インフルエンザの季節ももう目の前です。インフルエンザへの対応は今の時期から開始する必要があります。

今年のインフルエンザは夏から全国や山陰の一部でも流行していました。インフルエンザの予防にはワクチンの接種が最も有効です。しかし、残念ながら100%予防できるわけではありません。インフルエンザウイルスは毎年少しずつ変異し、ワクチンは昨年流行したウイルスから作成されるため効かない場合もあります。

また、もっと大きな変異をおこすと世界的流行（パンデミック）を引き起こします。ちょうど100年前の1918年に流行したスペイン風邪では感染者5億人、死者は5000万人から1億人といわれています。それでもワクチンは重要な予防方法です。

重症化しやすい人は必ずワクチンの接種を

ワクチンには発症予防

効果と重症化予防効果があります。65歳以上の高齢者、呼吸器病、心臓病、腎臓病、肝硬変、糖尿病などの慢性疾患を持った患者さんは重症化しやすいため、ぜひワクチンを打ってください。

「私はインフルエンザにかかったことがないので必要ない」という方が時々います。このような人には3種類あると思います。

①若いころに感染した免疫が残っている人

②軽くかかって治っている人

③本当にインフルエンザウイルスに接触していない人

③は通常の社会生活をしている人ならほとんどありえませんが、①②の人は実はかかっていた人です。しかし、上述のようにウイルスは徐々に変異するため、いつまた発症するかはわかりません。

感染予防は自分だけでなく周りの命も守る

ワクチン接種は本人の予防になるだけではありません。多くの人がワクチンを接種すれば、家族やその地域の人たちへの感染も減らすことができます。

ます。インフルエンザに感染した本人は自然に治っても、子どもや年寄りに感染させてしまい、重症化して亡くなれば、それはワクチンを打たなかった本人に責任の一端があるのではないのでしょうか。人から人へうつる感染症は自分のためだけでなく、周りの人のためにも予防処置をすべきです。

ワクチンを打っていないで発症した場合は早急に病院で受診してください。今は、効果の高い抗ウイルス薬がありますので、早ければ早いほど軽症で直すことができます。以下のことを実行してこの冬も元気に過ごしましょう。

①ワクチンを接種する

②発熱、咳、全身倦怠感、咽頭痛などがあれば病院に受診する。

③インフルエンザの症状があれば人混みに出ない。どうしてもでるときはマスクをする。

注意…今年はワクチンが不足しているようです。子どもや高齢者は早めに接種するようにして下さい。

日野病院
病院長コラム

第13回

冬に流行する感染性胃腸炎

～ノロマじゃないノロウイルス～

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



ノロウイルスとは？
感染力の強いやつかい
なウイルス

先月はインフルエンザのお話をしました。今月は冬に流行するノロウイルスについてです。

皆さん、「ノロ」という名前を聞いたことはありますか？冬に流行するウイルス性胃腸炎には、ノロウイルスとロタウイルスがあります。ロタウイルスはほとんど乳幼児に感染します。一方、ノロウイルスは小児から老人まで感染し、何度でも感染します。

元来はウイルスの蓄積した貝類を食べることで発症しますが、一

端発症するとその患者の吐物や便を介して、人から人に感染し、集団発生が見られます。保育園や幼稚園、病院や施設での集団発生は毎年起こっています。主な症状は嘔吐、下痢であり、しかも潜



伏期間は1から2日のため、家族内や施設、学校内で次々と発症していきます。

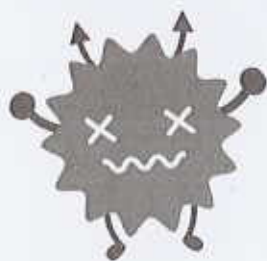
「ノロ」にアルコールはNO！感染を防ぐために大切なこと

最も困った点は、通常消毒に用いられるアルコールが効かないことです。患者さんの吐物や便には大量のウイルスが含まれています。患者の吐物、唾液

に触れた手でタオルやドアノブに触れるとウイルスがつき、これをほかの人が触れると感染することになります。

ノロウイルスを無害化するためには塩素系消毒剤（次亜塩素酸）が必要です。感染した衣服やタオルは塩素系漂白剤で洗うかポリ袋に入れて破棄して下さい。人体には塩素系消毒剤は使用できませんので、せっけんでよく洗い、流水で流すことが最良です。

小児や高齢者では脱水から重症になることがあります。輸液などの治療が必要です。予防のためのワクチンや治療薬はありません。感染を防ぐためには貝類は火を通して食べ、外から帰ったら石鹸で十分に手を洗って下さい。



日野病院
病院長コラム

第14回

将来の医療はどうなるか

～ 新春 予測 ～

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



医療を大きく変える
可能性を秘めたAI

新年明けましてお
めでとうございます。
皆さん、良いお正月
を迎えられたでしょ
うか。

新年早々病気の話
をするのも無粋なの
で、今回は将来の医
療はどうなっていく
のか、予測してみたい
と思います。

今後の医療はAI
（人工知能）、ロボッ
ト技術、インターネッ
トによって大きく変
化すると思われます。
AIはディープラー
ニング（深層学習）
によって、人以上に
学習することが可能
となりました。

人知を超えたAIも
存在。将来、自動診
断が実現するかも

今、AIは自動車
の自動運転や、将
棋やチェスでコン
ピューターが人より
も強くなり注目を浴
びています。医療の
分野でもCT、MRI、
超音波などの画像
診断や病理診断は
AIが診断すること
になると思います。

AIは一人の放射
線科医や病理医が一
生懸命勉強して得る
知識の何万倍あるい
は何百万倍ものデー
タを短時間で学習し、
診断能力を向上させ
ます。10年ぐらいで、
画像診断、病理診断
の多くは自動診断に
なると思われます。

医師や看護師の役割を
するAIやロボット

さらに進めば、通
常の医師の診察もA
Iに取って代わられ
るかもしれません。
患者さんが症状をコ



ンピューターに入力
し、コンピュータ
が指示する検査を受
け、AIが診断し、
治療法もAIが決め
るようになると思わ
れます。ロボット技
術の進歩は患者さん
の看護、介護をロボッ
トが担うようになり、
手術もロボットがす
るようになるかもし
れません。

医療環境を大きく変化
させるインターネット

また、インターネッ
トの発展は在宅医療
を大きく変化させる

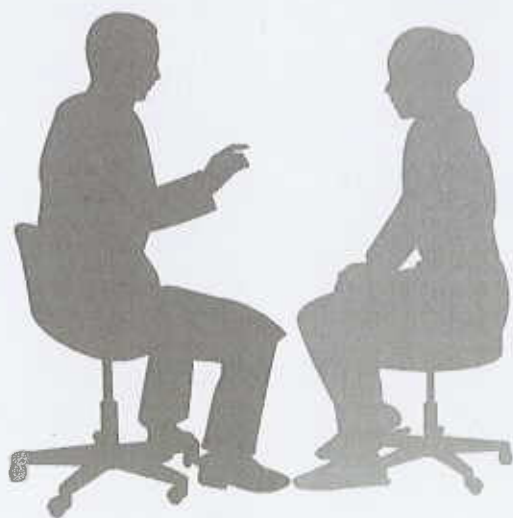
と思います。高齢者
に対しては自宅で小
型の機器が自動測定
した血圧、脈拍、酸
素濃度など多くの生
体情報をネット経由
で病院に転送し、自
動解析して異常があ
れば医師に伝達され
ます。

医師はテレビ電話
で診察をし、軽症で
あれば入院せずに自
宅でそのまま治療も
できるようになるで
しょう。AIやロボッ
ト技術、インターネッ
トが進歩すれば、患
者一人一人にあった
個別化医療が進むも
のと期待されます。

医療の発展に「人の役
割」を必要とするかど
うかは、あなた次第

そのころには医師
は何をするようにな
るのか、それはまだ
わかりません。しば
らくは医師がこれら
を利用しながら、最
善の医療を模索して
いくものと思います。

患者さんが医師と
人間的な関係を求め
るならば医師の役割
はまだまだ続くと思
います。少なくとも
患者さんにとってこ
のような医療の発展
は望ましいことでは
ないでしょうか。



日野病院
病院長コラム

第15回 急な寒さは万病の元

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

寒さが血圧に与える影響について考えてみませんか

寒い日が続きます。今年は特に気温が低いようです。東京でも20〜30cmの雪が積まりました。日野郡ではいつものことではありませんが、油断大敵です。寒い冬には、インフルエンザや風邪から肺炎、心筋梗塞や脳卒中、雪で転倒して骨折と、今年も多くの患者さんが入院しています。

すると血液は体の中心部に移動し、中心部では血液過剰状態となるため、血管の圧力、つまり血圧が上がることにになります。心臓も高い圧の中、血液を送らないといけませんので大きな労力が必要でくたびれてしまい、心不全や心筋梗塞となります。

一方、血管は血圧が上がると高い圧に堪えないといけません。血管は弾力性がなく、硬いのもろいため破綻してしまい、脳出血や動脈瘤破裂を起こします。

寒さから血圧を守るにはどうすればいい？

冬は寒いので、血圧が上がるのは防ぎようがないと思っていまいませんか？

そんなことはありません。寒さで血圧が少し上がるのはそれほど問題にはなりません。腎臓が余分な水分を尿として出

すため、血圧は戻ります。しかし、急に体を寒さにさらした場合は腎臓で調節する時間がなく、血圧の急上昇を引き起こし大変危険なのです。

それでは、日常生活で予防するためにはどうすればいいのでしょうか。まず、日ごろから血圧が高い場合は内科治療によって適切な血圧まで下げておくことが必要です。その上で、急に寒さに曝露しないようにします。

家庭でできる血圧対策。家全体を暖めることが重要

日本の家屋は一部屋ずつ暖房するため、廊下やトイレ、お風呂は寒いことが多く、大変危険です。昔はトイレが屋外になっていたことが多く、寒い外の人が多くいました。私が留学していたドイツではマイナス20度まで気温が下がり、厳しい寒さでしたが、家は全

館暖房で、廊下もトイレもすべて暖かく、家の中ではTシャツで過ごせました。

つまり、できるだけ家全体を暖めること、特にトイレは寒い上にいきむと二重に血圧を上げるので、トイレの中にも電気ストーブを入れることをおすすめします。また、お風呂の脱衣所も寒くならないように暖房を入れましょう。朝、ふとんから出るときはタイマーで起きる時間の前から暖房を入れ部屋を暖かくしておきましょう。



生活習慣を見直し、重大な病気から身を守るう

急に寒くなることがないか、自分の生活を見直して対策を立てることが重要です。自分の生活の中でいつ血圧が高くなっているのか、何をしているときに血圧が上がっているのかを調べることもできます。主治医の先生と相談して24時間血圧計を用いて調べてください。生活習慣の問題点を調べ、修正していくことが重大な病気から身を守る最良の方法です。



日野病院
病院長コラム

第16回 年をとると誰もが心配になる病気、アルツハイマー病

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

こんな経験ないですか？
認知症に揺れる社会

「最近おじいさんが時々道に迷って家に帰れんようになった」

「近所の人が家に入っ
てものを盗むと騒ぐ」

「さつき屋ご飯を食べ
たのに昼食はまだか
という」

「お風呂に入るの
のをいやがるよう
になった」など……

このような症状が
あると皆さんは認知
症だろうか心配さ
れるのではないで
しょうか。いま、認
知症は世界中で大問
題となっています。

医療が進歩し、平均
寿命が長くなっ
てみんなが幸せかと思
いきや、認知症とい
う

問題が浮かび上
がってきました。

認知症とは？

原因や治療・予
防法はあるのか

認知症の70%は
アルツハイマー型
認知症（アルツハ
イマー病）です。

アルツハイマー
病の原因は脳の
神経細胞にアミロ
イドβというたん
ぱく質が蓄積し、
神経細胞が死滅す
るためと考えられ
ています。

なぜこのような
物質が作られ、蓄
積するのか分かつ
ていません。しか
し、生活習慣病（
例えば、糖尿病、
高血圧、喫煙、
飲酒）が悪化因子
であることは疫学
的に証明されてい
ます。

現在のところ、
確実なアルツハイ
マー病の治療薬や
予防薬はありません。
進行するスピード
を遅くしたり、症
状を減らしたりす
る薬は開発されて
います。アルツハ
イマー病の治療

薬を作ればノー
ベル賞は確実です
ので世界中の製
薬会社、科学者
が研究しています。

認知症社会に
どう立ち向かう？
研究が進む
認知症対策最前線

今、確実な治療
法はありませんが、
アルツハイマー
病にならないよ
うにするさ
まざま対策も報
告されています。
すでに述べた悪
化因子を減らす
こと、有酸素運
動や音楽療法、
社会参加などな
ど。しかし、何
の症状もなくこ
れらを一生懸命
するのはなかなか
難しいものです。

アルツハイマー
病患者さんでは、
脳の海馬傍回とい
う部位の萎縮が最
も早く起こります。
最近、脳MRIを撮
影し、この萎縮を
早期に検出できる
方法VSRADが考
案されました。
まだ新しい検査
法なので、この方
法だけでは、アル
ツハイマー病を
確定診断すること
はできませんが、
症状が出る前に
アルツハイマー
病を疑うことが
できるので、早
期に予防を開始
できる可能性があります。

予防対策は早い
ほど有効である
ことが分かっ
ています。また、
現在、進行を遅
らせる治療薬
を予防薬として
使用する研究も
進んでいます。

日野病院でも脳
ドックで認知症
検査が可能です。
ぜひ一度受診を
ください。

ここで、少し日
野病院の宣伝で
す。

野病院でもVSR
ADを行うことが
できます。通常診
療ではこれまでも
利用していますが、
4月から脳ドック
でもVSRADを行
うことにしました
（50歳以上の対
象）。

4月はキャン
ペーン期間として
脳ドック受診者
で希望の方には
無料で追加し
ます。キャンペーン
を過ぎると脳ド
ックの料金に追
加されます。200
0円（税別）が必
要となります。

この機会に一度
脳ドックを受けて
みて下さい。

野病院でもVSR
ADを行うことが
できます。通常診
療ではこれまでも
利用していますが、
4月から脳ドック
でもVSRADを行
うことにしました
（50歳以上の対
象）。



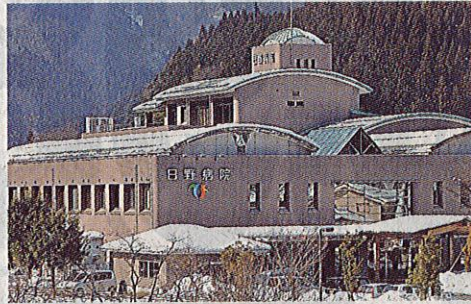
その他の新聞記事

小児科医が今春着任

小児科の常勤医がいなかった日野病院（日野町野田、孝田雅彦病院長）に今春、新たに小児科医が着任する。前任者の退職に伴う空席から2年ぶりの医師不足解消となる。週1回、鳥取大医学部からの応援でしのぎ、少子化にあえぐ中山間地域の医療圏をカバーする同病院は子育て世代の医療ニーズが強い週5日の外来診療体制を整え、4月にスタートさせる。

（山根行雄）

日野病院



懸案の小児科医確保が決まり、2年ぶりに週5日の外来診療を始める日野病院

常駐 2年ぶり 外来診療体制整う

14日の定例病院議会で病院側が報告した。

着任するのは江府町出身の竹茂幸人医師（68）。長く中山間地域の小児医療や小児救急を支え、2015年に出身地の介護老人保健施

設の施設長となり、昨年末に退職した。

日野病院によると、竹茂医師は嘱託医として週4日の小児科外来を担当。ただしローテーションから外れる月曜午後と木曜午前、金

曜は鳥取大医学部の応援で補う。ケースによっては夜間の急患にも対応し、常勤の小児科医が1人もいない日野郡内の医療ニーズに即応する考え。

小児科医の不在は日常的

な診察・治療だけでなく、小児などの定期予防接種やインフルエンザ予防接種の際にも影響。病院側は土曜に接種日を設け、対象の子どもや保護者に便宜を図るなどの対応で乗り切っている。

同病院副院長兼務の生田哲二事務局長は「関係者の協力で懸案だった小児科外来の診療体制が整う。今後も常勤医確保に努めたい」とし、医師確保に注力してきた組合管理者の景山享弘日野町長は「小児科医は若者の移住定住促進に欠かせない。外科医の増員もめどが立っており、日野郡の中核的な医療機関である日野病院の診療機能充実は加速させなければならない」と強調した。

5、広報誌 せせらぎ

せせらぎ

No. 59

平成29年 5 月発行
題字 孝田雅彦 病院長



日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



看護の日イベント
(9ページに関連記事)

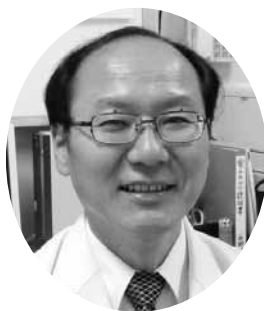
日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 小児科医療を通じ子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます
7. 検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します
8. 職員の人材育成に努め、地域に貢献します

新年度を迎えて



日野病院病院長
孝田 雅彦

明るくしてくれます。日野町に住んで初めての春は日野町の美しさを実感できる季節です。病院も新年度を迎え、より充実した病院となるためにいろいろと変化しています。

まず、外来では新しく循環器内科の先生に月曜日の外来診察を担当していただけることになりました。当院の弱点でしたので、これで患者さんにも安心していただけたと思います。また、金曜日には鳥取大学医学部分子薬理学教授の先生に一般内科として外来をお願いいたしました。元々は内分泌・糖尿病が専門の先生ですので、近年患者が増加している糖尿病を中心に診療していただく予定です。さらに月一回ではありますが、鳥取大学腎臓内科より透析患者さんの診察に来ていただいています。常勤内科医が1名減となりましたが、入院では総合診療科の先生方に入院患者も担当していただけることになり、外来から入院まで一貫して診てもらっています。当院は学生教育にも力を入れており、今年度より、鳥取大学医学部医学科5年生の学生が実習に毎週来るようになりました。まだまだ、慣れない面も多く、患者さんにはご迷惑をお掛けするかもしれませんが、彼らが将来日野地区の医療を支えることになりますので、自分

の子供、孫を育てるつもりでご協力いただきますようお願い致します。

また、日野病院職員表彰規程に基づく平成28年度の病院長賞は、訪問看護の分野で多大な功績のあった濱田辰美師長を表彰しました。濱田師長は訪問看護ステーションの充実化に中心となって活躍され、日野病院の看板として学会においても多くの発表をされています。この分野は今後も需要が多く、より高い質を目指してがんばっていただきたいと思います。また、病院長特別賞として当院の清掃を担当していただいているサンクリン株式会社の皆さんを表彰いたしました。日頃、当院に通院しておられる患者さんはおわかりかと思いますが、当院の清潔さは当院を訪れた多くの方々に賞賛されています。清潔であることは患者さんの第一印象を良くし、病気を抱えて不安な気持ちと和らげることができます。裏方の仕事ではありませんが、それを高い質を持って維持していることは本当のプロフェッショナルの仕事だと思います。病院職員一同感謝しております。

最後に、これまで看護局長として12年にわたって看護局をまとめていただいた小村裕美子看護局長が退職されました。看護局の発展と若手の育成に尽力され、多くの優秀な後継者を残していただいたことに大変感謝しております。

新年度を迎え、今後も住民の皆さんとともに改善しながら進んでいきたいと思っております。

タバコの害にご関心を

—眼疾患を中心に—

日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦



一度経験するとなかなか止められないタバコは、ニコチンを主成分にタール、一酸化炭素、窒素酸化物、アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド、ヒ素、ダイオキシン、カドミウム化合物をはじめ多数の有害物質を含む嗜好品ですが、これらの直接の毒性に加えて、生体に悪影響を与える酸化ストレスの亢進、さらに交感神経を介しての血管収縮の促進は、臓器局所の循環動態にも悪影響を与えます。

通常、喫煙は肺がんやCOPD（慢性閉塞性肺疾患）のほか、虚血性心疾患などの多くの疾患の危険因子として広く認識されています。しかし、喫煙により発症のリスクが高まる眼疾患に、加齢黄斑変性や白内障などが報告されていますので、今日タバコの害を考える上で、眼科担当医からのお願いとして、広く関心を持っていただければ幸いです。

加齢黄斑変性は、欧米の先進国では成人の視力低下や失明の主原因であり、最近では本邦でも増加傾向にあります。病変が目の奥の網膜の「黄斑部」にあるため、一旦障害されますと視機能が完全に回復するのが難しく、現時点では予防が最も有効とされています。

内外の疫学調査で、喫煙者では加齢黄斑変性発症のリスクが、非喫煙者に比べて約4倍にも上昇することが判明していますので、喫煙が最も強い危険因子の一つと考えられ、本症の発症予防のためにも禁煙が推奨されています。

老化や病気の元凶として、反応性の激しい不安定な原子や分子である「活性酸素」が脚光を浴びていますが、喫煙は活性酸素を増加させ網膜の老化を進行させるとともに、抗酸化物質であるビタミンCを破壊し、抗酸化物質の血中濃度を低下させ、脂肪の過酸化を促進することにより、黄斑部の変性を生じやすくするのではないかと考えられています。

いずれにしても喫煙者は加齢黄斑変性の発症に特に注意が必要であり、その予防のためにはぜひ禁煙の重要性を認識してもらう必要があります。

白内障に関しては、喫煙者には非喫煙者と比較して、約3倍の頻度で核あるいは後囊下中心の白内障が生じると報告されています。また、禁煙が核白内障の発症予防に有効であることも証明されています。

受動喫煙の影響については、疫学研究では有意な影響は証明されていませんが、動物実験では受動喫煙したラットにおいて、水晶体上皮細胞の重層化、水晶体線維細胞の浮腫、細胞核の拡大、水晶体囊の粗雑化などがみられ、透明水晶体眼においても調節力の低下の要因になる可能性は否定できません。今後は大規模な疫学調査で、受動喫煙を含めて、喫煙による調節機能への影響についても明らかにしていく必要があります。

加齢とともに眼瞼のしわ・しみなどが気になりますが、喫煙者は特にしわが目立ち、皮膚の色も黄ばんで、年齢の割に老けてみえるようになります。くれぐれも、ご用心を！

なお、本稿は、連載中の毎日新聞「ご近所のお医者さん」記事（2017年4月11日）に加筆したものである。

まいる互版

【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

ニューフェイス♪ご紹介

<連絡先>

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

新メンバーを迎え♪フレッシュで心地よい風を
皆様のもとへお届けします♪
今後ともよろしくお願い致します!!

在宅介護支援事業所
所 長



***医師* 加藤 雅之**

「元気」と「笑顔」をモットーに皆さんのニーズに応えられるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



訪問看護ステーション

4月より鳥大病院から派遣職員として着任しました。早速、日野の四季を肌で感じ、心穏やかな気持ちです。驚きや発見が多く、日々多くを学んで楽しく過ごしています。地域の方々と触れ合いを通じて、皆様の生活に少しでも寄り添えるように努めてまいりたいと思います。

***看護師* 船田 佳代**

5月から訪問リハビリの言語聴覚部門を担当させていただきます。食べること、話すことなどに不安のある方、気軽に声をかけてください。多くの方と出会えることを楽しみにしています。

***言語聴覚士* 柏尾 磨美**

利用者様の希望する生活や挑戦したいことなど、一緒になって考え、実現していけるようなリハビリが出来たらと思います。宜しくお願い致します。

***作業療法士* 佐山 久美子**

今年4月より訪問看護より居宅管理者に就任いたしました。

***ケアマネジャー*
毛利 富士美**



居宅介護支援



訪問リハビリ

以前は入院や外来患者様のリハビリ業務を担当しておりました。その経験を活かしつつ、新たな業務に邁進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

***理学療法士*
中村 友昭**

来年4月より復帰します!

***ケアマネジャー*
桑原 理沙**



今回は、「災害時に備えた食事」について考えてみたいと思います。

平成12年の西部地震の経験からも、災害発生後に被災者は大きな恐怖とストレスを受けました。

また、昨年秋には鳥取県中部地震が発生し、災害がより切実な問題となってきました。

水分をしっかりとる、できるだけ食べるなど、当たり前のことができないのが非常災害時。

そして、非常災害時は、“水”も“火”も制限されてしまいます。

みなさんはご家庭に、どんなものを備蓄しておられますか？

いつ起こるかわからない災害、いのちを守るため、少しでも食べるために、日頃から備蓄を心がけましょう！

備蓄食品の例（家庭でも常温で変質しにくいもの）

- ペットボトルの水 ●ジュース（野菜・果物）
- 乾麺（うどん・そうめん・そば・ビーフン・春雨など）
- アルファ米 ●即席めん（保存方法・賞味期限に注意）
- 缶詰（魚貝類・肉類・果物） ●瓶詰 ●レトルトパック
- 乾燥野菜（椎茸・大根・人参・南瓜・茄子・ごぼう・小松菜・かんぴょう・ほうれん草等）



備蓄食品活用

●アルファ米+乾燥野菜+缶詰を使って…

五目御飯（一品だけでも食べられる）

＜作り方＞アルファ米に乾燥野菜と湯を入れてご飯にし、柔らかくなったら缶詰をほぐして混ぜ合わせる。

●乾燥うどん+乾燥野菜(南瓜・人参・かんぴょう・茄子・わかめ等)を使って…

煮込みうどん（災害時の水は貴重です。少ない水で作る一品です）

＜作り方＞鍋に湯を沸かし、乾麺と乾燥野菜を加えて一緒に茹で、麺が柔らかくなったら味付をする。（乾麺の塩分が残っているので少量の調味料で充分です。）

今回は、作り置きのできるにんじんをたっぷり使った“あかねごはん”をご紹介します。手軽な材料でできますので、ぜひお試しください。

★あかねごはん

＜作り方＞

- ① 米は洗ってざるにあげ、にんじんはすりおろしておく。
- ② 炊飯器に米を入れ、だし汁・酒・しょう油を加える。
- ③ ②ににんじんをのせ（決して混ぜないこと）、油をたらして炊き上げる。
- ④ ③を上下に混ぜ合わせ、板わかめを小さくもんで加える。
- ⑤ 10等分にシラップに包み、おにぎりにする。



＜材料（10個分）＞

米・・・・・・・・・・300g(2合)
 だし汁・・・・・・・・400g
 酒・・・・・・・・・・30g
 しょう油・・・・・・10g
 にんじん・・・・・・200g
 油・・・・・・・・・・4g
 板わかめ・・・・・・4g

※冷凍保存ができますよ～♪ 栄養価（1個当たり） 123 kcal たんぱく質2.2g 塩分0.2g

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの 取り組みについて

総合診療科、春から変わりました！

2年前に日野病院での医療を開始した総合診療科ですが、この春から勤務体制が変更になりました！これまで月曜日から木曜日の「なんでもござれ」の総合診療外来を行なっていましたが、4月から病棟の入院患者のケアも主治医となって行っていくことになりました。入院診療のスタイルは外来同様、チーム制での病棟主治医という形を取らせていただいております。すなわち月曜日の入院患者対応は浜田、火曜日水曜日は朴、木曜日は井上、金曜日は谷口が対応する予定です。地域の方々には



実習風景

慣れないスタイルかもしれませんが、週末や時間外の待機対応も担当を決め、チームでしっかり情報共有した上で診療します。少しずつですが、総合診療医が外来、入院と切れ目なくケアしていける体制が整ってきました！さらに4月からは鳥取大学医学部の5年生が、5月からは6年生も加わって日野病院で地域医療を学びます。こちらも地域の皆様のご協力を重ねてよろしくお願いします。

鳥取大学医学部地域医療学講座

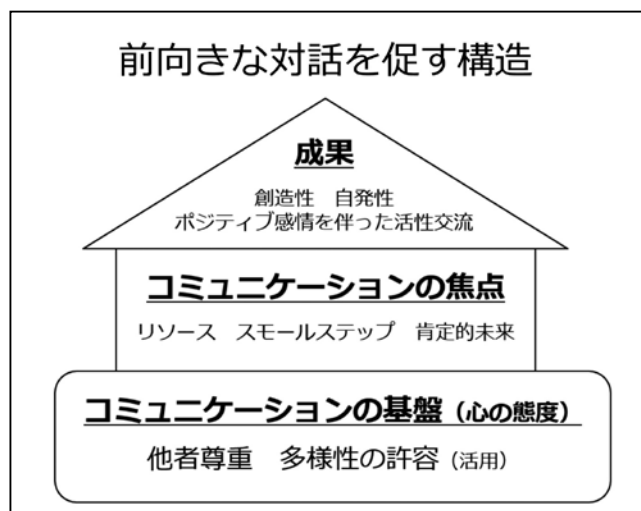
助教 朴 大 昊

日野のよいところは？—ソリューションフォーカス研修会開催！—

平成29年1月16日、ソリューションフォーカス・ラーニングディレクターの藤沢さつきさんに日野町にお越しいただき、『日野町地域ケアチーム研修会』を開催しました。地域の介護保健医療を支える専門職の方々に参加していただきました。ソリューションフォーカスとは、図にあるように、他者尊重や多様性の許容を基盤に、前向きな対話をする中で創造性や自発性を生み出す考え方です。今年度、このことについて日野町包括支援センターと協働しながら、地域包括ケアの推進に取り組んできました。その理解を深めるために、今回の研修会を開催しました。「自分の悩みをプラスの眼鏡でみると、自分の気持ちもすっきりし、人の良い所もみつけることができた」「価値観を知るためのツールだと感じた」「支援する住民さんのやる気がでる支援になるかも」などの感想の声が届いています。今後、ソリューションフォーカスを日野郡にも広げていこうと考えていますので、ご興味のある方は、ぜひご連絡ください！

鳥取大学医学部地域医療学講座

講師 井 上 和 興



この病(病)気

知っておきたいこんなこと

このコーナーでは、当院医師がみなさんに知ってもらいたい病気についての様々な情報についてお知らせします。

第2回

肺がんの原因と検診、治療の進歩

内科医師 泉 大 樹
(現在、鳥取大学医学部第三内科)

肺がんについて

日本における死因のトップはがんであることはよく知られていますが、そのなかでも最も死亡率が高いがんは「肺がん」です。肺がんの原因には様々なものがありますが最も明らかなものは「たばこ」であり、喫煙者の肺がん発生リスクは、非喫煙者と比べ4～5倍とされます。「禁煙」は肺がんの予防に最も重要で、既に何年もたばこを吸っている方でも、今からやめることで肺がんのリスクを減らせることが分かっています。

たばこの害は本人のみならず、家族などの周囲にいる人にも及ぼします。受動喫煙が原因で肺がんになる人もいますので、自分のため家族のためにもぜひ禁煙しましょう！

自力でやめられない人は、保険適応で「禁煙外来」がありますので、ぜひ利用してみましょう。

肺がん検診

たばこが肺がん発症の最も重要なリスク因子ですが、非喫煙者であっても肺がんになる可能性はあります。もしレントゲン検査で異常を指摘された場合は、CT（エックス線を用いて体の断層写真を撮影する）や気管支鏡（カメラ検査）による精密検査を行います。

死亡率が高く怖い肺がんですが、より早期で見つかった場合、完治する可能性が高いため、40歳以上の方は必ず年1回の胸部のレントゲンでの検診を受けましょう。

治 療

肺がんに対する治療は大まかに「外科手術」「放射線治療」「薬物療法」に分けられます。それぞれ肺がんの種類や進行度によって適切な治療法が選択されます。肺がんの治療は年々進歩してきています。

なかでも手術療法では「胸腔鏡手術」といって体の表面に数か所小さな穴をあけ、そこから内視鏡と手術器具を入れて行う手術が広まってきています。適応を慎重に判断する必要がありますが、開胸するより傷口がずっと小さく「高齢など、体力に不安のある患者さんにも行いやすい」体の負担が少ない手術です。

また薬物療法では肺がん細胞に生じた分子異常に対して特異的に作用する「分子標的治療」が登場してきています。

分子標的薬は効果が高い上に、従来の抗がん剤に多く認められた嘔気・嘔吐、食欲不振などの副作用は少ないです。分子標的薬の登場により、対象となる患者さんの寿命は飛躍的に改善しています。近年では、腫瘍細胞に対する自身の免疫応答を調整する薬剤が登場し、「免疫療法」も標準治療の一つとなっています。

肺がんにならないため、早期に発見するために禁煙・年1回の胸部レントゲン検診を行いましょう。万が一、肺がんを疑われた場合はかかりつけ医や専門施設の医師に相談しましょう。適切な診断、治療が行えるように尽力いたします。

新規採用職員紹介



看護師
石飛明日香

4月から看護師として、また社会人としての1年目が始まり、期待と不安でいっぱいですが、1つ1つ出来ることを増やして頑張っていきたいと思っています。わからないことがたくさんありますがよろしくお願いします。



看護師
高橋 徳章

4月から二階病棟で働かせていただく事になりました。患者様の安全で安心の出来る療養生活をサポート出来るように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



看護師
瀬藤 拓海

この度、新規採用となりました。仕事の習熟に励み、地域に寄り添いみなさまに信頼していただけるようになればと思います。どうぞよろしくお願い致します。



診療放射線技師
松田 貴寛

日野病院の放射線技師として働かせてもらいます。新人ですので至らない所があったらどんどん言ってください。勉強させていただきます。地域のみなさまに愛されるような立派な技師を目指していきます。よろしくお願いします。

病院正面玄関開錠時間の変更について

時間予約制の開始に伴い、平成29年7月1日から病院正面玄関の開錠時間を次のとおり変更します。

5時30分（現在） ⇒ 6時45分（7月1日～）

なお、夜間入口の開錠は7時です。（救急患者等時間外に病院に用事のある方は、あらかじめ電話等で問い合わせください。）

改善 患者様の声（改善点）



このコーナーでは、患者様からいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからもお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）
また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎入院中BS放送を見ることができないので、楽しみにがなくて残念です。
テレビの画面が方向により見えにくいので、見えるようにしてください。

平成28年12月から、病室でBS放送をご覧いただけるようにいたしました。周りの患者さんにご迷惑とならないようにご利用ください。
また、角度により画面が見にくいとのこと意見をいただき、テレビの角度が変えられるよう、テレビのアーム付の床頭台に交換しました。

◎日野病院に行く、待ち時間が信じられないほど長く、朝早くから順番取りに行かなくてはなりません。
体調が優れない人にとっては大きな負担になります。何時から診てもらおうというのがはっきり分かる様に、時間予約制にしていきたいです。

この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。時間予約制度については以前からご意見をいただき、院内で協議を重ねていましたが、2月から時間予約を一部の診療科（内科（常勤医師のみ）・外科・整形外科）で実施しました。詳しくは、せせき58号（平成29年1月発行）をご覧ください。なお、時間予約の開始に伴い、予約以外の受付時間が変更となっておりますのでご注意ください。（外来診療案内に記載しています。）

◎検査室横のトイレは検尿でよく使うのに、手洗い後の水を空気で飛ばす機械がペーパータオルをおいてほしい。
検査室横のトイレと身障者用トイレに、水を空気で飛ばす機械（ジェットタオル）がありませんでしたので、設置いたしました。

◎外来の水飲み場とところに備えてある紙コップですが、下に引く張ると一度に2〜3個が出てしまい、もったいないので紙コップホルダーを一個つつ確実に出るものに交換した方がよいと思います。

一個つつ取り出せる紙コップホルダーに交換しました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

看護の日イベント

テーマ ～広めよう・支え合おう・見守りの輪～

5月12日、看護の日にちなんでイベントを開催しました。ロビーに設置した認知症タッチパネルコーナーでは、「物忘れは心配ありません」という診断にホッとした様子で帰られる姿や、体脂肪率測定コーナーでは、体脂肪率の数字に落ち込まれる姿がありました。

また、外来待合棟に設置したカフェでは、お茶を飲みながら、看護師たちに普段の悩みを相談されたり、最近の出来事を話すなど、みなさんそれぞれの時間を過ごされていました。当日は、日野町、江府町の保健師、鳥取大学保健学科の学生、日野町内のボランティアの方々にもご協力いただき、地域とともにイベントを実施することができました。



ロゴマーク受賞作品 発表の延期について

4月20日まで募集していたロゴマークの受賞作品を当初、5月初旬を目途に発表することとしておりましたが、予想を上回る応募があり、慎重に審査させていただくために受賞作品の発表を延期させていただきます。発表の時期は、6月上旬を予定しており、受賞者に直接通知させていただくとともに、ホームページ上に掲載いたします。何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

車椅子を寄贈して いただきました

4月5日、ごうぎん一粒の麦の会様より、車椅子1台を寄贈していただきました。日野病院で行われた贈呈式では、山陰合同銀行常務執行役員米子営業本部長の浅野裕好様より孝田病院長へ目録が手渡されました。いただいた車椅子は病棟にて活用させていただきます。ごうぎん一粒の麦の会様、ありがとうございました。



連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉

春の暖かさに次々と花が咲き、木々も芽吹いています。

四月には、伯太へ行き、広大な畑で満開の色とりどりのチューリップを見てきました。シンボルのオランダをイメージしたパステルカラーの風車が、一面に広がるチューリップ畑を異国情緒満点に引き立てていました。次はどこでかけようかな。

(吉)

日野病院 外来診療案内

最新版 H.29.5～

午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一 診	午前	笠原 尚		細田 讓 (第1・3週) 松本和久※1 (第2・4週)	泉 大樹	今村武史
		午後			松本和久※1 (第2・4週)	泉 大樹	
	二 診	午前	孝田雅彦	孝田雅彦	孝田博輝	岸 真文※1	中本成紀
		午後			孝田博輝		中本成紀※3
	三 診	午前		加藤雅之	熊野健太郎	熊野健太郎	加藤雅之
		午後					
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大学医師	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	山下尚寛	山下尚寛	山家健作	山下尚寛	山下尚寛
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦	稲田耕大	玉井嗣彦	大谷史江
総合診療科		午前	朴 大昊	谷口晋一	井上和興	濱田紀宏	
		午後	朴 大昊	谷口晋一			
専門診療科 (大学医師他)		午前	肝臓内科 孝田雅彦	小児科 大学医師	消化器内科 孝田博輝	耳鼻科 竹内裕美	呼吸器内科 中本成紀
			循環器内科 笠原 尚	女性診療科 秦 幸吉	血液内科 細田 讓 (第1・3週)	脳神経内科 岸 真文※1	
				皮膚科 大学医師	糖尿病外来 松本和久※1 (第2・4週)	泌尿器科 引田克弥	
					禁煙外来 熊野健太郎※2		
		午後		小児科 大学医師	消化器内科 孝田博輝		呼吸器内科 中本成紀※3
				心臓外科 西村元延 (第1・3週)	糖尿病外来 松本和久※1 (第2・4週)		心療内科 山梨豪彦
				ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)			
				血管外科 藤原義和 (第2週)			

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前 = 7時30分～10時30分
 - 午後 = 正午～15時 (第2・4週の呼吸器内科・心臓外科・ペースメーカー・血管外科・心療内科)
 - 午後 = 正午～16時 (消化器内科・木曜日の内科・第1・3・5週の呼吸器内科・総合診療科・小児科)
- 診療開始時間
- 午前 = 9時～
 - 午後 = 14時～
- 休 診 日
- 土曜日・日曜日・祝日
 - 8月14日・15日
 - 12月29日～1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
 予約日(時間)変更 <内 科> 72-2721(常勤医師のみ)
 <外 科> 72-2719
 <整形外科> 72-2720

- ※ 1 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※ 2 禁煙外来(水曜日)の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。
- ※ 3 呼吸器内科の第2・4週の受付時間は、午後3時までです。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで)		(H.29.5月～)				
診療科目	月	火	水	木	金	
内科	一診	笠原		血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	泉	今村
	二診	孝田雅彦	孝田雅彦	孝田博輝	(脳内)	(呼吸器)
	三診		加藤	熊野	熊野	加藤
総合診療科	朴	谷口	井上	濱田		
外 科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤	
整形外科	山下	山下	山家	山下	山下	
眼 科	玉井	玉井	稲田	玉井	大谷	
そ の 他 (大 学)	肝臓内科	小児科	消化器内科	耳鼻科		
	循環器内科	女性診療科	禁煙外来	脳神経内科	呼吸器内科	
		皮膚科	血液内科(第1・3週)	泌尿器科		
午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)		月	火	水	木	金
診療科目	総合診療科	総合診療科	消化器内科	泉	呼吸器内科	
内 科	小児科					
	心臓外科(第1・3週)※		消化器内科		呼吸器内科	
	ペースメーカー(偶数月第3週)※		糖尿病外来(第2・4週)		心療内科※	
その他(大学)	血管外科(第2週)※					

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。
(切り取って財布等に入れご利用ください)



日野病院組合だより

せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

No. 60
平成29年 9月発行



日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



(10ページに関連記事)

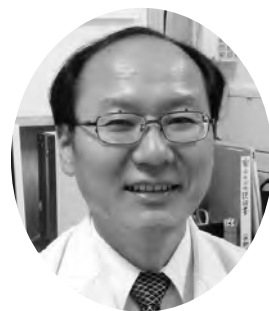
日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づく医療に努めます
7. 地域住民の心と身体の健康的な生活を維持増進する予防指導をはじめ、ドック検診事業を積極的に展開します
8. 人材育成に努め、地域に貢献します

ご挨拶



日野病院病院長
孝田 雅彦

過ぎ、四季を経験し、雨にも雪にも慣れました。夏は暑くて夏らしく、冬は雪があり冬らしく、四季のメリハリがあり、季節を楽しめます。ただ一つ、カメムシには閉口します。

さて、病院では昨年度の決算ができました。黒字決算で職員一同安堵しております。これは住民の皆さんのご協力と職員の頑張りによるものであり、病院長として感謝申し上げます。日野病院は岡山県北部の一部を含めて鳥取県西南部地区の急性期、回復期、慢性期そして終末期の医療を担っております。厚労省は病院の機能分担を進め、病院減らし、病床削減をしようとしておりますが、過疎地では機能分担すべき病院も近くにはなく、患者の利便性を考えれば高度な医療設備を必要とする疾患以外は一つの病院で完結するのが理想といえます。医師、看護師、薬剤師などスタッフ不足という問題を抱えています。なんとか住民の皆さんに不足のない医療を提供するために今後も努力していきたいと思えます。

さて、医療の質を担保することは病院にとって大変重要な問題です。過疎地の病院であるからといって、医療の質を落とすことはできません。小規模な病院はそれなりの工夫をして診療のレベルを落とさないように努力しています。その例として、最近導入した新たな診断法をご紹介します。一つは手のひらに乗るほどの小さいタブレット型超音波装置です(図1)。画質は通常の超音波には及

びませんが、心不全、脱水症、胆のう炎、尿閉、胸水、腹水の診断には有用です。特に、病院に受診が困難な在宅診療や老人保健施設において極めて有用です。今後、訪問診療や施設への往診に持参していきたいと考えています。もう一つはMRIを用いた全身のがん診断です。30分程度の検査で頭から足まで全身の検査が一回でできます。特に、一度がんになって治療後経過観察を行っている患者さんで全身への転移がないかを調べるのに有効と考えています。例えば、乳癌の患者さんでは肺や肝臓、骨などに転移していないかを調べるために肺のCT、肝臓のCT、骨シンチグラフィ、場合によっては高額なPETを取らないといけませんでした。それがMRI全身拡散強調画像(DWIBS)ですべて見る事が可能です。まだ、一部の先進的な医療機関でのみ行われているだけです。あまり普及していません。鳥取県でもほとんど行われていません。当院では7月より開始しており、普及させたいと思っています。今後、さらにMRIの画質が進歩すれば、がん検診も一回のMRIでできるようになると思います。今のように胃カメラを受けて、胸部レントゲン写真を撮って、大腸カメラを受けて、女性ならマンモグラフィ、子宮頸がんの細胞診と多くの検査を受けなければなりません。それが一回のしかも注射もなく寝ているだけで検査が終わります。昔のテレビ番組の宇宙大作戦で棒のようなものをかざすだけで診断できたのと同じことが可能となります。この二つの検査法については今後のせせらぎで随時詳細をお知らせいたします。

暑い夏が終わってから夏バテをおこす患者さんが多くいます。油断しないように、夏の疲れを残さないよう体調に気をつけてください。



図1

日野病院日誌

—17度目の秋の感慨—

日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦



やっと秋めいてきましたが、今年の夏は例年にない猛暑で大変でしたね。皆様、体調管理はいかがでしたか。くれぐれもご自愛の上ご活躍下さい。

私は鳥取大学を定年退職後、鳥取県西部の自治体病院の一つである日野病院に名誉病院長として赴任してから、早くも17度目の秋を迎えました。

今日の医療界をとりまく“改革の嵐”の中では、“待ちの医療”からの脱却や、“癒しの医療”の構想は、私に関係した3人の歴代の堀江 裕、浜副隆一、櫃田 豊前病院長に引き続いて孝田雅彦現病院長の目標で、その実現に向って関係各位がこぞって努力してきたところです。

人は年齢を重ねるほどに、生きているうちは元気でいたいという思いが強くなるのは当然ですが、あわせて多くの友人、同僚、家族とともに、共に生きる喜びを肌で感じたいと思うものです。

私は、105歳までお元気で東京・聖路加国際病院の名誉院長として活躍しておられた日野原重明先生（去る7月18日、ご逝去）が、2000年に設立された「新老人の会・鳥取支部」の会員でしたので、時々お会いする機会がありました。その際、ご本人はいつも「しんどいけどな、仕事があるから幸せなんだ」と、その都度5年先のスケジュールが一杯書かれた手帳をかざして、我々を鼓舞して下さいました。

① 70歳になれば、新しいことを創める、また腹七分目に、② 80歳になれば、よく歩き、若い者と好んで接する、③ 90歳になれば、心の思うままに生きる、④ 100歳になれば、よい友を持ち、わがままに生きる—これが先生の人生訓でした。

医療従事者としての立場からしますと、日野原イズムは、現場で患者さんと「苦しみや治る希望、喜び」を分かち合えるように、「勇気を持って老後の生き方を選ぼう」と呼びかけておられたようです。

「敬老の日」も過ぎましたが、今生まれた人が介護などを受けずに自立して何歳まで過ごせるかを示す健康寿命の平均値は、日本が男女とも世界最長（2013年）で、女性74.21歳、男性71.91歳と報告されています。

今日まで、この傾向に大差はありません。しかし、最近健康寿命を損わせる危険因子の一つに「視力障害」があることをスタック博士らは、文献的考察により指摘しています。

すなわち、視力障害を有するグループでは認知機能が低いこと、心理的な負担、うつをも増加させることなどが報告されており、健康寿命の維持、延長のためには、視覚が重要な鍵となるといっても過言ではありません。

見えにくい視力（ロービジョン）は、世界保健機関（WHO）の基準では、「矯正視力が両眼で0.02以上0.3未満」と定義されていますが、実際にはまだ確立されていないのが現状です。日常生活で、本人が視覚的に困難さを感じたときが、ロービジョンケアの対象者になると考えられます。

今や私が専門とする眼科診療は予防や治療だけでなく、高齢者の要介護状態になるのを防ぐためには、従来の受け身の医療から、成人眼科検診の充実など能動的姿勢に転換することが求められています。微力ながら、努力したいと思います。

平成28年度決算のご報告

— 96,533千円の黒字決算となりました!! —

去る8月31日に開催された日野病院組合議会において平成28年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

病院収益ですが、外来患者数は小児科の減により減少しましたが、入院患者数は大幅に増加しました。診療単価は、外来・入院ともに増加しました。医業収益・医業外収益がともに増加したため、収益全体で大幅な増収となりました。また、在宅介護支援事業についても、訪問看護・訪問リハビリ・居宅支援が増加したため増収となりました。診療所は、患者数が減少したため減収となりました。一方費用ですが、給与費、材料費、経費、委託費等の増により増加となりました。決算額は、96,533千円の黒字決算となりました。

日野病院組合事業決算概要

○病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

（単位：千円）

（単位：千円）

区 分		2 7 年 度	2 8 年 度	増 減	備 考
収益	医業収益	1,183,632	1,324,096	140,464	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	63,262	72,381	9,119	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	402,818	404,606	1,788	負担金交付金、補助金、長期前受金戻入等
	収益合計	1,649,712	1,801,083	151,371	
費用	医業・介護費用	1,629,376	1,666,210	36,834	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	33,497	38,340	4,843	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,662,873	1,704,550	41,677	
決 算 額		△13,161	96,533	109,694	

資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		((流動負債等－控除引当金)－流動資産) / 営業収益×100
資金不足負担金発生までの額	460,570	498,378	37,808	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生
年度末退職給与引当金残高	276,273	278,422	2,149	引当額70,201千円 退職金支払額68,052千円（11名）

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

1. 病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（％）		
	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減
(1) 入院診療	26,122	29,222	3,100	29,422	30,435	1,013	72.1	80.9	8.8
(2) 外来診療	37,292	37,005	△ 287	8,690	8,995	305			

2. 在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減
(1) 訪問看護等	5,182	5,869	687	12,208	12,333	125

3. 診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減
(1) 黒坂診療所	534	512	△ 22	4,038	3,921	△ 117
(2) 二部診療所	47	41	△ 6	4,969	4,774	△ 195

○ 部門別各種統計（抜粋）（単位：件または人）

1. 病院事業

手術件数	27年度	28年度	差引
外科	52	59	7
整形外科	102	95	△ 7
眼科	111	99	△ 12

栄養管理室状況	27年度	28年度	差引
入院時延べ食数	64,485	73,387	8,902
外来透析食数	888	975	87
栄養指導	526	524	△ 2

理学療法状況	27年度	28年度	差引
運動器リハ(Ⅰ)	5,081	10,454	5,373
呼吸器リハ(Ⅰ)	1,638	3,261	1,623
脳血管リハ(Ⅱ)	2,045	4,329	2,284
退院時(前)指導	347	431	84
徒手(器具)の処置	658	533	△ 125
地域包括ケア病床分	13,181	13,365	184

内視鏡検査	27年度	28年度	差引
胃カメラ	641	713	72
大腸ファイバー	93	120	27
嚥下造影	15	6	△ 9
気管支鏡	4	5	1
胃ろう造設術	14	22	8
膀胱鏡	20	33	13
ステント交換	18	25	7

検査室状況	27年度	28年度	差引
血液検査	20,193	22,708	2,515
尿検査	5,236	4,758	△ 478
心電図	1,685	1,673	△ 12
呼吸機能	422	447	25
眼底カメラ	271	279	8
脳波	12	12	0
血圧脈波	116	268	152

作業療法状況	27年度	28年度	差引
運動器リハ(Ⅰ)	2,114	2,821	707
呼吸器リハ(Ⅰ)	200	1,226	1,026
脳血管リハ(Ⅱ)	820	1,752	932
地域包括ケア病床分	1,471	2,774	1,303

超音波診断検査	27年度	28年度	差引
腹部エコー	634	898	264
心甲乳エコー	244	104	△ 140

放射線室状況	27年度	28年度	差引
単純撮影	6,197	6,650	453
ポータブル	831	900	69
骨塩定量	565	578	13
乳房撮影	9	13	4
訪問撮影	64	38	△ 26
C T 検査	1,555	1,858	303
M R I 検査	563	802	239

言語聴覚療法状況	27年度	28年度	差引
脳血管リハ(Ⅱ)	2,806	2,876	70
摂食機能療法	1,496	2,611	1,115
地域包括ケア病床分	1,189	108	△ 1,081

薬局状況	27年度	28年度	差引
服薬指導(人数)	324	359	35
服薬指導(件数)	518	596	78
処方箋枚数	9,826	9,189	△ 637
薬剤数	30,420	28,446	△ 1,974
注射箋枚数	13,495	13,618	123

人工透析状況	27年度	28年度	差引
実日数	209	228	19
実人員	148	164	16
延べ人員	1,804	1,995	191

検診実施状況	27年度	28年度	差引
人間ドック	199	212	13
脳ドック	66	61	△ 5
生活習慣病検診	119	123	4
婦人がん検診	64	75	11
予防接種	1,993	1,767	△ 226
特定健診	13	9	△ 4
事業所健診	19	33	14



2. 在宅介護支援事業

訪問看護状況	27年度	28年度	差引
実人員	513	593	80
延べ人員	1,734	2,189	455

訪問リハビリ	27年度	28年度	差引
実人員	647	696	49
延べ人員	3,448	3,680	232

居宅支援	27年度	28年度	差引
介護	1,117	1,242	125
予防	499	603	104

まいる互版

<連絡先>

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

看護を楽しめた6か月間、
ありがとうございました!!!



看護師
船田佳代

4月から派遣職員とし訪問看護ステーションで勤務し、あっという間に半年が経ちました。日野地域には生命力あふれた90歳以上の高齢者の方々がとても多くおられることに驚いています。独居でも自立して生活されている方は勿論、介護が必要な方に対しては個人の尊厳を大切に、御家族の理解、献身的な介護のもと自宅で生活される光景を目の当たりにしました。利用者さんの人生背景を少し覗かせて頂きながら住み慣れた場所でその人らしく最後まで生き抜くことが実現可能な素敵な地域であると感じました。それを達成するには、関係部署との情報交換や密な連絡調整が必要であると理解でき、それらは地域会議への参加により地域での顔の見える関係と連携の充実が図れていることが凄く重要であることも体感しました。治療の場ではなく生活の場としての視点で見たとき、利用者さんの笑顔や自由さがどんどん好きになり今では愛おしさも感じています。その人らしさを失わずに、どうすれば普通の生活に取り込んでもらえるのか、いつもアンテナを張り巡らして情報を得て、スタッフらと一緒に悩みながら策を練る日々、提案介入して跳ね返ってくる喜びを分かち合う日々、病棟勤務とはまた違う視点で見て考える経験ができたことに感動しています。私の中で初めて看護を楽しむという意味が少し分かった気がしました。反面、利用者様が入院中から地域に戻る際の課題も見えてきました。今回、関係者の皆さまにはお忙しい中、細やかな配慮と準備体制で迎えて頂き、人間味溢れる温かい方々との出逢いができたことに心から感謝感激の思いで一杯です。

今は看護の原点を見つけることができた気分で、私の理想とする看護師像や看護観を深めることができたかけがえのない貴重な時間となりました。



～平成28年度訪問リハビリ満足度調査結果～

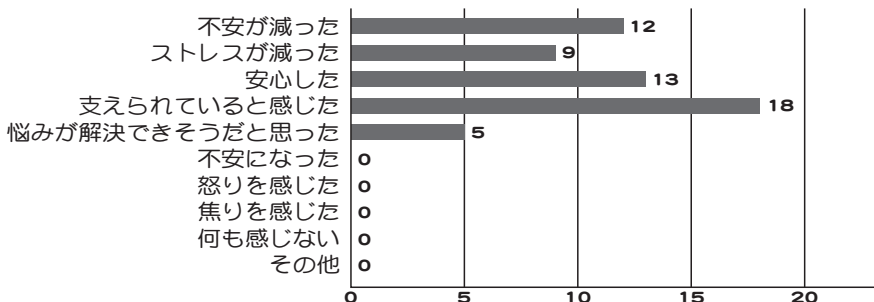
平成28年2月から3月にかけて、訪問リハビリ利用者様の満足度と質の向上を目的に、アンケート調査を行いました。アンケート結果より、訪問リハビリを受けられた多くの方が、「身体の動きや痛みが良くなった」「スタッフと関わることで、在宅生活における不安な点等が改善され、心理的にもプラスの効果があつた」との回答を頂きました。今回ご意見を頂いた対話時間の延長や担当が交代する場合の対応なども含め、訪問リハビリ内容やスタッフの接遇の見直しを行い、サービスの質の向上に努めていきます。

お忙しい中、貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。

☆ご家族からのお言葉☆

「訪問リハビリの時間は本人が会話を楽しんでおり喜んでいましたし、家族の思いも聞いてリハビリに生かして頂いて、助けられています」

訪問リハビリスタッフとの関わりで感じた事



【食生活の見直しで生活習慣病を予防しましょう!】

生活習慣病の予防には、日頃から「規則正しい食生活」「適度な運動」「休養」を心がけ、良い生活習慣を身につけることが大切です。そこで今回は、生活習慣を見直すため、自分自身の食生活を振り返ってみませんか。

☆食生活チェック☆

朝食を食べないことがよくある
味の濃い食べ物が好き
揚げ物が好きでよく食べる
野菜や海藻が少ない
満腹になるまで食べてしまう
インスタント食品をよく食べる
甘い飲み物をよく飲む
夜遅くに食事をすることが多い
ほぼ毎日間食をしている
外食やファストフードをよく食べる

チェックの数が**4個以上**の人は、生活習慣病のリスクが高い人です。生活習慣病は多くが予防できる疾患です。普段の食生活に心当たりのある方は毎日少しずつ改善していきましょう。



☆食事はバランス良く整えましょう。

「主食」「主菜」「副菜」をそろえると、糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルの**五大栄養素**をまんべんなく摂取できます。

主食



(ご飯、パン、麺など)
エネルギー源

糖質が主成分です。摂取するエネルギーの半分は主食からとる

主菜



(肉、魚、卵、大豆製品等)

筋肉や体をつくる材料となる

副菜



(野菜、きのこ類、海藻類など)

体の調子を整える働き



もう1品

(牛乳・乳製品、果物など)

水分補給に調理に



今回は、減塩でも美味しい“あじのボン酢煮”をご紹介します。手軽な材料でできますので、ぜひお試しください。

☆あじのボン酢煮



☆材料(4人分)☆

アジ	4尾
玉ねぎ	240g
人参	60g
細ねぎ	40g
ボン酢しょうゆ	80cc
お湯	200cc

☆作り方☆

- ①アジはえらを除き、ぜいごをそぎ取る。3枚におろし、そぎ切りにする。
- ②玉ねぎはスライスする。人参は4cm長さの細切り、細ねぎは小口切りにする。
- ③鍋にアジを入れ、玉ねぎ、人参をのせる。ボン酢しょうゆ、酒、お湯を加え強火にかける。煮立ったら落とし蓋をし、中火で約10分煮る。器に盛り、細ねぎを散らす。

毎朝、起床時、排尿後に体重と体脂肪率の変化を確認することによって、前日の「エネルギー摂取量」と「エネルギー消費量」の状況を確認し、自分の食事の適正量を把握できるようになります。

日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

・医学生の実習2での充実した（慌ただし）日々

今年も鳥取大学生がお世話になり、ありがとうございます。

今年の4月から医学科5年生が毎週2～3名、さらに5月から8月上旬まで6年生が延べ6名、日野病院で実習を行っています。日頃から、学生には職員ならびに利用者の皆さまから「良い医師になってほしい」などの励ましの声をいただき感謝しております。

今年の6年生には、外来に時々出てもらいながら、病棟で同じ患者さんを入院から退院まで担当してもらいました。最初は四苦八苦している様子でしたが、徐々に私たち担当医以上に患者さんの背景、人となりなどを深く理解しながら、自分で広く深く考えるようになっていく成長のスピードに私たち教員は驚かされました。また、病院職員の方々、住民さんと長く深い関係を築き、時には患者さんのお宅、病院周辺にお邪魔しながらとても貴重な体験ができた、6名の学生は振り返っていました。



6年生に5年生を指導してもらいました

日頃、学生が受け身で取り組むことの多い医学教育ですが、今回、学生に責任感を持って診療してもらい、疑問に思ったことを必ず自分で調べて患者さんに還元する仕組みで、4週間続けたのが大変良かったのではと考えております。

現在、計3日間お邪魔している5年生にも日野病院で貴重な経験を積んでもらえるよう、私たち教員は日々試行錯誤を行っております。今後とも、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

鳥取大学医学部地域医療学講座

准教授 浜田 紀 宏

・学生たちが集まるサテライトセンター日野病院

日野病院に地域医療総合教育研修センターができて3年がたちました。今年4月からは、鳥取大学医学部5年生の臨床実習1を受けるようになり、毎週のように日野病院に医学生がきています。そして、4月からは総合診療外来だけでなく病棟患者さんも私たちが担当するようになりました。当初は、教室メンバー複数交代で、外来と病棟対応をおこなうため、入院患者さんや家族が混乱されるのではないかと不安でしたが、今のところ大きなトラブルもなく順調にすすんでいます。これも、日頃バックアップいただいている病院スタッフや事務職、そして何よりも住民の皆様のおかげの支援あつてのことと考えています。実際に、総合診療外来で患者さんをみた5年生、病棟で入院患者を担当した6年生、いずれも素晴らしい感想を残してくれています。

「初診患者さんをはじめて自分の力で診ました」「大学では、指導医の姿を見学するだけでした」「1ヶ月間、患者さんを担当して愛着がわいてきました（6年生）」

などなど。たとえ学生であっても、「自分が責任をもって患者さんと対峙する」という経験なくして、真の意味での成長はないと感じます。大学病院の臨床実習では、どうしても一歩ひいた形での見学主体になってしまいがちです。しかし、日野病院はちがいます。自分が主役として責任をもって患者さんを診る。この貴重な臨床実習は、日野病院のサテライトセンターだからこそできる教育です。今後とも、地域医療総合教育研修センターでの学生教育がさらに充実しますように、病院スタッフならびに住民さんの変わらぬご支援をお願いしたいと存じます。

鳥取大学医学部地域医療学講座

教授 谷口 晋一



センターについて

この病気

知っておきたいこんなこと

このコーナーでは、当院医師がみなさんに知ってもらいたい病気についての様々な情報についてお知らせします。

第3回

大腸がんQ&A

内科医師 加藤 雅之

・大腸がんってどんな病気？

大腸がんとは文字通り大腸（盲腸・結腸・直腸の総称）にできるがんのことです。

日本における死因のトップはがんであることはよく知られていますが、その中でも大腸がんは年々増加の一途をたどり、今ではがんで死亡された方のうち、女性では1位、男性では3位となっています。原因としては様々のものがありますが、現代的な高カロリーの食事や長時間のデスクワーク、高齢化などの影響が大きいとされています。

しかし大腸がんは決して怖い病気ではなく、早期に見つけて適切な治療を受ければ大半は治る病気です。そのためには大腸がんについての正しい知識を得て、よく理解することが大切です。生活改善による予防に取り組み、検診を積極的に受診され、早期発見・早期治療に努めていただきたいと思います。

・大腸がんを予防するには？

残念ながら、大腸がんを完全に予防する方法というものはありません。しかしながら運動と食生活でなりにくい体づくりをすることは可能です。

まず、適度な運動をすることが大切です。実際に日常的に運動している人は、運動していない人と比べて大腸がんになる確率は50%くらいと言われています。意識して毎日1時間程度は歩く、休みの日は運動して汗をかいてみるなど心がけてみましょう。

次に食生活です。大切な栄養素としては、食物繊維が知られており、食物繊維の多いものとしては野菜、イモ類、豆類、海藻類などがあります。食生活が乱れがちな人は、1度食事内容を見直してみることも大切です。

・大腸がん検診とは？

大腸がんの検査というと、大腸を直接診察する検査を思い浮かべるかもしれませんが、大腸がん検診では便を検査することで、がんにかかっているかどうか調べることができます。また食事制限なども必要なく、自宅でできる簡単な検査です。

前述したように、大腸がんは早期に見つけて適切な治療を受ければ治る病気です。

しかしながら、早期のうちは自覚症状がないことが多く、症状が現れた時には既に進行している可能性があります。だからこそ、自覚症状がない時でも、1年に1度は大腸がん検診を受け、早期発見・早期治療に努めることが大切です。

日野病院ロゴマーク 決定!!



今回決定したロゴマーク

《勝瀬さんコメント》

“ひの”という文字に、日野川とおしどりをイメージしました。
自分も小さいころから日野病院にお世話になっているので、今後
もこのロゴマークが日野病院で使用されるということで、大変嬉し
く思っています。

この度、当院のロゴマークを募集したところ、全国各地から75件もの応募をいただきました。厳正なる審査を行った結果、日野町在住の勝瀬友浩さんの作品が日野病院のロゴマークに決定しました。また、日南町在住の住田絢さんの作品を病院長特別賞とさせていただき、6月28日に授賞式を行いました。

ご応募いただきました皆さまには、この場を借りてお礼申し上げます。



揃いのはっぴ 踊り子連

7月15日、毎年恒例の『ねう祭り』が開催され、今年も日野病院組合互助会として参加させていただきました。考田病院長をはじめとした約50名の踊り子連が、沿道の皆様の声援を力に根雨の町を踊り歩きました。たくさんのご声援と拍手、またご祝儀を頂きましたことに厚くお礼を申し上げます。



改善 患者様の声（改善点）



このコーナーでは、患者様からいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）

また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎会計のところに手荷物を置く台のようなものが欲しい。

会計のところと再来機前の診察券を準備いただくところに、手荷物を置く台を設置しました。ご利用ください。ご意見をいただきましたありがとうございます。

◎階段を上り下りする時に、床に階数表示があったらと思います。壁にはありますが、見えにくいです。

ご意見をいただきありがとうございます。ご指摘のとおり、階数表示があった方が分かりやすいと思います。2階と3階の踊り場から見やすいところに表示をしたいと思っています。

◎洗面台の下に配管があつて、車いすの方は使いづらいと思いますが、いかがでしょうか。

ご意見をいただきありがとうございます。以前にも同様のご意見をいただき、実際に車いすで確認をいたしました。配管が支障となることはありませんでした。現在のところ配管の取り替えについては必要ないと考えています。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

夕涼み会

8月4日（金）に夕涼み会を開催しました。
今年もたくさんの方々にお越しいただき、ありがとうございました。

今年は、元栄養士さん山内さんによる手品、タッチの安達さんに歌を披露していただきました。山内さんは、この日のためにと明るい色の衣装で登場され、アッと驚くような手品で誰もが真剣なまなざしで観ていました。安達さんは、「地域の皆様や、入院患者さん誰もが幸せになってほしい、前向きにと願いを込めて」と歌って下さいました。綺麗な声に聞きほれていました(*^^)v

最後に、スーパーボールや輪投げ、スカットボール、ビンゴボードゲームなどのゲームに参加していただきました。みなさんに楽しんでいただき、嬉しく思いました。

今後も、楽しんでいただけるようなイベントを企画していきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。



〈編集後記〉

夏の暑さが徐々に和らぎ、過ごしやすくなってきました。我が家も梨の収穫全盛期を迎え大わらわです。畑は冬野菜の植え付けなどの作業をしていますがおいしい野菜ができるかな。

(野)

《委託業者紹介》 一株式会社 メフォス一

日野病院で働いていただいている委託業者さんを紹介するコーナーです。今回は、給食委託業者「株式会社メフォス」の神崎栄養士さんにコメントをいただきました。



メフォスは、「安全・安心」をモットーにおいしい食事を提供できるよう努力しています。

また、患者さまに喜んでいただけるよう行事食や旬の食材を使用した月1回の松花堂弁当、年2回のにぎり寿司の提供などもしています。

株式会社メフォスではスタッフを募集しています！

仕事内容：日野病院内厨房での給食業務全般（調理・盛付・配膳・洗浄等）

雇用形態：準社員、日給社員、パート（各時間帯による作業）、階級別正社員登用制度有り

勤務時間：午前5：30～午後19：00の時間内での交替勤務～勤務時間帯は別途ご相談可能です

調理師（員）・栄養士等は8時間勤務＋60分休憩が主な勤務時間です

給 与：職種・時間帯・経験等により異なります。

☆まずは下記までお気軽にご連絡ください

株式会社メフォス西日本事業部 山陰営業所
TEL：0859-33-9693

メールアドレス：katsuda_taiji@mefos.co.jp

担 当 者：滑田泰司（かつだたいじ）

連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地

TEL 0859-72-0351

FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地

TEL 0859-74-0351

FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4

TEL 0859-62-0351

FAX 0859-62-0351



切り取り線

日野病院 外来診療案内

最新版 H.29.10～

午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一 診	午前	笠原 尚		細田 讓 (第1・3週) 松本和久※1 (第2・4週)	大学医師	今村武史
		午後			松本和久※1 (第2・4週)	大学医師	
	二 診	午前	孝田雅彦	孝田雅彦	孝田博輝	岸 真文※1	中本成紀
		午後			孝田博輝		中本成紀※3
	三 診	午前		加藤雅之	熊野健太郎	熊野健太郎	加藤雅之
		午後					
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大学医師	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	山下尚寛	山下尚寛	山家健作	山下尚寛	山下尚寛
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦	稲田耕大	玉井嗣彦	大谷史江
総合診療科		午前	朴 大昊	谷口晋一	井上和興	濱田紀宏	
		午後	朴 大昊	谷口晋一			
専門診療科 (大学医師他)		午前	肝臓内科 孝田雅彦	小児科 大学医師	消化器内科 孝田博輝	耳鼻科 竹内裕美	呼吸器内科 中本成紀
			循環器内科 笠原 尚	女性診療科 秦 幸吉	血液内科 細田 讓 (第1・3週)	脳神経内科 岸 真文※1	
				皮膚科 大学医師	糖尿病外来 松本和久※1 (第2・4週)	泌尿器科 引田克弥	
					禁煙外来 熊野健太郎※2		
		午後		小児科 大学医師	消化器内科 孝田博輝		呼吸器内科 中本成紀※3
				心臓外科 西村元延 (第1・3週)	糖尿病外来 松本和久※1 (第2・4週)		心療内科 山梨豪彦
				ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)			
				血管外科 藤原義和(第2週) 中村嘉伸(第4週)			

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付 ●午前＝7時30分～10時30分
(時間予約を除く) ●午後＝正午～15時 (第2・4週の呼吸器内科・心臓外科・ペースメーカー・血管外科・心療内科)

診療開始時間 ●午後＝正午～16時 (消化器内科・木曜日の内科・第1・3・5週の呼吸器内科・総合診療科・小児科)

休 診 日 ●午前＝9時～ ●午後＝14時～

電話による予約日・予約時間の受付 ●土曜日・日曜日・祝日 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

●14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
予約日(時間)変更 <内 科> 72-2721(常勤医師のみ)
<外 科> 72-2719
<整形外科> 72-2720

- ※1 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※2 禁煙外来(水曜日)の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。
- ※3 呼吸器内科の第2・4週の受付時間は、午後3時までです。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで)		(H.29.10月～)				
診療科目	月	火	水	木	金	
内科	一診	笠原		血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	(大学)	今村
	二診	孝田雅彦	孝田雅彦	孝田博輝	(脳内)	(呼吸器)
	三診		加藤	熊野	熊野	加藤
総合診療科	朴	谷口	井上	濱田	濱田	
外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	(大学)	佐藤
整形外科	山下	山下	山家	山下	山下	
眼科	玉井	玉井	稲田	玉井	大谷	
その他(大学)	肝臓内科	小児科	消化器内科	耳鼻科		
	循環器内科	女性診療科	禁煙外来	脳神経内科	呼吸器内科	
		皮膚科	血液内科(第1・3週)	泌尿器科		
午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)		月	火	水	木	金
診療科目	総合診療科	総合診療科	消化器内科	(大学)	呼吸器内科	
内科						
その他(大学)	小児科	小児科	消化器内科		呼吸器内科	
	心臓外科(第1・3週)※	心臓外科(第1・3週)※	糖尿病外来(第2・4週)		心療内科※	
	ペースメーカー(偶数月第3週)※	ペースメーカー(偶数月第3週)※				
	血管外科(第2・4週)※	血管外科(第2・4週)※				

切り取り線



迎春

新年のごあいさつ



日野病院組合管理者
景山 享弘

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

振り返りますと昨年は日野病院にとって大きな節目の年となりました。

まず、孝田院長就任後、一年を経過する中で、早速多くの変革に取り組みました。外来待ち時間短縮のため「時間予約制」の導入、自ら専門とする消化器系検査の推進、日野病院を象徴するロゴマークの制定、病院案内パンフレットの刷新などです。

また、看護局長と医療技術局長、二人のコメディカルの要が退職により交代しました。新たなリーダーの元、若い職員も増え様々な工夫を重ねています。病院

全体が、そして各部門が今までとはまた違った「日野病院」をお見せできることと思います。

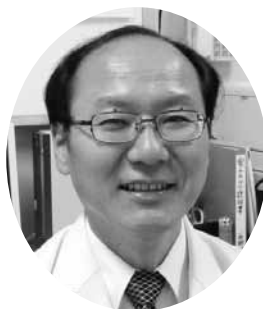
そんな節目の年に大変多くの皆様に日野病院をご利用いただきました。特に入院の患者様、訪問看護ステーションご利用の患者様が増加いたしました。益々、地域の皆様からのご期待が大きくなっているものと肝に銘じ、職員一同精進してまいります。

加えて、病院内に開設された鳥取大学地域医療総合教育研修センターの活動も定着し、地域医療の教育の場として成果を上げるなど鳥取大学医学部との関係も一層良好です。今後とも皆様に信頼される地域病院としてあり続けたいと強く願います。どうぞ皆様の応援をよろしくお願いいたします。



年頭のご挨拶

〽新年明けましておめでとうございます〽



日野病院病院長
孝田 雅彦

もらい、元気にすくすく育っています。日野病院も日野郡の皆さんにわかりがってもらえるように、また、元気にすくすく成長したいと思っています。

さて、昨年のせせらぎ新年号で三つの目標を掲げました。外来待ち時間の短縮、病院案内、ホームページの改訂、地域の皆さんへの医療、福祉の知識の啓発でした。外来待ち時間は時間予約によってかなり改善されたと思います。診療の都合上まだ長い診療科もありますが、今後も改善していきたいと思っています。病院案内は日野病院の若手の力で刷新され、病院案内らしくない案内が出来上がっています。外来、病棟に配布しておりますので、ぜひ手にとってごらん下さい。ホームページは一部情報の追加をしています。また、不十分どころが多く、引き続き改訂していきます。地域の皆さんにとって役に立つあるいは知っておいてもらいたい医療情報を日野町報やせせらぎでお知らせし、講演会でもお話ししました。今後も続けていきたいと考えています。

昨年一年は病院の収益も良好でした。これも、住民の皆さんが日野病院をかりつけ病院として十分に利用していただいたおかげと感謝しています。日野病院は日野町の一大企業でもあ

りますので今後も経営面での努力も続けていきます。

さて今年も目標として三つの課題を上げたいと思います。

第一は少しずつ減っている外来患者数の回復です。これは大変な難問です。毎年日野郡の人口は減少し、それとほぼ平行して外来患者数も減っています。人口が減れば患者が減るのはやむを得ない面もありますが、米子市内の医療機関に多くの患者さんが通院しておられるのも事実です。患者さんと医師の関係は長年にわたって築き上げられた信頼に基づくものですので、すべてを日野病院に来て下さいというつもりはありませんが、日野病院で十分可能な診療であれば地域の病院として来ていただけるように努力したいと考えています。そのために多くの鳥取大学の先生に専門外来をしていただいています。外来患者さんの維持には今後もさらなる対策と努力が必要です。

第二はスタッフの確保です。昨年は内科医が一名減となりました。しかし、鳥取大学医学部地域医療学教室の協力により、患者さんにご迷惑をかけることなく診療することができました。また、看護師や薬剤師などの確保も吃緊の課題です。スタッフが増やすことが必要です。日野病院で働いていただける人があれば是非ご連絡下さい。

第三は地域との連携をより強めたいと考えています。私はこの度認知症サポート医の認定を受けました。サポート医の役割は地域包括支援センターや医師会と連携をとり、地域に埋もれた認知症患者さんあるいは認知症予備軍の患者さんを見つけ出し、認知症の予防から早期発見、そして治療のための専門医への紹介などを行います。これを機会に認知症に限らず、高齢化が進む日野郡においてすべての住民がかかりつけ医を持ち、医療や福祉から孤立することがないように、役場と協力して行きたいと考えています。

今年は少し大きな目標をたてましたので一年では結果は出ないと思いますが、第一歩としてスタートしたいと思っています。皆さんも良いお年をお迎えください。

新春放談

—承認のメッセージの伝え方—

日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、晴れ晴れと希望に満ちた新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

私は鳥取大学を定年退官後、日野路の日野病院に名誉病院長として赴任してから、早くも17度目の新春を迎えました。今年も日野病院の更なる発展と地域医療の活性化に貢献できたら幸いと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

私は30有余年大学で教職生活を送り、その間鳥取大学医学部附属病院長も歴任しましたが、どのような職場であれ、人間全て平等とはいえ、共同生活を行う上で機構上、上下の関係は避けて通れないものでした。

上司は通常立場上、職場を統括し、命令を発する立場にあります。部下は褒められたり、感謝されたり、労をねぎらわれたりしない限り、嬉しさも、生きがいも、仕事に対するモチベーションの高まりもあり感じないものです。ましてや、上司への感謝や尊敬の念も沸きあがらないことでしょう。

そのためには、上司は常に部下の存在を認める「承認」のメッセージを言葉で直接、本人に伝えるように心掛けねばなりません。

その際、考え方や感じ方は人によって異なりますので、部下を次の4つのタイプに分類して、部下が受け止めやすい形で承認のメッセージを送ることが肝要であると、この種の実践に造詣の深い和歌山医科大学の畑埜義雄麻醉科教授が現役時代に述べておられます。

以下はその要約ですが、関係各位のご参考になれば幸いです。

自己主張が強く、感情表現がうまい「プロモータータイプ」には、「この前の業績発表はとても素晴らしかった。業界紙への報告も、君以外に適任者はいないと思うよ」などと持ち上げて、仕事を任せるのが有効です。

自己主張は強いけれど、感情表現や気配りが下手な「コントローラータイプ」には、指図されるのを嫌がったり、人を容易に信用しない人が多いので、その性格を逆手にとって、「君は自分の仕事仲間をまとめるのがうまいね。今後も頼んだぞ！」などとメッセージを送れば、信頼してもらえたのだと感じ、十分に力を発揮します。

自己主張は弱いけれど、気配りができる「サポータータイプ」には、自己犠牲の精神に富む人が多いので、「いつも助かっているよ。ありがとう。」などと、日頃から小まめに承認のメッセージを送ることが必要です。

自己主張が弱かったり抑えていたりし、感情表現も下手な「アナライザータイプ」には、抽象的な褒め言葉は通用しません。「この前の業績発表であの図は、非常に分かりやすくてよかったよ」などと、何がどのように優れていたのかを具体的に盛り込むことが欠かせません。

とはいえ、すべての人を4つのタイプにきっちり分類できるわけではありません。複数のタイプに当てはまったり、状況によって変化する部下もいるので注意が必要です。

上司たるもの、タイプ分類を柔軟に活用して、常に部下に合った承認のメッセージを伝えるよう心掛けたいものです。

その際、「人は何を欲するか。名誉、金銭、健康、睡眠、性欲、食べ物、子孫の繁栄などいろいろあるが、欲しても欲しても決して満たされない渴望なる欲望は、自分が重要人物であると認めて欲しい欲求である」というデール・カーネギーの金言を、上司は立場上永遠に無視できないものと思われれます。

すまいる版

【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

謹賀
新年

本年もたくさんすまいる

お届けします♪

どうぞよろしく願います

スタッフ一同



<連絡先>

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723



看護師による同行訪問



医学生による同行訪問

日頃より、訪問看護事業につきましてはご理解を頂きまして誠にありがとうございます。

皆さまにおかれましては、新しい年をお迎えになり、いかがお過ごしでしょうか。

訪問看護ステーションでは、在宅療養されている方のお宅へ伺い看護やりハビリを提供しています。また、在宅医療の研修機関として、ご利用者とご家族のご協力のもと、卒後臨床研修医の地域医療実習、在宅医療推進のための看護師育成事業の訪問看護実習、地域医療臨床実習の医学生らの同行訪問実習を担っています。

～同行訪問実習の感想から～

◇看護師より「限られた時間・限られた資源で個別性のある看護を提供していた。」「緊急時にはいつでも連絡相談ができ、自宅に来てもらえる安心感があり、訪問看護を利用することで生活にゆとりが生まれているのだなど、生活を支える訪問看護の魅力を感じた。」

◇医学生より、ご利用者や家族との対話を通じて～「重度心身障がい者の方の療養受け入れ先を広げる活動のご苦労を感じた。」

皆さまのご理解とご協力のもと、実習により貴重な気づきや課題を経験できました。

今後も、皆さまからの医療者育成について、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

日野病院訪問看護ステーション*管理者 濱田 辰美

～日野病院居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)利用者満足度調査ご報告～

アンケート集計結果

・回収率70% (80件配布)
たくさんのご回答、ご協力
ありがとうございます!!

◇ 集計の結果 ◇

年齢層については、85歳以上の方の割合が54% (昨年59%)、家族構成についてひとり暮らし世帯の割合が13% (昨年13%) 昨年度と比較し大きな変化はありませんでした。

一人暮らし、高齢者世帯数の合計は全体の半数を占めています。高齢者世帯について男性が妻に介護を受けている割合が32%、逆に女性が男性に介護を受けている割合が11%でした。要介護状態で一人暮らししている女性は9%、男性は3%でした。

自由回答より
～抜粋～

【ご意見】 万が一の時のケアマネジャーの連絡先が分かればと思います。

【回答】 現在、事業所の代表番号におかけいただきますと、24時間対応が可能となっております。待機者が担当のケアマネジャーでない場合でも、対応させていただきます。

ケアマネジャーに対する様々なご要望を受けとめ、日々研鑽していききたいと思います。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

栄養ニュース☆ NO.16

【大根1本をまるごと美味しく食べて風邪予防】

冬に旬を迎える大根。根はもちろん、葉から皮まで無駄なく美味しく食べられる万能野菜です。
今回は大根の栄養、部位別おすすめ調理法についてお伝えします。

大根の部位別調理法と栄養について



煮物、炒め物、鍋、サラダ、味噌汁…
どんな料理でも美味しい大根♪
いろんな料理で大根1本使い切ってくださいね！

① 葉

葉はビタミンCやビタミンA、鉄分など、栄養豊富です！根の部分の何倍も栄養があります。
ビタミンCは抗ストレス作用や抗酸化作用などもありますので風邪の予防などに効果があります。
油で炒めて調味したり、菜飯にしたり、細かく刻んで青みとして使っても良いです。

② 葉に近い部分

甘みが強く固いので、生のまません切りや薄切りなど、サラダや酢の物にオススメです。
大根おろしにしても辛味が少なく食べやすいです。

③ 中央部

甘みが強く柔らかいので、大根そのものを味わう煮物などに適しています。

④ 先端部分

辛みが強く筋が多いので、薬味としてすりおろしたり、細かく切って炒めるのがおすすめです。

⑤ 皮

固くて水分が少ないので、きんぴらなどの歯ごたえを楽しむ料理に適しています。



＜材料＞ 分量（小10個分）

大根・・・3分の1本（皮をむいて200g）
★ { 片栗粉・・・・・・・・・・・・・・・・大さじ2
小麦粉・・・・・・・・・・・・・・・・大さじ2
塩・・・・・・・・・・・・・・・・ひとつまみ
ごま油（サラダ油でもOK）・・・・適量
水（蒸し焼き用）・・・・・・大さじ1

【タレ】

砂糖・酒・醤油・・・・・・・・・・各大さじ1

栄養価(10個分) 259kcal、塩分3.1g、食物繊維2.8g

※大根だけで作ったとは思えない食感の美味しいレシピです。ぜひお試しください。

＜作り方＞

- ① 大根はすりおろして軽く水気を絞る。（水気を絞りすぎると丸めに＜＜なります）
- ② ボウルに①と★を入れてよく混ぜ合わせて、10等分して丸める。
- ③ フライパンに油を熱し平たく形を整え、弱火でじっくり焼く。薄く焼き色がついたら裏返しスプーンで中央を押さえて凹ませる。
- ④ 水を回し入れて蓋をし、弱火のまま蒸し焼きにする。
- ⑤ じっくり焼いたら蓋を取り、混ぜ合わせておいたタレをからめ、照りがでたらお皿に移してできあがり♪
※お好みで大根の葉やゴマ、桜えび、じゃこなどを加えても良いです。

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの 取り組みについて

もしもの時のあんしん手帳

12月12日、日野町下榎で、ぽかぽか教室を行ってきました。今回は日野町さんが住民さんに配布している『もしもの時のあんしん手帳～大切な人に伝えたいこと～』（鳥取県西部医師会在宅医療推進委員会編）をみんなで考えながら書いてみる時間にしました。

①葬式をどんな風にしたい？賑やかにしたい？家族だけでしたい？相続の事は？

②寝たきりになった時に胃瘻や点滴はして欲しい？人工呼吸器や心臓マッサージなどの延命治療はしてほしい？

③介護が必要になったらできるだけ家にいたい？施設に入る時の費用はどうか？

などの質問にみなさんの経験談をおしゃべりしながら、考えていきました。ここには書けないような具体的で、面白い話が出てきて、あっという間に時間が過ぎていきました。

配布されていたとしても、なかなか書く時間が無いなあとお思いの方もおられると思いますが、何かの機会にみんなでわいわい書いてみてはいかがでしょうか～？

鳥取大学医学部地域医療学講座

講師 井 上 和 興



医学生による病院実習を実施しています！

数年前から実施している医学生による病院実習ですが、今年は医師になる直前の6年生に加えて、5年生100名強による通年の実習も受け入れていただいております。日野病院を利用される皆様の中には、「いつも学生がいるな～」と感じられている方も多い方と思います。

このように地域での実習が増えて来た背景には、これまでの大学病院偏重の医学教育への反省があります。診断がついていない患者さんの診察、生活背景や家族関係、価値観などを考慮した医療の実践など、日野病院の実習で医学生たちは、地域の暮らしを支える手段として医療を初めて認識することになります。

このように昨今、地域医療を担う人材の育成が強く求められており、日野病院は鳥取県内でもトップクラスの地域医療を実践、そしてそれを教育することのできる病院なのです。

これにより鳥取大学の医学部を卒業する医師は全員、日野病院で実習をすることになりました。将来日野郡で働くことになる人材はもちろん、日野郡で学び鳥取や日本各地で活躍する人材の育成を日野病院で行なっています。

学生による実習は全て総合診療科の医師の監督下で行われており、患者さんが不利益を被ることはありませんし、患者さんの自由意志の元実施しています。もし学生の帯同を望まれない方は気軽に声をかけていただければ助かりますし、もし医学生を見つけたら、学生にとっては一生忘れられない大切な言葉になるかもしれないので、エールの言葉をかけていただければ嬉しく思います。

受診される患者さんは学生の実習へご協力をお願いする機会もあるかもしれませんが、未来の医療を育てるために、ご協力よろしくお願いいたします！

鳥取大学医学部地域医療学講座

助教 朴 大 昊

この病気

知っておきたいこんなこと

このコーナーでは、当院医師がみなさんに知ってもらいたい病気についての様々な情報についてお知らせします。

第4回

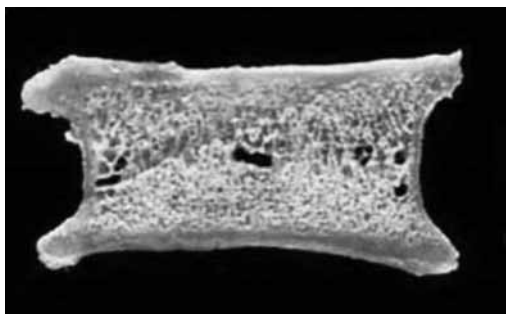
骨粗鬆症とその予防・治療

整形外科医師 山下 尚 寛

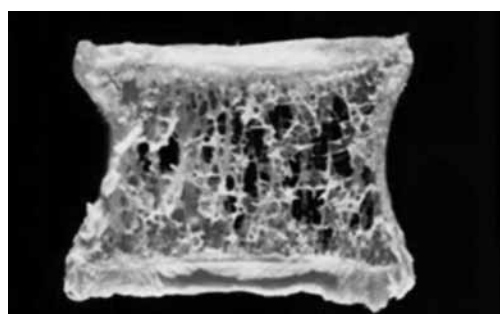
◆骨粗鬆症（こつそしょうしょう）について

骨粗鬆症は長年の生活習慣により骨がスカスカになって骨折しやすくなる病気です。最初は、自覚症状はありませんが、腰や背中に痛みが生じて医師の診察を受けてからみつかります。ひどくなると骨折を起こし、寝たきりの原因となる場合もあります。日本では推計1100万人以上が骨粗鬆症と言われています。年齢別にみると50歳以上の女性の3人に1人、70歳以上の女性は2人に1人が骨粗鬆症と言われています。

骨粗鬆症は閉経期以降の女性や高齢の男性に多くみられますが、若い人でも栄養や運動不足、ステロイド剤（グルココルチコイド剤）などの影響でなることもあります。長年の生活習慣が原因となることから、生活習慣病の1つと考えられています。



正常な背骨の断面



骨粗鬆症の背骨の断面

◆骨粗鬆症の予防

骨粗鬆症にならないように、日ごろから予防を心がけることが大切です。また高齢社会では、お年寄りのQOL（キュー・オー・エル＝生活の質）が重要です。元気にからだを動かし、いきいきとした生活を送ることを誰しも望みます。そのためには骨粗鬆症にならないようにすることが大切になってきます。

予防のためには骨を強くする食事が大切です。カルシウム、ビタミンD、ビタミンKなど骨の形成に役立つ栄養素を積極的に摂りましょう。また、高齢になるとタンパク質の摂取量は不足する傾向がありますので意識して摂取しましょう。骨を強くするためには運動も大切です。日常生活の中でウォーキング、ジョギング、エアロビクスなどを行い無理のない範囲で運動量を増やしましょう。またビタミンDは日光浴により体内でも作られますので、適度な日光浴も骨粗鬆症の予防には良いとされています。

◆骨粗鬆症の検診・治療

骨粗鬆症にかかっている人は非常に多いので、症状がなくても女性は40歳を過ぎたら定期的に骨密度検査を受けましょう。また骨密度が減っていると判定された人は、整形外科などを受診し、内服や注射がありますので積極的に治療を受けてください。

日野病院の新しいパンフレットを作成しました



この度、病院案内パンフレットを一新するため、若手の職員を中心としたパンフレット作成委員で、今までとは少し変わったパンフレットを作成しました。公募により選定した有限会社BlueBuzzと一緒に、「病院らしくないが、目について手に取ってもらえる」デザインを検討し、ドット絵キャラクターが出てくるレトロなゲーム風に仕上げました。内容は、病院をもっと身近に感じてもらい、今まで以上に利用してもらえるようにアピールポイントを中心としたものとなっています。

このパンフレットは日野病院外来に置いてありますので、見かけた際にはぜひ一度手に取ってご覧ください。

また、パンフレットに使用した写真撮影でご協力いただいた患者様、ご家族の皆様に改めてお礼申し上げます。

ロゴマーク看板を設置しました



平成29年10月28日、病院の壁面にロゴマーク看板を設置しました。設置した看板は縦1.2m、横は約1.8mで、夜間は日野病院の文字とともにライトアップをしていますので、国道からも良く目立ちます。



ちょこっとお知らせ

職員用にロゴマーク入りのカーディガン等を作成しました。(モデルは看護局有志です)



平成30年度 看護師育成奨学金・薬剤師育成奨学金 奨学生募集!!

日野病院組合では、平成30年度の看護師育成奨学金並びに薬剤師育成奨学金の貸付けを希望される方を募集します。

将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。

関心のある方は、まずはお気軽にお問い合わせください。

○ 応募・問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合事務局総務課

TEL 0859-72-0351 FAX 0859-72-0089

区 分		看護師育成奨学金	薬剤師育成奨学金
資 格		看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）する者。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあつては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。	大学の最終学年（応募時点では最終前学年）に在籍し、次回の薬剤師国家試験を受験する予定の者、または、大学を卒業後、次回の薬剤師国家試験を受験する予定の者。
		資格取得後、日野病院組合に勤務する意思を有すること。	
募 集 期 間		2月1日（木）～2月28日（水）まで	2月1日（木）～3月30日（金）まで
貸 与 額		月額50,000円以内（無利子）	月額100,000円以内（無利子）
貸 与 期 間		貸付けを受けた月から卒業する月まで	4月～翌年3月（1年間を限度とする）
奨学金 の返還	期 間	貸付けを受けた期間の2倍の期間	貸付けを受けた期間の4倍の期間
	金 額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の1/4の金額ずつを返還
返還の免除		貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。 ※この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。	

日野病院組合職員の給与等の状況（平成29年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（29年度当初予算より）

区 分	一般行政職	現 業 職	医 療 職	医療技術職	看 護 職
平均給料月額	280,509円	269,983円	459,520円	259,838円	295,811円
平均給与月額	316,273円	296,221円	1,113,578円	294,578円	352,145円
平 均 年 齢	44.1歳	53.7歳	43.8歳	39.8歳	45.3歳
職 員 数	13人	3人	5人	26人	56人

平均給料月額：職員の基本給の平均

平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）

クリスマス音楽祭を開催しました



12月22日、日野病院正面玄関でクリスマス音楽祭を開催しました。オープニングのヴィオラとハープの演奏では、日々の忙しさを忘れさせてくれる音色に涙を流される方もおられました。また、日野町ミュージカルの子どもたちによる踊りと歌に、患者さんの顔にも笑顔が溢れていました。

当日は多くの方にお越しいただき、素敵な会にすることができました。ありがとうございました。



チューリップが咲いたら1年生

11月8日、毎年恒例のチューリップの球根植えを行いました。当日は、ひのっこ保育所の年長さん12人と病院職員とで、約150個の球根を植えました。園児たちは、「どうやったらきれいに咲くかな」などと相談をしながら、一つ一つ丁寧に植えてくれました。

今春、子どもたちが小学生になる頃、チューリップもきれいな花を咲かせる事でしょう。



改善 患者様の声 (改善点)



このコーナーでは、患者様からいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）

また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎血圧測定用椅子が、腰の悪い人には大変苦しい上下に調整できるものに替えてほしい。

現在設置している血圧測定器の位置が低いため、椅子を低くしなければならなく、測定時に不便をかけていました。

ご意見にあった、高さを調整できる椅子については、調整時に腰に負担がかかるため、高さを調整できるテابلルを設置しました。

手前のハンドルで、テابلルの高さを調整できますのでご利用ください。

◎洗面台下の排水トラップ部の配管の腐食がはげしいです。早急に取り替えをされた方がよいと思います。病院全体を確認されたいと思います。

配管の状態については、定期的に業者により点検を行っており、現在のところ対応の必要はないとのこととです。ご意見をいただきありがとうございました。

◎内科2・3診（整形外科）前の4人がけの長イスは、高さ調節が高く（51cm）してあり、とても日本人の標準身長に高すぎるので、低く調整してもらいたい。

整形外科前に設置しているこのイスは、患者さまの意見により、腰が痛く低いイスに座ることのできない患者さま用に設置したものです。使用の用途が分かるよう、表示をしたいと思えます。

ご意見をいただきありがとうございました。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

二部診療所 10周年記念

平成29年11月15日(水)10周年記念イベントを行いました。

二部地区の公民館『たたら会館』をお借りし、日頃の感謝をこめて、コーヒー・抹茶サービスと孝田院長の講演、看護の宅配便で相談コーナーを伯耆町保健師さんやコーディネーターの方のご協力を得て行いました。講演では、高齢化社会の実態や変化、それを支える在宅医療の進化や他職種協働、連携のネットワークも整備され、気軽に行ける診療所として生活の一部に活用をして頂きたいことを述べました。看護の宅配便では、隠れ脱水の話や・嚥下体操に興味を示され、一緒に練習し、説明させて頂きました。管理栄養士の参加で栄養指導、今回のレシピ『いただき』は好評でした。仲田自治会長様・二部公民館長影山様・三部自治会長野坂様のご協力で地域の皆様にご参加を頂き、感謝申し上げます。二部・三部地区あつての二部診療所が地域に根付いた診療所となりますように、今後ともよろしくお願い致します。



お知らせ

1月から、金曜日の呼吸器内科が午前・午後とも休止となりました。詳しくは、裏面の外来診療案内等でご確認ください。

連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地

TEL 0859-72-0351

FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地

TEL 0859-74-0351

FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4

TEL 0859-62-0351

FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉

新年、明けましておめでとうございます。

年末年始はいかががおすごでしたか？家族団らんはできましたか？インフルエンザの予防注射は終わりましたか？

まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザの流行を予防するためにも、うがい・咳エチケットを行い、うつさない。かからないように元気に頑張りましょう。

(山)

日野病院 外来診療案内

最新版 H.30.1～
午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	笠原 尚	孝田雅彦	細田 讓 (第1・3週)	福嶋健人	今村武史
		午後			松本和久※1 (第2・4週)	福嶋健人	
	二診	午前	孝田雅彦		坂口琢紀	岸 真文※1	
		午後			坂口琢紀		
	三診	午前		加藤雅之	熊野健太郎	熊野健太郎	加藤雅之
		午後					
総合診療科		午前	朴 大昊	谷口晋一	井上和興	濱田紀宏	
		午後	朴 大昊	谷口晋一			
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大学医師	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	山下尚寛	山下尚寛	山家健作	山下尚寛	山下尚寛
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦	稲田耕大	玉井嗣彦	春木智子
専門診療科 (大学医師他)		午前	肝臓内科 孝田雅彦	小児科 大学医師	消化器内科 坂口琢紀	耳鼻科 竹内裕美	
			循環器内科 笠原 尚	女性診療科 秦 幸吉	血液内科 細田 讓 (第1・3週)	脳神経内科 岸 真文※1	
				皮膚科 大学医師	糖尿病外来 松本和久※1 (第2・4週)	泌尿器科 引田克弥	
					禁煙外来 熊野健太郎※2		
		午後		小児科 大学医師	消化器内科 坂口琢紀		心療内科 山梨豪彦
				心臓外科 西村元延 (第1・3週)	糖尿病外来 松本和久※1 (第2・4週)		
				ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)			
				血管外科 藤原義和(第2週) 中村嘉伸(第4週)			

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付
(時間予約を除く)

●午前＝7時30分～10時30分

●午後＝正午～15時(心臓外科・ペースメーカー・血管外科・心療内科)

●午後＝正午～16時(内科(月曜日～木曜日のみ)・小児科)(注)金曜日午後の内科診察はありません。

●午前＝9時～ ●午後＝14時～

●土曜日・日曜日・祝日 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

診療開始時間

休 診 日

電話による予約日・予約時間の受付

●14時～16時(受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

新患登録・新規予約 <代

表>72-0351

予約日(時間)変更 <内

科>72-2721(常勤医師のみ)

<外

科>72-2719

<整形外科>72-2720

※1 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。

※2 禁煙外来(水曜日)の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。

外来診療案内ポケット版

午前		(受付時間は、7時30分から10時30分まで)			(H.30.1月～)	
診療科目	月	火	水	木	金	
内科	一診	笠原	孝田	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	(大学)	今村
	二診	孝田		坂口	(脳内)	
	三診		加藤	熊野	熊野	加藤
総合診療科	朴	谷口	井上	濱田		
外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	(大学)	佐藤
整形外科	山下	山下	山家	山下	山下	
眼科	玉井	玉井	稲田	玉井	春木	
その他 (大学)	肝臓内科	小児科	消化器内科	耳鼻科	脳神経内科	
	循環器内科	女性診療科	禁煙外来	血液内科(第1・3週)	泌尿器科	
		皮膚科	糖尿病外来(第2・4週)			
午後		(受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)				
診療科目	月	火	水	木	金	
内科	総合診療科	総合診療科	消化器内科	(大学)		
その他(大学)		小児科	消化器内科			心療内科※
		心臓外科(第1・3週)※	糖尿病外来(第2・4週)			
		ペースメーカー(偶数月第3週)※				
		血管外科(第2・4週)※				

※医師の出張等により、診療日・担当医師が変更になる場合があります。
(切り取って財布等に入れご利用ください)

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

編集後記

平成17年4月に副病院長として赴任、平成18年7月からは病院長として通算11年6ヶ月に渡り日野病院を支えていただいた櫃田豊病院長が、博愛病院の病院長として就任されることとなり、平成28年9月日野病院を退職されました。

櫃田病院長はこの間、前任の濱副（はまぞえ）病院長が掲げられた「出かける医療、近づいていく医療」を実践され、加えて日野病院の地域における役割である「出かける医療、近づいていく医療と福祉」の姿を確立していただきました。

また、病院長としての職務はもとより、内科診察や訪問診察にも出かけていただき、24時間365日昼夜を問わず日野病院の発展にご尽力いただきました。

櫃田病院長のおかげで、地域住民の日野病院に対する信頼は確かなものとなったと確信しています。

経営面においても、院長就任翌年度の平成19年度から連続8年間黒字決算を続け、平成18年度末で約6億円あった累積欠損金が、平成24年度には剰余金に転じました。

平成27年度こそ赤字決算となってしまいましたが、平成28年度は96,533千円の黒字を計上し、累積剰余金は約2億8千6百万円となっています。

まさに、現在の日野病院を物心両面から盤石のものとしていただきました。

そして、平成17年4月から勤務いただき、2年間の勤務延長をお願いしていました、小村裕美子看護局長も3月末をもって退職されました。

小村看護局長はこの12年間、「看護の宅配便」や病院機能評価の受審等、日野病院看護局の資質向上に努力されました。

現在の日野病院看護局の充実は、小村看護局長あつてのものと深く感謝しています。

加えて、同じく2年間の勤務延長をお願いしておりました、佐々木健二医療技術局長も3月末をもって退職となりました。

佐々木医療技術局長は、日野病院が厚生連であった昭和58年7月から33年9ヶ月の間勤務いただき、診療放射線部門を支えていただきました。

平成15年4月からは医療技術局長として、平成20年4月に初めて受審した病院機能評価には、自ら先頭に立ち病院全体を引っ張っていただき認定病院としていただきました。また、平成24年11月に稼働した電子カルテの導入においても尽力いただいております。本当にありがとうございました。

思えば、櫃田病院長と小村看護局長、そして佐々木医療技術局長と共に過ごしてきたこの間は、日野病院にとって大きな変革の12年間だったように思います。

日野病院は、平成28年度に「新日野病院改革プラン」を策定し、そのプランをより具体的に行動に移すための中長期計画を策定しました。

これからの5年間は、この2つの計画に基づき日野病院第10代病院長の孝田雅彦先生とともに、さらに地域住民から信頼される病院となるよう職員一同頑張っていくこととなります。まさに、日野病院の新たなスタートとなります。

来年はどのような年報となるのか、皆さんにどのようなご報告ができるのか、楽しみ

にしています。

日頃から日野病院を支えていただいている皆さんに心から感謝し、最後にこの年報の編集にあたり資料の提供等協力いただいた関係者の皆さんにお礼申し上げます。

日野病院事務局長 生田 哲二

—— 発 行 ——

日野病院組合 日野病院広報委員会

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332 番地

Tel : 0859-72-0351 Fax : 0859-72-0089

URL : <http://www.hinohp.com/>